Victor

ビデオカメラ

GZ-HM570

Web ユーザーガイド

Everio

LYT2119-001A

もくじ

設定メニュー

各部の名前

液晶画面の表示内容

困ったときは

充電しましょう

- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

撮影しましょう

- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

再生しましょう

- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

上手に撮るコツ

基本的な構え方　～安定した映像を撮影するために～

通常、立って撮影するときの標準的な撮り方です。
安定した映像を撮影する基本になりますので、しっかりマスターしましょう。

■【構え方】

① 足を肩幅に開きます
② カメラを持つ右腕のわきをしめます
③ 左手で液晶モニターを持ち、見やすい角度に調節します

手を伸ばして撮る　～ハイアングル撮影～

人垣の後ろなど被写体が隠れて撮影しにくい場合の撮り方です。

■【構え方】

① 足を肩幅に開きます
② 右手を頭上に伸ばしてカメラを構えます
③ 左手で液晶モニターを持ち、見やすい角度に調節します

ご注意：

- 安定した撮影が難しい撮影方法ですから、非常用の撮影程度にしましょう。
- 手振れしやすいので、極力、広角側で撮影しましょう。
- 周囲の方の迷惑にならないように配慮しましょう。

しゃがんで目線の高さで撮る

子供を撮影する場合には、良く使われる方法です。
子供の視線に合わせることで、子供の表情をしっかり捉えることができ、かわいい映像になります。

■【構え方】

① 左ひざをつきながら、右足を立てて腰を落とします
② カメラを持つ右腕のひじを、右足のひざの上に置きます
③ 左手で液晶モニターを持ち、見やすい角度に調整します

パンニングをしてみよう

- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

広い視野の景色を撮影するときの方法です。

■【構え方】

腕を動かして撮影するのではなく、上記の「目線の高さの構え方」のまま腰を回転させて撮影しましょう。

① 最終的に回転を停止する方向を正面にして立ちます
② 撮影を開始する方向に上半身をねじります
③ 撮影スタートボタンを押したら 2 秒間そのまま撮影し、その後、ゆっくりと体のねじれを戻すように正面を向いていきます
正面を向いたら、2 秒間そのまま撮影して、ストップボタンを押します
（90 度ほど動かす場合の時間の目安は５秒です。遅く感じるくらいで調度良いでしょう）

入学式

我が家のピカピカの１年生を撮りましょう。

ピカピカの１年生にインタビューしよう

小学校に入学する新１年生。そんなピカピカの１年生を撮影するのは入学式当日だけではありません。
前日の準備の様子や新１年生になる気持ちなど、自宅でしか撮れない素直な様子も撮影しておきましょう。

■ お返事の練習を撮ろう

教室に入ると、先生が出席を取ります。
前日にお返事の練習をしておきましょう。
「○○○くん」とお父さんが先生代わりに名前を呼んで「ハイ」と立ちあがる。
そんな微笑ましいシーンもしっかりと残しておきましょう。

■ 入学式を控えた今の気持ちをインタビュー

「１年生になったら勉強をいっぱいする？」「友だちは何人ぐらいつくるかな？」「朝、一人で起きられる？」などの親子の会話を撮影しておきましょう。

当日の朝、お出かけ前の様子を撮ろう

いよいよ入学式当日。大事な記念日を忘れないようにカレンダーの日付をアップで撮影しておきましょう。
次は朝のお出かけまでの様子。洋服を着て、玄関を出て、お母さんと一緒に小学校に向かう姿を撮影すれば、入学式までのストーリーが出来上がります。

入学式は一脚を使って安定した撮影

入学式が始まったら、歩き回ることはできないので、わが子の撮影チャンスはなかなかありません。だからこそ、前日の撮影や入学式の朝の撮影が重要になります。
学校に着いたら、校門の「入学式」の看板の前で記念撮影。次は、入り口などに貼ってあるクラス分けの名簿や名札をつけている様子などを撮影します。
入学式では、壇上に上がって挨拶する校長先生や来賓の祝辞、校歌斉唱などを、席に座ったまま撮影します。このときは三脚を立てると周りの迷惑になるので一脚があると便利です。一脚を使うことで上下の揺れがない安定した映像が撮影できます。

教室で席についた様子が最大のチャンス

入学式が終わり教室に戻ると、指定された席に着席します。入学式当日は、この教室のシーンが最大のビデオ撮影のチャンスです。
わが子が席に着いているのを、前方から撮影できる位置でビデオカメラを構え、前日、練習したお返事のシーンを狙います。担任の先生の話を聞く様子などもしっかりと撮影しましょう。

運動会

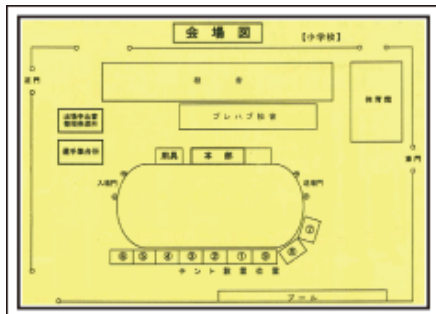
わが子の大活躍をバッチリ撮影しましょう。

プログラムでわが子が出る種目や順番をチェック

事前に運動会のプログラムを入手できる場合には、このプログラムをもとに、わが子の出場する種目や順番をしっかりとチェックしておきましょう。そのとき、グランドの図を描いて確認すれば、より良い撮影場所を把握できます。

■ 出場する種目に印を付けておこう

徒競走などの場合には走る順番などが把握できれば、より確実な撮影ができます

■ グラウンドの図を使って、種目ごとのわが子の立ち位置を確認

各競技ごとに、撮影のベストポジションを確保するのに、とっても便利です

■ 徒競走について確認する

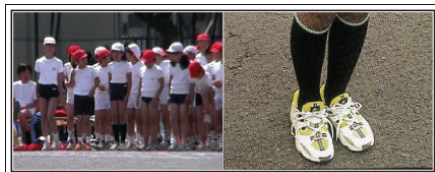
まずは、スタート位置の確認です。学年によって、スタート位置が変わることもありますので、注意が必要です。
次に、走る順番を把握するために、クラスの何列目で、右から何番目なのかを聞いてください。

■ 玉入れ、踊り、体操等について確認する

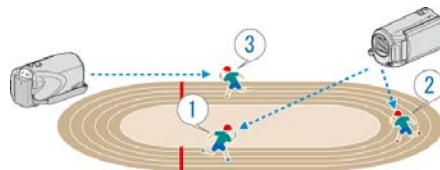
重要なのは、グランドのどの位置から演技を始めるのかを知ること。わが子を見つけ、最初から撮り始めるのにとても重要です。
各種目について、最初はどこから始まり、どこで終わるのか。また体の向きはどの方向になるのかなどを確認し、できるだけ撮影しやすい位置を決めておきましょう。

わが子を見分ける目印を付けよう

「自分の子だものわかるよ」なんて思ったら大マチガイ。
みんな同じ服装で、体の大きさも似たり寄ったり。しかも遠くから撮影するので、見つけるのはたいへんです。
そこで、学校で許される目印をつけることがポイントです。
一番のお勧めは、靴下。黒や紺など目立つ色のハイソックスを履かせると、見つけるのが簡単です。
もちろん、ソックスの色まで指定されている場合は難しいですが、多くの学校では運動靴やソックスは自由ですので、ぜひ“目立つ色”をおすすめします。

■ 黒系のハイソックスは大勢の中でも目立ちます

徒競走やリレーは、撮影位置を工夫しよう

徒競走では、誰もがゴール前で撮ろうとして、ゴール周辺が大混雑です。
でも、ゴールから撮影するよりもゴールに近い、斜め横からビデオカメラを構えたほうが、混雑を避けられて撮影しやすくなります。
撮影場所を変えることで、映像にも変化がでてきます。
例えばコーナーでは、わが子を追いかけて撮影することで、目の前を走り抜けるスピード感を演出でき、おもしろい映像になります。
ゴール前にこだわるより、その撮影場所にあわせた演出を考えて撮影しましょう。

■ 徒競走の 3 つの撮影位置

■ ① で撮れるシーン
② で撮れるシーン
③ で撮れるシーン

ちょっとレベルアップ！「モニター明るさ調整」

"設定のしかたはこちら" (☞ P.121)
運動会が行われる５月や９月、10 月は、日差しが強く、ビデオカメラの液晶モニターが見にくいことがよくあります。
こんな時は、"モニター明るさ調整"の設定を＋（プラス）側にするとモニターの明るさが増して、晴天の屋外でも視認性が高くなります。

■ モニターの明るさ調整はメニューで設定できます

クリスマス

家族みんなで楽しむハッピークリスマスを撮ろう。

ツリーの飾り付けや夕食の準備

クリスマスは、ツリーを飾りつけたりや食事の準備をするのも楽しいものです。そんな家族団らんの風景も撮影しておきましょう。

■ ツリーの飾り付け

クリスマスを盛り上げる一番のアイテムは、なんといってもクリスマスツリー！
色とりどりに飾り付ける楽しい場面は、幸福感たっぷりです。

■ 夕食の準備

夕食の準備をしている姿を撮影しましょう！
料理を作っているお母さん、それを手伝っている子どもたち。もちろん、ケーキの手作りシーンもあるとたのしいですよね！

わが家のクリスマスパーティ

準備が整ったら、いよいよクリスマスパーティ！
「ロウソクを吹き消すシーン」だけでなく、おいしい料理に微笑む家族、シャンパンでほろ酔い加減のお父さん、なんかを撮っておいても楽しいでしょうね。

プレゼント、見っつけた！

子どもたちにとって、翌朝ほど待ちどおしいことはないでしょう。
枕元にプレゼントをみつけて大喜びしてるシーンは、またとない撮影チャンス。子供の目が覚める前に、撮影できる準備を整えておきましょう。

結婚式

新郎新婦に喜ばれる最高の結婚ビデオにしよう。

事前に打ち合わせをしておこう

新郎新婦と親しい間柄だからこそ撮れるビデオを目指しましょう。そのためには、事前にコミュニケーションをとっておきたいものです。
結婚披露宴の進行がどのように進むのか？余興は？お色直しは？など、事前に情報を得ることが大切です。
新郎新婦の希望がわかれば、それに適した撮影ができるようになります。

■ 入場するドアからの経路を知る

披露宴を一気に盛り上げるのが、新郎新婦の入場です。
入場するのはどのドアか、進む順路は？などを事前に結婚式場の係りの方に聞いて把握します。移動しなくてもズームで追える場所を見つけ、三脚を据えて撮影しましょう。

■ お色直しの回数とタイミング

お色直しがある場合は、それが式次第のどのタイミングなのかを聞いておき、お色直し後の入場もしっかりと撮影します。
なお、お色直し中は、列席者の「祝福コメント」を撮影するために有効に活用しましょう。

祝辞や余興では新郎新婦と一緒に収まる画角で

■ 手前に来賓、奥に新郎新婦という構図

主役はもちろん新郎と新婦。乾杯や祝辞、余興のシーンでも、新郎と新婦が画面に入っており、その表情がわかるように撮りましょう。
また、別の撮り方としては、来賓のバストショットで写します。その後が長くなりそうであれば、新郎の方にパン。来賓ばかりが写っているような構図は面白みにかけるので、撮影する角度やアングル、写る大きさ意識して撮影するようにしましょう。

列席者の表情やコメントを撮影しよう

■ カメラは目線の高さから

結婚式場のビデオ係には絶対に撮れないのが列席者のコメント。「新郎新婦にひと言祝福のコメントをお願いします」と撮影しましょう。
タイミングは、披露宴が始まる前の列席者の控え室。新郎新婦のお色直しの間。そして、余興が行われている時などです。

新婦の感謝の言葉は顔をアップで

■ 感動のハイライトシーン

→ →

最大のクライマックス――それが新郎や新婦からの手紙、感謝の言葉と花束贈呈。中でも絶対に撮りたいのは、新婦の感謝の言葉と親御さんの喜びの涙です。
最初はズームで新婦の顔をアップで撮影をスタート。新婦が先に涙を見せたら、少しそのままで撮影し、親御さんたちに感情の変化が現れたら、ズームをワイド側に徐々に移動して、ご両親を撮影すれば大成功です。

ちょっとレベルアップ！「２台のカメラで撮る」

編集を前提に考えるのなら、撮影を２台のカメラで行うと変化のある結婚ビデオ映像になります。親しい方の中にもご家庭にビデオカメラをお持ちの方もいると思います。あらかじめお願いして、持参してもらいましょう。
お願いしたビデオカメラは三脚にセットして、常に新郎と新婦のアップだけを撮り続けます。これで、もう一台のビデオカメラは、自由に動け、新郎新婦以外のシーンを撮影して、編集で組み合わせることで、映像に変化が生まれ、飽きない映像にすることが可能になります。
どうしてもビデオカメラをもう一台用意できない場合でも、デジカメはほとんどの方がお持ちですよね？編集時にデジカメでの静止画をポイントに使うことも映像に変化をつける有効な手段です。ぜひ、お試しください。

■ <１台目のカメラ>
常に新郎新婦のアップを撮影

■ <２台目のカメラ>
同時に祝辞を述べる友人を撮影

旅行

国内、海外での楽しい時間をそのまま撮影しましょう。

持っていく機材は最小限に

旅行に持っていく撮影機材については、旅行の目的や場所によっていろいろです。
特に海外旅行の場合は、現地の環境なども考慮して、持参するものを選ばないと大失敗の原因になります。
ここでは、選択のヒントを紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

■ ビデオカメラ本体

普段の撮影から、1 日何時間撮るのかを考えてみましょう。特に海外旅行など長期間の旅行になる場合は、たっぷり撮影できるように準備をしましょう。
SD カード方式の場合は、バックアップ用も含めて、SD カードの予備は十分に用意してください。

■ バッテリー

1 日何時間撮るのかを考え、仮に 1 日 2 時間ならバッテリーは倍の 4 時間（実撮影時間で）撮影できる容量を準備しましょう。
日帰りのときは容量の少ないバッテリー、宿泊のときは容量の大きいバッテリーを数個用意しましょう。

■ ＡＣアダプター

日本ビクターのＡＣアダプターは 100V から 240V まで対応しているので、世界中で使用できます。
長期で旅行する場合は、AC アダプターをお持ちください。就寝中に充電しておけば、翌日には満充電で使用することができます。

■ 電源プラグアダプター

海外では、電源プラグの形状が日本とは異なる場所があります。事前にコンセントプラグの形状を調べて電源プラグアダプターを持参しましょう。
"海外で充電するとき"（☞ P.26）

■ バッテリーチャージャー

ＡＣアダプターを本体に接続して充電すると、その間、撮影はできません。
夜も撮影がある場合は、別途、バッテリーチャージャーを持っていくことで、バッテリーの充電ができます。また、何本ものバッテリーを充電する場合でも、本体とチャージャーで同時に充電できるので便利です。

■ 三脚

安定した映像を記録したい場合は、必須のアイテム。テーブル上で使用するようなコンパクトなものにするか、１m以上の高さになるものにするのかなど、旅行の目的、スタイルに合わせて選択しましょう。

出発のワクワク感も撮影しておきましょう！

旅行のビデオがいきなり目的地から始まるのも唐突ですよね？
家族旅行なら出発前の準備、そして、友人との旅行の場合は、集合場所から撮影を始めましょう。
海外旅行などでは、空港の出発ロビーで自分の乗る飛行機の案内表示を撮影しておくのも、あとから役に立つ撮影ポイントです。

観光スポットでは、パンニングを使う

観光地では、美しい風景や名所旧跡などの「観光スポット」を撮影しますよね？
すべてをフレームに収めることができないような壮大な景色などを撮影する場合は、パンニングを活用しましょう。
上手なパンニングの方法は、本ホームページの「上手に撮るコツ」でご説明していますので、参考にしてみてください。
また、そのような観光スポットの場合、その場所を記した看板やモニュメントなどを撮影しましょう。

主役は人物　楽しんでいる雰囲気を伝えよう

ビデオカメラの場合は、景色や名所旧跡などばかり撮影しても楽しい映像にはなりません。
例えば、観光地で絶景を撮りながら、その場所の感想を話してもらえば、あとで見ても楽しいワンシーンになります。

遊園地

家族みんなの笑顔をたくさん撮影しましょう。

アトラクションに合わせて動画と静止画を撮りわけよう

いつもビデオで撮影するのももちろんＯＫ。でも、少しは静止画(写真)としても残したい。
どのようなシーンがビデオ向きなのか、静止画向きなのかを考えて撮影しましょう。

■ ビデオに向いているのは

体の動きに変化のあるシーンがビデオ向きです。
表情が激しく変化するもの、喜びや驚きの声が発せられるものも、ぜひ、ビデオで撮りましょう。
※遊園地によっては乗り物に乗ったまま撮影できない場合がありますので、事前に確認しておいてください。
〔例えば〕

- メリーゴーランド・ゴーカート・コーヒーカップ など

■ 静止画(写真)に向いているのは

被写体の人の動きが少ない場合は、静止画向き。
静止画撮影の場合は、周囲の状況がわかるようなアングルで撮影しましょう。
〔例えば〕

- 回転遊具・観覧車・おもしろ自転車 など

声をかけて、反応を引き出そう

「手も振ってくれなければ、笑い声もない」そんなビデオ映像では、後で見ても面白みに欠けますし、ビデオの良さは声まで残せるという点です。
撮影者の方から、手を振ったり、「○○ちゃん、楽しい？」と積極的に声をかけて、そのリアクションを撮影しましょう。

動画の中から、決定的瞬間を静止画に

写真を撮ったら“目をつぶっている”なんてことはよくあります。そんな失敗をなくすために使いたいのが動画からの静止画切り出しという機能。
ビデオというのは、実際には静止画の連続、1 秒間に 60 枚の静止画が撮影されているようなものです。ビデオからの静止画切り出し機能を使えば、決定的瞬間を選んで、写真にすることも可能です。
"再生中の動画を静止画にする" (☞ P.68)

ちょっとレベルアップ！「逆光補正」

ちょうど顔が逆光になり、表情がきれいに撮れない場合は、「逆光補正」が便利です。
“顔が明るく撮れない”と思ったとき、"逆光補正"を設定すると、画面全体の明るさがアップ。陰になっていた顔も表情がわかるように明るく撮影できます。
"設定のしかたはこちら" (☞ P.37)

■ <逆光補正なし>

■ <逆光補正あり>

付属品を確かめる

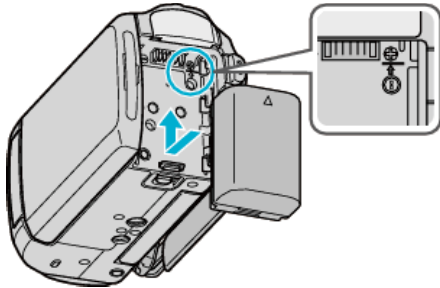
万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。
http://www2.jvc-victor.co.jp/support/after/

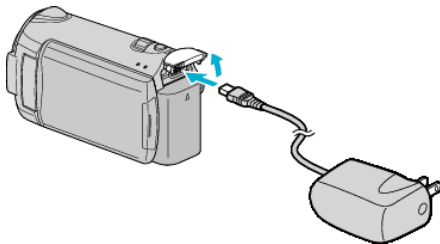
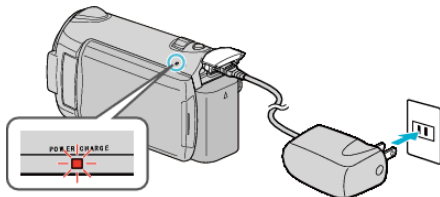
イラスト	説明
	AC アダプター AP-V30 ● 本機と接続して、バッテリーの充電をするときに使用します。 室内で撮影、再生するときにもご使用できます。
	バッテリーパック BN-VG114 ● 本機に取り付けて電源を供給します。
	ワイヤレスリモコン RM-V760U ● 本機を離れた場所から操作するときに使用します。
	AV コード ● 撮影した映像をテレビで再生するとき、本機とテレビを接続するために使用します。
	専用 D 端子ケーブル ● 撮影した映像をテレビで高画質で再生するとき、本機とテレビを接続するために使用します。
	専用 USB ケーブル (A タイプ － ミニ B タイプ) ● 本機とパソコンを接続するときに使用します。
	CD-ROM ● 付属ソフト「Everio MediaBrowser」をパソコンにインストールするときに使用します。
	基本取扱説明書 ● よくお読みになり、必要なときに読めるよう大事に保管してください。

メモ：
SD カードは別売です。
"本機で使える SD カードの種類" (☞ P.16)
海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。
"海外で充電するとき" (☞ P.26)

バッテリーを充電する

お買い上げ直後やバッテリーの残量が少なくなってきたら、バッテリーを充電しましょう。
ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

1 バッテリーを取り付ける

- 本体とバッテリーの上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

2 DC 端子に AC アダプターをつなぐ

3 コンセントにつなぐ

- 充電中は充電ランプが点滅します。
  充電が終わると消灯します。

ご注意：

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

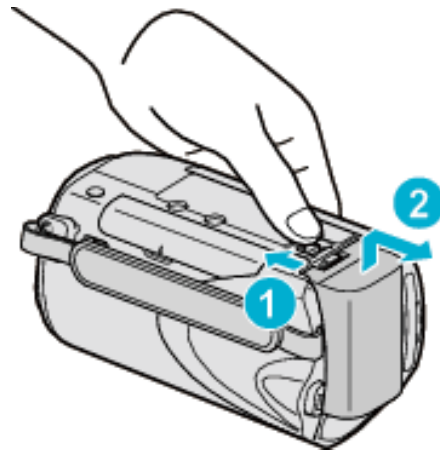
- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間：約 2 時間 30 分 (付属バッテリーの場合)
  25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ～ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
  低温など、使用状態によって撮影･再生可能時間は短くなります。

バッテリー(充電式電池)について：

- 低温（10℃以下）での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。
  （カイロなどには直接ふれさせないでください）
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 取りはずしたバッテリーは、約 15～25℃の乾燥したところで保管してください。
- 長期間使わないときは、劣化を防ぐためにバッテリーを使い切ってから取り外し、保管してください。また、半年に 1 回程度は充電し、使い切ってから保管してください。

メモ：

- 室内で長時間録画するときには、AC アダプターをつないで撮影することもできます。
  （画面を閉じるとバッテリーを充電します）

バッテリーの取りはずしかた

バッテリー取りはずしレバーをスライドさせて、バッテリーをはずしてください。

バッテリーの充電時間の目安

バッテリー	充電時間
BN-VG114 （付属品）	2 時間 30 分
BN-VG121	3 時間 30 分
BN-VG138	6 時間 10 分

- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。（新しいものに交換してください）

※ 25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ～ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影･再生可能時間は短くなります。
"撮影時間の目安（バッテリー使用時）" (☞ P.49)

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

- お問い合わせ: 一般社団法人 JBRC

http://www.jbrc.net/hp/
美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

Li-ion

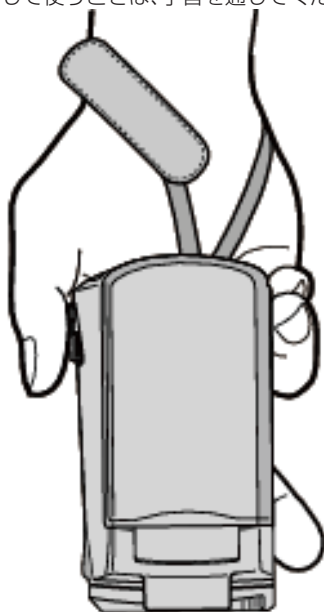
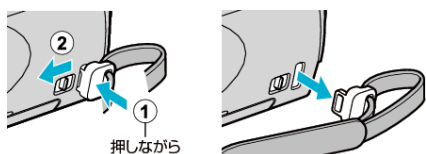
グリップベルトを調節する

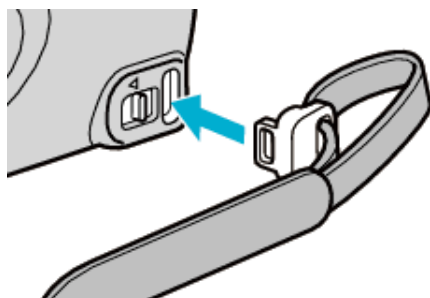
① グリップベルトをめくる
② ベルトの長さを調節する
③ グリップベルトをしめる

ご注意：

- グリップベルトはしっかりとしめてください。
  ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。

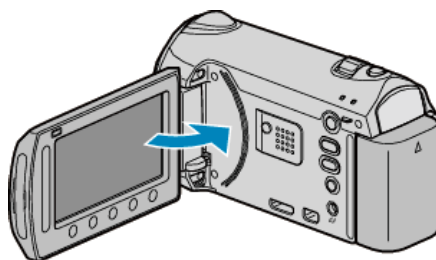
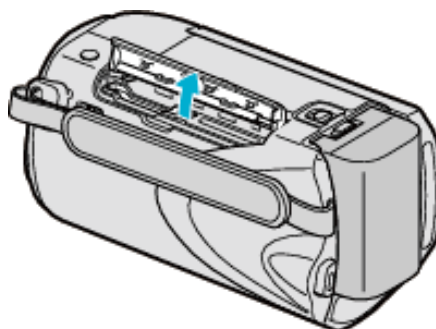
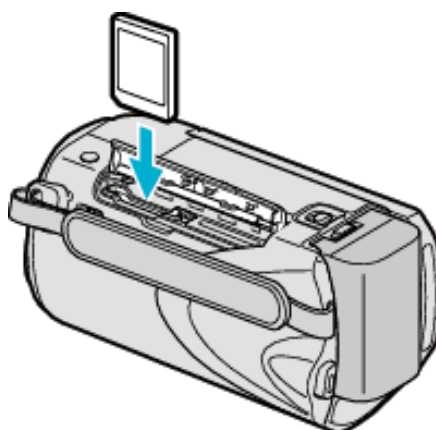
ハンドストラップとして使う

ハンドストラップとして使うときは、手首を通してください。

ストラップをはずすには

- ① を押しながら、② を引くと、ストラップがはずれます。

ストラップを取り付けるには

カチッと音がするまでしっかりと差し込みます。

SD カードを入れる

市販の SD カードを入れておくと、内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずにカードに記録できます。
"本機で使える SD カードの種類" (☞ P.16)
"動画の撮影可能時間の目安" (☞ P.49)

1 液晶モニターを閉じる

2 スロットカバーを開ける

3 SD カードを入れる

- ラベル面が外側になるように入れてください。

警告
● カードの入れる向きを間違えないようにしてください。 本機やカードが破損する原因になります。 ● カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。 ● カード挿入時、端子の金属部分に触れないように注意してください。

メモ：

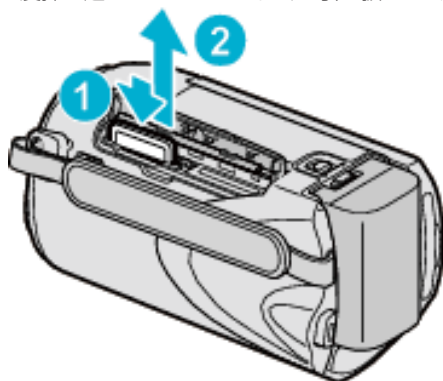
- カードに記録するには、メディアの設定が必要です。
  カードがない場合は、メディア設定を "内蔵メモリー"にして撮影してください。

"動画メディア設定" (☞ P.133)
"静止画メディア設定" (☞ P.133)

- ほかの機器で使っていたカードをはじめて使うときは、メディア設定の"ＳＤフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)する必要があります。

"SD フォーマット" (☞ P.134)

カードの取り出しかた

SD カードを一度押し込んでから、まっすぐに引き抜いてください。

本機で使える SD カードの種類

以下の SD カードがご利用可能です。
下記の推奨メーカー製の SD カードで動作確認しています。

- パナソニック(Panasonic)
- 東芝(TOSHIBA)
- サンディスク(Sandisk)
- ATP

SDHC カード

- 動画撮影するときは、Class4 以上対応の SDHC カード(4〜32 GB)をお使いください。
- "動画画質"を "ウルトラファイン"にして撮影するときは、Class 6 対応の SDHC カードの使用をおすすめします。
- Class 10 対応の SDHC カードも使用できます。

SD カード

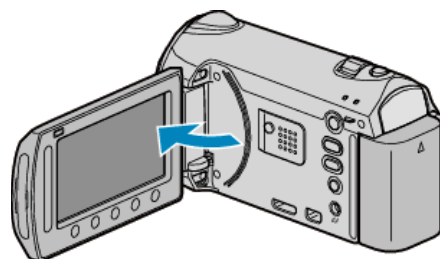
- 256 MB〜2 GB に対応しています。

メモ:

- 上記以外のメーカーの SD カード(SDHC カードを含む)では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- Class4、Class6 とは、それぞれ読み書き時のデータ転送速度が最低で 4 MB/s、6 MB/s であることを保証するものです。

時計を合わせる

ご購入後初めて電源を入れた時や、長期間使用しなかった時、または時計を合わせていないときに電源を入れると「時計を合わせてください」と表示されます。
撮影前に時計を合わせておきましょう。

1 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。
- 液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "はい"を選び、OK をタッチする

3 日時を設定する

- スライダーで年、月、日、時、分を順に合わせます。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、カーソルを移動できます。
- 日時設定が終わったら、OK をタッチしてください。

4 お住まいの地域を選び、OK をタッチする

- 都市名と時差が表示されます。
- お住まいの地域の色が変わったら OK をタッチしてください。
  例)日本の場合、都市名は「東京　ソウル」

メモ:

- 一度設定したあとに、時計を合わせ直すこともできます。

"時計を合わせ直すときは" (☞ P.17)

- 海外で使うときは、その地域の時間に合わせて撮影できます。

"時差のある地域で使うとき" (☞ P.26)

- 長期間使用しないと "時計を合わせてください"が表示されます。
  24 時間以上充電してから、時計を設定してください。

"バッテリーを充電する" (☞ P.14)

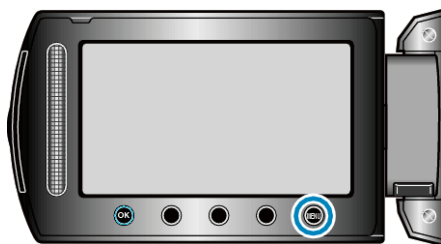
- 再生モードのときは、時計表示のオンオフを切り替えることができます。

"画面表示" (☞ P.118)

- 画面周囲のボタンやスライダーは、指でタッチしてください。
- 爪や手袋などでは操作できません。
- 画面内の表示に触れても動作しません。

時計を合わせ直すときは

メニューの "時計合わせ"から時計を合わせてください。

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "時計合わせ"を選び、Ⓞ をタッチする

3 "日時設定"を選び、Ⓞ をタッチする

4 日時を設定する

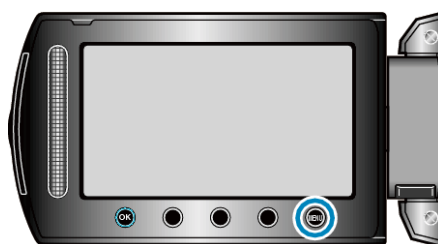
- スライダーで年、月、日、時、分を順に合わせます。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、カーソルを移動できます。
- 日時設定が終わったら、Ⓞ をタッチしてください。

5 お住まいの地域を選び、Ⓞ をタッチする

- 都市名と時差が表示されます。
- お住まいの地域の色が変わったら Ⓞ をタッチしてください。
  例)日本の場合、都市名は「東京　ソウル」

表示言語を変更する

表示するメニューなどの言語を変更できます。

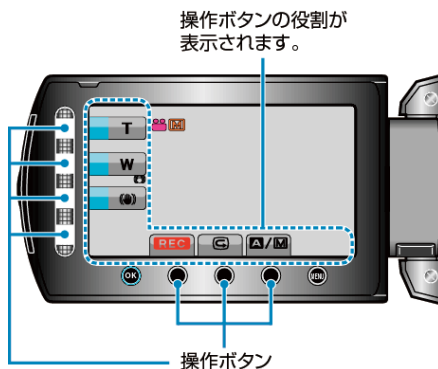
1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "表示設定"を選び、Ⓞ をタッチする

3 "ＬＡＮＧ．／言語"を選び、Ⓞ をタッチする

4 言語を選んで、Ⓞ をタッチする

操作ボタンの使いかた

お使いの機能によって、画面に操作ボタンの役割が表示されることがあります。

操作ボタンの役割が表示されます。

操作ボタン

- 操作するには、画面周囲のボタンやスライダーを指で軽く触れます。

メモ：

- 操作ボタンに軽く触れることを、「タッチする」と表記しています。
- 爪や手袋などでは操作できません。
- 画面内の表示に触れても動作しません。

スライダーの使いかた

スライダーを指の腹の部分でなぞると、操作がスムーズにできます。
また、スライダーを押し続けている間、自動でカーソルが移動します。
カーソルをひとつひとつ移動させるときなどには、スライダーをタッチすることで細かい操作をすることができます。

- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

メモ：

- 爪や手袋などでは操作できません。
- 画面内の表示に触れても動作しません。

本機の構えかた

手ぶれしないように、しっかりと脇をしめて構えましょう。

POINT

ご注意：

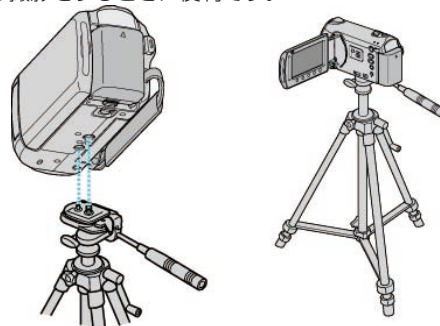
- 持ち運びの際は、本機を落とさぬよう十分にご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が十分にご注意ください。

メモ：

- 手ぶれがひどい時は、手ぶれ補正を使用しましょう。

"手ぶれを補正して撮影する" (☞ P.30)

三脚の取り付けかた

本機に三脚（または一脚）を取り付けできます。手ぶれを防ぎたいときや、同じ位置からの撮影をするときに便利です。

- 落下を防ぐために、取り付け前に本機側の三脚取り付け用のネジ穴と、位置決め穴の位置をよく確認し、ネジを回してしっかりと取り付けてください。

ご注意：

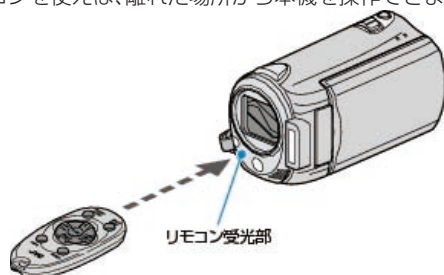
- 落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚（または一脚）の説明書をご覧になり、確実に取り付けてください。

メモ：

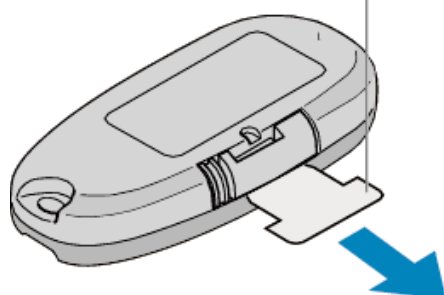
- 手ぶれしやすい状況（暗いところやズームが望遠側のとき）で撮影するときは、三脚や一脚を使って撮影することをおすすめします。
- 三脚を使って撮影するときは、「手ぶれ補正」を (OFF)にしてください。

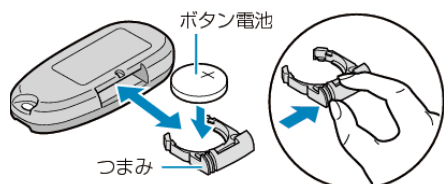
"手ぶれを補正して撮影する" (☞ P.30)

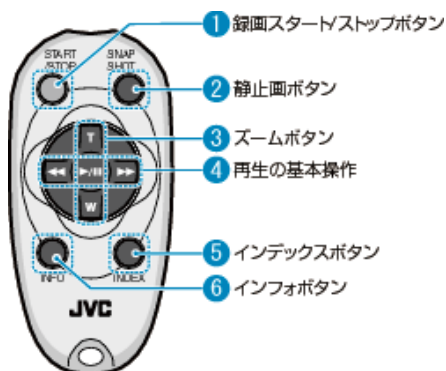
リモコンの使いかた

付属のリモコンを使えば、離れた場所から本機を操作できます。

メモ：
- リモコンは受光部に正面から向け、約 5 m 以内でご使用ください。
- 屋外やリモコン受光部に強い光が当たるところで使用すると、正常に操作できないことがあります。

リモコンの電池を用意する

初めてリモコンを使うとき

- ボタン電池（CR2025）があらかじめ取り付けられています。初めて使うときは、絶縁シートを引き抜いてお使いください。

電池を入れ替えるとき

- つまみを押しながら、電池トレイを引き抜いてください。
- ボタン電池の+側を上にして入れてください。

リモコンボタンの働き

1 録画スタート/ストップボタン
- 動画撮影の開始/停止します。

2 静止画ボタン
- 静止画を撮影します。

3 ズームボタン
- T ： 拡大する
- W ： 縮小する

4 再生の基本操作

操作ボタン	説明
再生/一時停止ボタン ▶ / ❚❚	● 動画やスライドショーの再生/一時停止をします。
左ボタン ◀◀	● カーソルを左へ移動します。 ● 再生中は、早戻しをします。
右ボタン ▶▶	● カーソルを右へ移動します。 ● 再生中は早送りをします。
T ボタン **T**	● 拡大します。（一時停止中） ● 動画再生中に音量を上げます（+）。
W ボタン **W**	● 縮小します。（一時停止中） ● 動画再生中に音量を下げます（−）。

5 インデックスボタン
- 再生を停止し、サムネイル表示に戻ります。

6 インフォボタン
- 撮影：残量時間（動画のみ）やバッテリー残量を表示します。
- 再生：撮影日などのファイル情報を表示します。

Bluetooth 対応機器を使う

本機は Bluetooth 機能を搭載しています。
Bluetooth 対応機器と無線で接続して、つぎのようなことができます。

Bluetooth 対応機器では次のようなことができます。

できること	対応する Bluetooth 機器
ビデオカメラを操作する	● スマートフォン
撮影中の映像をモニターする	● スマートフォン
撮影した静止画を取り込む	● スマートフォン ● BIP/OPP 対応機器（携帯電話の一部など）
撮影場所の位置情報を記録する※1	● スマートフォン ● GPS レシーバー
音声を聞く/音声を記録する	● ヘッドセット

※1 記録された位置情報は本機に付属のソフトで利用できます。詳しくは Everio MediaBrowser のヘルプをご覧ください。

Bluetooth 対応機器を利用する手順

1 スマートフォンの場合は専用のアプリケーションをインストールする

2 機器の登録(ペアリング)をする

"Bluetooth 対応機器を登録する" （☞ P.21）

3 Bluetooth 対応機器とビデオカメラを接続する

"登録した Bluetooth 対応機器と接続する" (☞ P.23)

4 本番の撮影をする前に、リハーサル(ためし撮り)をする

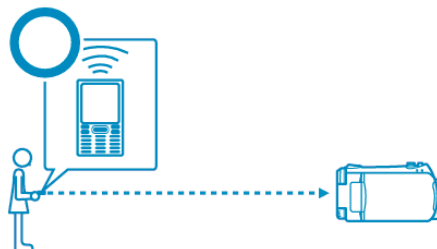
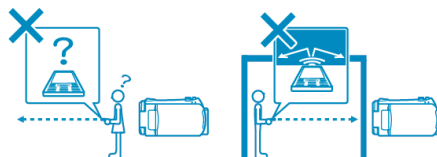
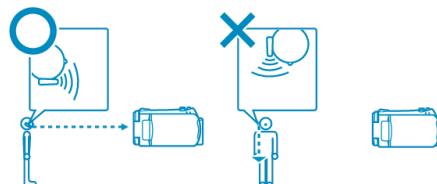
5 本番の撮影(操作)をする

より良い通信をするには

① 接続機器によっては本機の性能を発揮できないものがあります。

- 事前に性能の確認を行ってからご使用ください。

② Bluetooth 対応機器とビデオカメラの間には障害物が無いようにしてください。

- ビデオカメラから Bluetooth 対応機器が見える位置関係になるようにしてください。
- ビデオカメラと Bluetooth 対応機器の間に障害物や人間が入ると、通信の妨げとなります。
- ヘッドセットを使うときは、ヘッドセットの向きを正面に向けて使用してください。

③ Bluetooth 対応機器とビデオカメラの距離はできるだけ近づけてください。

- 本機は 10 m 以内の通信に対応していますが、できるだけ近いほうが良好な通信ができます。

※通信状況が悪くなると、データの転送に時間がかかったり、音声に雑音が出たりします。

対応する機器

本機の Bluetooth 設定に対応する機器は下記を参考にしてください。
スマートフォン以外は、機器の取扱説明書に記載された Bluetooth のプロファイルを確認してください。

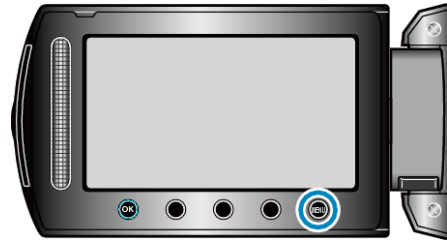
選択機器 （本機の **Bluetooth** 設定の名称)	対象機器･対応プロファイル
スマートフォン	**RIM 社** ● docomo BlackBerry Bold **HTC 社** ● docomo HT-02A Touch Diamond ● docomo HT-01A Touch Pro ● softbank X04HT Touch Diamond ● softbank X05HT Touch Pro ● EMOBILE S21HT Touch Diamond ● au E30HT Tocuch Pro
BIP/OPP	BIP（Basic Imaging Profile、イメージングレスポンサ） OPP（Object Push Profile、プッシュ サーバー）
GPS レシーバー	SPP（Serial Port Profile、デバイス B）
ヘッドセット	HSP（Headset Profile、HS）

ご注意：

- 機器の登録は本機の Bluetooth 設定の対象機器を正しく選んでください。
  対象機器が違うと登録できても接続ができません。
- 本機は 10 m 以内の通信に対応していますが、できるだけ近いほうが良好な通信ができます。
- 電気製品(AV 機器、OA 機器など)から 2 m 以上離して通信してください。(特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので 3 m 以上離してください。)正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- 無線 LAN 機器との電波障害について
  無線 LAN 機器と本製品などの Bluetooth 機器は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

Bluetooth 対応機器を登録する

本機で Bluetooth 対応機器を使うために、まずは本機に登録(ペアリング)する必要があります。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "接続設定"を選び、OK をタッチする

3 "Bluetooth"を選び、OK をタッチする

4 登録する機器の種類を選び、"登録"をタッチする

ヘッドセット	ヘッドセット(マイクと一体化したヘッドフォン)を使って、実際に記録される音を聞きながら撮影できます。 "Bluetooth マイク音声"を設定しておけば、動画にナレーションを入れながら撮影できます。
GPS レシーバー	GPS レシーバーを使って、撮影した動画や静止画に位置情報を記録できます。
BIP/OPP	撮影した静止画を対応機器に転送します。
スマートフォン	登録した携帯電話にインストールしたアプリケーションを使って、本機のリモコンとして使用できます。

5 登録する機器を検索可能な設定にしてから、OK をタッチする

- 本機の周辺にある Bluetooth 対応機器の検索が始まります。
- 機器によって設定方法が異なります。機器の取扱説明書もご覧ください。

6 登録する機器を選び、Ⓞをタッチする

- 登録したい機器が見つからないときは、もう一度機器の設定を確認してから検索をしてください。
- 機器の名前は、最大 9 つ表示されます。
- 機器名が取得できない場合は、Bluetooth デバイスアドレス（BD アドレス）が表示されます。
- 機器名の表示できない文字は、□を表示します。

7 登録する機器のパスキーを入力する

- スライダーで数字を選び、Ⓞをタッチして数字を入力してください。
- "CLE"をタッチすると、一つ前の数字を消せます。
- 数字の入力が終わったら、"決定"をタッチしてください。
- 登録する機器によって、パスキーの桁数は違います。
- 機器の認証が不要な場合は、パスキーの入力画面は表示されません。
- パスキーは「PIN コード」ともいいます。
- パスキーについて、詳しくは登録する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器の登録が終わったら、Ⓞをタッチしてください。

メモ：

- お使いの機器によっては、登録できないことがあります。また、登録できても接続できないことがあります。
- ヘッドセットは 2 つまで、GPS レシーバー、BIP/OPP 対応機器、スマートフォンは 1 つずつ本機に登録できます。
- ヘッドセットは 2 つまで同時に接続できます。機器の種類が異なると同時に接続できません。接続中の機器を切断してから新たな接続を行います。
- デバイス検索は選択した機器や電波状況、デバイスの位置関係によって結果が異なります。
- Bluetooth 機器の登録中は、オートパワーオフやパワーセーブ、デモ機能は働きません。

登録した Bluetooth 対応機器と接続する

本機で Bluetooth 対応機器を使うときは、登録した機器と接続する必要があります。
Bluetooth 対応機器と接続するには、メニューを使って機器との接続を ON にしてください。

1 Ⓜをタッチして、メニューを表示する

2 "接続設定"を選び、Ⓞをタッチする

3 "Bluetooth"を選び、Ⓞをタッチする

4 接続する機器を選び、Ⓞをタッチする

- 機器との接続が成功すると、アイコンが OFF から ON になります。
  ヘッドセット、GPS レシーバー、スマートフォンの場合は、電波受信状態を示すアイコンが表示されます。

ご注意：

- 本機に対応していない機器を登録して接続すると、"Bluetooth 機器と通信できません"と表示されます。登録機器をもう一度確認して、再登録してください。
- 本機は最大 2 台まで Bluetooth 対応ヘッドセットと接続することができます。
- 本機は種類の異なる Bluetooth 対応機器を同時に接続することはできません。(ヘッドセットとスマートフォンを同時に接続するなど)
- 静止画撮影モードのときは、ヘッドセットを使った音声の送受信はできません。
- 本体設定メニューの "工場出荷"を実行すると、登録されているすべての Bluetooth 対応機器の情報が削除されます。
- Bluetooth 機器との接続中は、オートパワーオフやパワーセーブ、デモ機能は、働きません。

接続の解除について：

以下の操作をしたときは、自動的に Bluetooth 対応機器との接続は解除されます。

- 本機の電源を切ったとき
- 本機を DVD ライターやパソコンと USB ケーブルで接続したとき
- タイムラプス撮影をしたとき
- 本体設定メニューの "工場出荷"を実行したとき

メモ：

- 接続した機器と通信できなくなると、 本機は約 10 秒後に接続を解除します。
- 本機は種類の異なる Bluetooth 対応機器を同時に接続できないため、接続状態で種類の異なる機器を接続すると、先に接続していた機器は切断されます。
- タイムラプス撮影時、USB ケーブル接続時、工場出荷設定実行時は接続されている全ての Bluetooth 機器を切断します。
  ※工場出荷設定実行時は、登録されている情報も削除されます。

Bluetooth 対応機器と接続しているときの画面表示

Bluetooth の接続状態は、撮影画面で確認できます。

XP [5h56m]
0:00:00
Bluetooth マイク音量
電波受信状態
GPS通信状態

表示アイコン	説明
電波受信状態	Bluetooth 接続の電波受信状態を表示します。
GPS 通信状態	GPS との通信状態を表示します。 GPS から位置情報が取得できていないときはアイコンが点滅します。
Bluetooth マイク音量	Bluetooth マイクが有効なときにマイク音量を表示します。

メモ：

- 電波受信状態は目安です。リアルタイム表示ではありません。
- 電波状況によっては更新されないことがあります。特に電波受信状態が弱→強の場合、反応が遅れます。
- BIP/OPP 接続の場合は電波受信状態は表示されません。
- 電波受信状態を知るには接続相手と通信する必要があるため、電源 OFF などで急に通信が途切れると電波受信状態が更新されないことがあります。

同時接続対応表

接続台数	1 台					2 台
接続ケース	ケース 1	ケース 2	ケース 3	ケース 4	ケース 5	ケース 6
ヘッドセット 1	○	–	–	–	–	○
ヘッドセット 2	–	○	–	–	–	○
GPS レシーバー	–	–	○	–	–	–
BIP/OPP	–	–	–	○	–	–
スマートフォン	–	–	–	–	○	–

ヘッドセットを 2 つ登録しているときは

ヘッドセットを 2 つ登録していても、マイクは登録しているどちらかのヘッドセットのものしか使用できません。
マイクアイコンが表示されているヘッドセットのマイクが使用できます。

Bluetooth
ヘッドセット1 NO
ヘッドセット2 NO
GPSレシーバー NO
BIP／OPP NO
ON/OFF 登録 MIC. 終了

- マイクを使用するヘッドセットを切り替えるには、"MIC."をタッチして切り替えます。

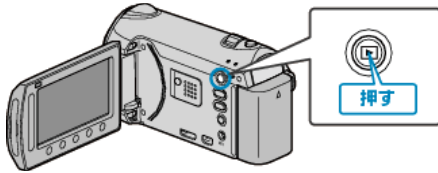
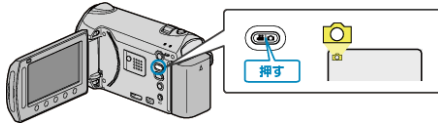
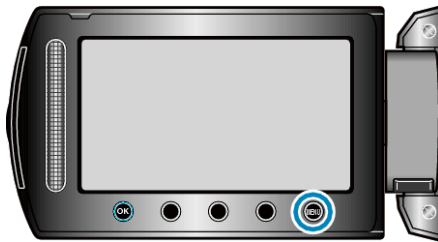
メモ：

- Bluetooth マイク音声設定を変更できます。

"Bluetooth マイク音声" （☞ P.130）

静止画を Bluetooth 対応機器に転送する

BIP/OPP 対応機器と Bluetooth 接続しているときは、撮影した静止画を対応機器に転送できます。

1 再生モードにする

2 静止画を選ぶ

3 ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "静止画転送"を選び、Ⓞ をタッチする

5 接続相手機器を画像の受信できる状態にする

- 詳しい操作方法は、接続相手機器の取扱説明書をご覧ください。

6 転送する画像を確認し、"はい"を選び、Ⓞ をタッチする

- 実際には転送する映像がこの画面に表示されます。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、前後の映像を選べます。
- 静止画の転送が終わったら、Ⓞ をタッチしてください。

メモ：

- 接続相手機器が BIP/OPP 両方に対応する場合は、BIP 接続を優先します。
  どちらかの接続を選択することはできません。BIP 接続に失敗した場合は OPP 接続になります。
- 静止画転送を実行する前に、必ず接続相手機器の Bluetooth 通信を ON やデータ受信状態に設定してください。
  転送開始後に相手機器の Bluetooth 通信設定をしても送信できません。
- 一度に転送可能な静止画は一枚です。複数枚の静止画を送信するときは、同じ操作を繰り返し行ってください。
- 接続相手機器から Everio へ静止画転送することはできません。
- 転送ができても、接続相手機器の仕様により、表示や編集ができない場合があります。
  接続機器で表示や編集したい場合は、表示や編集に対応するサイズを接続機器の取扱説明書で確認して対応するサイズ以下の画像サイズ設定で撮影してください。

BIP 接続について：

- 接続相手機器から転送可能な静止画条件(画像サイズ、データサイズ)を取得します。
  取得した静止画条件によって静止画の転送動作が以下のようになります。
  (1) 画像サイズが条件に当てはまる場合は、そのまま転送します。
  (2) 画像サイズが条件より大きい場合は、VGA(4:3)、FWVGA(16:9)へ画像サイズを縮小して転送します。
  (3) データサイズが大きい場合も、VGA(4:3)、FWVGA(16:9)へ画像サイズを縮小して転送します。

OPP 接続について：

- 接続相手機器が OPP 接続に対応していも、静止画転送できない場合があります。
  接続相手機器の受信対応フォーマットに依存します。
- 転送した静止画の画像サイズに関係なく、以下のように画像サイズを縮小して転送します。
  ・静止画が 4:3 の場合：VGA(640×480)
  ・静止画が 16:9 の場合：FWVGA(854×480)

スマートフォンを使って本機を操作する

スマートフォンにインストールしたアプリケーションを使って、スマートフォンを本機のリモコンとして使用できます。
以下のスマートフォンに対応しています。

メーカー名	推奨品
RIM 社	● docomo BlackBerry Bold
HTC 社	● docomo HT-02A Touch Diamond ● docomo HT-01A Touch Pro ● softbank X04HT Touch Diamond ● softbank X05HT Touch Pro ● EMOBILE S21HT Touch Diamond ● au E30HT Tocuch Pro

メモ：

- スマートフォン用のアプリケーションソフトのダウンロードや使いかたはこちらをご覧ください。

http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/download/bluetooth/index.html

ご注意：

- スマートフォンをリモコンとして使用しているときは、本機で写真同時記録機能は使えません。

メモ：

- GPS の利用の際、パケット料が発生する可能性があります。
- スマートフォンがその他の Bluetooth 対応機器と接続しているとき、本機との接続ができない場合があります。
- 本機とスマートフォンが接続しているとき、スマートフォンはその他の Bluetooth 対応機器と接続できない場合があります。
- スマートフォンからの要求により、接続を解除することがあります。解除したときは、スマートフォンのアプリケーションを再起動してください。

本製品で使用する電波について

本製品は、ISM バンド（2.4 GHz 帯）の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

■ 以下の近くでは使用しないでください。

- 電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 無線 LAN 機器

上記の機器などは、Bluetooth 製品と同じ電波の周波数帯を使用しています。
上記機器の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

■ テレビ／ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

テレビ／ラジオなどは、Bluetooth 製品とは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を Bluetooth 製品に近づけた場合は、本製品を含む Bluetooth 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■ 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。
※Bluetooth 機器間に人や体の一部が入っても通信がしにくくなります。機器同士が見通せる状況でご利用ください。

海外で使うときは

訪問国や地域によって電源コンセントの形状が異なります。
充電するには、コンセントの形状に合った変換プラグが必要になります。
"海外で充電するとき" (☞ P.26)
"時計合わせ"の "地域設定"で、旅行先を選ぶと、日時表示が現地時刻に変わります。
"時差のある地域で使うとき" (☞ P.26)
"時計合わせ"の "サマータイム設定"で、サマータイムを "入"にすると、時間が 1 時間進みます。
"旅行先がサマータイムのとき" (☞ P.27)

海外で充電するとき

訪問国や地域によって電源コンセントの形状が異なります。
充電するには、コンセントの形状に合った変換プラグが必要になります。

A	B	BF	C	O

北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A
メキシコ	A

アジア	
インド	B.C.BF
インドネシア	C
シンガポール	B.BF
スリランカ	B.C.BF
タイ	A.BF.C
大韓民国	A.C
中華人民共和国	A.B.BF.C.O
ネパール	C
パキスタン	B.C
バングラデシュ	C
フィリピン	A.BF.O
ベトナム	A.C
香港特別行政区	B.BF
マカオ特別行政区	B.C
マレーシア	B.BF.C

ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B.BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
カナリア諸島	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A.C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B.C
ポルトガル	B.C
ルーマニア	C

オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

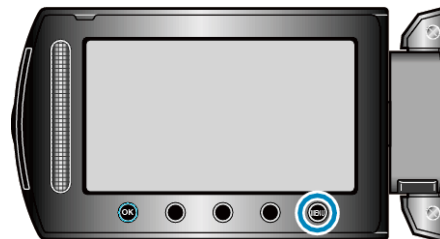
中南米	
アルゼンチン	O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B.C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A.C
ベネズエラ	A
ペルー	A.C

中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B.C
ヨルダン	B.BF

アフリカ	
アルジェリア	A.B.BF.C
エジプト	B.BF.C
ギニア	C
ケニア	B.C
ザンビア	B.BF
タンザニア	B.BF
南アフリカ共和国	B.C.BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

時差のある地域で使うとき

"時計合わせ"の "地域設定"で、旅行先を選ぶと、日時表示が現地時刻に変わります。
旅行などから戻ったときは、ご使用になる地域を元に戻してください。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "時計合わせ"を選び、OK をタッチする

3 "地域設定"を選び、OK をタッチする

4 ご使用になる地域を選び、OK をタッチする

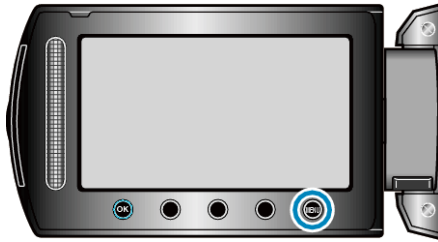
- 都市名と時差が表示されます。

メモ：

- "地域設定"をすると、時差を補正した時刻に変更されます。
  自国へ戻ったときも、最初に設定した地域を選び直すことで、時計の設定が元に戻ります。

旅行先がサマータイムのとき

"時計合わせ"の "サマータイム設定"で、サマータイムを "入"にすると、時間が 1 時間進みます。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "時計合わせ"を選び、OK をタッチする

3 "サマータイム設定"を選び、OK をタッチする

4 サマータイムを設定し、OK をタッチする

メモ：

- サマータイムとは？
  夏の一定期間の時計を 1 時間進める制度をサマータイムと呼びます。
  日照時間を有効に使うため、主に欧米諸国で採用されています。
- 旅行から戻ったときは、サマータイム設定を元に戻してください。

別売アクセサリー

別売のバッテリーパックなどをお使いになれば、長時間の撮影も可能になります。

品名	説明
バッテリーパック ● BN-VG114 ● BN-VG121 ● BN-VG138	● 本機に付属しているバッテリーよりも、長時間の撮影が可能になります。また、予備のバッテリーとしてお使いいただけます。
バッテリーチャージャー ● AA-VG1	● 本機を使わずに、バッテリーを充電できます。
アクセサリーキット ● VU-VG10K	● バッテリー(BN-VG114)とチャージャー(AA-VG1)にバッグがついたアクセサリーキットです。
DVD ライター ● CU-VD3	● 本機で撮影した映像を、パソコンを使わずに DVD を作成することができます。 http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/acc/cu-vd3.html
DVD ライター ● CU-VD50	● DVD を作成でき、パソコンと接続してパソコン用の外付 DVD ドライブとしてお使いいただけます。また、テレビと CU-VD50 を接続して、作成した DVD を再生することができます。 http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/acc/cu-vd50.html

メモ：

- 詳しくは、カタログ、ホームページをご覧ください。

http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/acc.html

- BN-VG114 は、本機付属のバッテリーと同じ製品です。

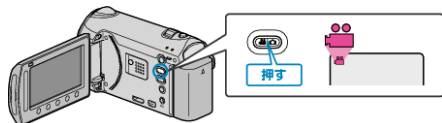
撮影時間の目安（バッテリー使用時）

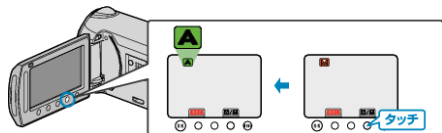
バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG114 （付属品）	45 分	1 時間 20 分
BN-VG121	1 時間 10 分	2 時間 5 分
BN-VG138	2 時間 10 分	3 時間 55 分

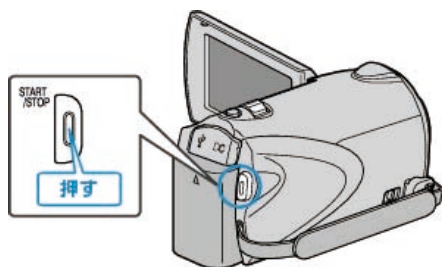
- "ライト"が "切"、"モニターバックライト"が "標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。（撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします）
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。（新しいものに交換してください）

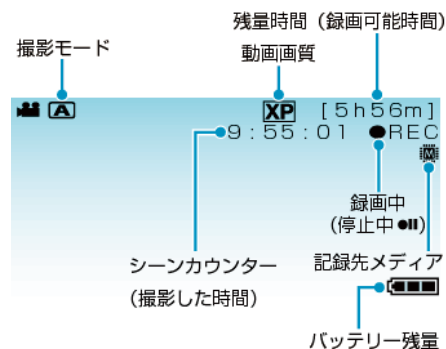
動画をオートで撮影する

オート撮影を使えば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。

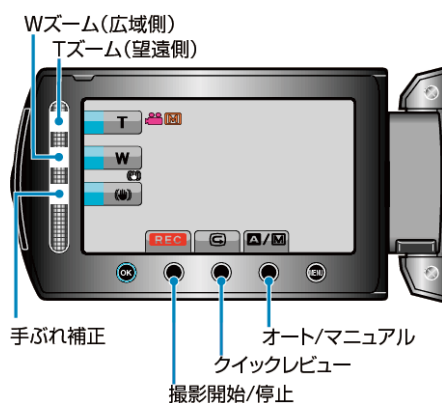
1 液晶モニターを開き、動画を選ぶ

- アイコンが動画モードになります。

2 撮影モードがオートになっているか確認する

- マニュアルになっているときは、A/M ボタンを何度かタッチしてください。
  タッチするたびにオートとマニュアルが切り替わります。

3 撮影を開始する

- もう一度押すと撮影を停止します。

動画撮影時の画面表示

表示アイコン	説明
撮影モード	A/M ボタンを押して、撮影モードの A（オート）と M（マニュアル）を切り替えます。
動画画質	撮影メニュー "動画画質"で設定している画質のアイコンを表示します。 "動画画質"（☞ P.107）
残量時間 （録画可能時間）	動画撮影が可能な残り時間を表示します。
録画中	動画撮影中に表示します。
停止中	動画撮影を一時停止しているときに表示します。
シーンカウンター （撮影した時間）	現在撮影している動画の撮影経過時間を表示します。
記録メディア	撮影した静止画を記録するメディアのアイコンを表示します。記録メディアは変更できます。 "動画メディア設定"（☞ P.133）
バッテリー残量	バッテリー残量の目安を表示します。 INFO ボタンを押すと、バッテリー残量の詳細を表示します。 "残量時間/バッテリー残量"（☞ P.48）

動画撮影時の操作ボタン

Wズーム(広域側)
Tズーム(望遠側)
手ぶれ補正
オート/マニュアル
クイックレビュー
撮影開始/停止

操作ボタン	説明
T/W ズーム	ここでもズームレバーと同様の操作ができます。ズームレバーを操作するときに起こりがちな手ぶれを抑えてズーム操作ができます。 "ズームを使う" (☞ P.30)
手ぶれ補正	手ぶれ補正を設定します。 "手ぶれを補正して撮影する" (☞ P.30)
撮影開始/停止	START/STOP ボタンと同じ動作をします。 "録画ボタン" (☞ P.126)
クイックレビュー	直前に撮影した動画を見ることができます。 "撮影した映像をすぐに確認する" (☞ P.30)
オート/マニュアル	撮影モードをオート/マニュアルに切り替えます。

メモ:

- スライダーの操作ボタンは、液晶モニターを反転しているときは使えません。
- ズームは、スライダーをタッチすると表示します。

撮影するときの便利な設定

- 撮影する動画の分類をしておけば、再生するときに検索しやすくなります。

"イベントを登録して撮影する" (☞ P.42)

- "高速起動"が "入"のときは、液晶モニターを閉じて電源を切っても、5 分以内に液晶モニターを開けば、すぐに電源が入ります。

"高速起動" (☞ P.126)

- "オートパワーオフ"が "入"のときは、何も操作せずに 5 分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。(バッテリー使用時のみ)

"オートパワーオフ" (☞ P.125)

- "顔優先ＡＥ／ＡＦ"が "入"(初期設定)のときは、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせて撮影できます。

"人物をきれいに撮影する(顔検出 AE/AF)" (☞ P.39)

- "シームレス撮影"が "入"のときは、記録メディアの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。

"シームレス撮影" (☞ P.109)

ご注意:

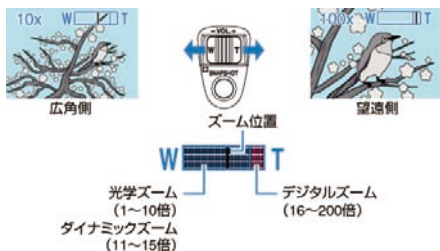
- レンズを直射日光などに向けないでください。
- 雨や雪が降る屋外や、浴室など湿度の高い場所では、使用を避けてください。
- 湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使わないでください。
- 動画の記録中はアクセスランプが点灯します。点灯中は、バッテリーや AC アダプター、SD カードを取りはずさないでください。
- 免責事項
  ・本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
  ・商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
  ・万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
  ・品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

メモ:

- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。
- 撮影を開始する前に、あらかじめメディアの撮影可能時間をチェックし、余裕がない場合には、データをパソコンやディスクなどに移動(保存)しておきましょう。
- 撮影終了後は、こまめに保存することをおすすめします。
- 仕様上、12 時間以上の連続撮影ができませんので、自動的に撮影が停止します。
  (撮影の再開には、多少時間がかかる場合があります)
- 長時間の撮影では、自動的に最大 4 GB のファイルに分割されます。
- 室内で長時間録画するときには、AC アダプターをつないで撮影することもできます。

ズームを使う

ズームを使うと、画角を調整できます。

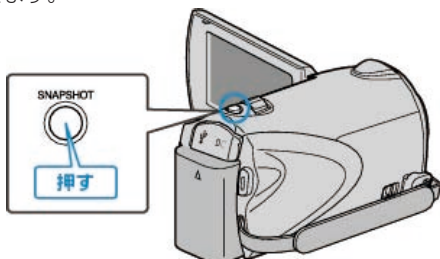
- 視野を広く撮影するときは、W 側(広角側)にしてください。
- 被写体を大きく撮影するときは、T 側(望遠側)にしてください。

- スライダーの T/W ズームを使って、ズームすることもできます。

メモ:

- ダイナミックズームを使えば、ほとんど画質を劣化させることなくズーム領域を広げることができます。
- デジタルズームを使うと映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。
- ズーム倍率の範囲は変更できます。

"ズーム倍率" (☞ P.108)

動画撮影中に静止画を撮影する

動画モード(待機中や撮影中)のときに SNAPSHOT ボタンを押すと、静止画を撮影できます。

- 静止画の記録中は画面に「PHOTO」が点灯します。

- 動画撮影中に撮影した静止画は、メディア設定で設定してある保存先に記録されます。

"静止画メディア設定" (☞ P.133)

メモ:

- 動画モード中に撮影した静止画のサイズは、3200×1800 になります。
- シャッターモードを連写に設定すると、静止画を連続して撮影できます。

"シャッターモード" (☞ P.109)

- 画質は、設定されている "静止画画質"によって異なります。

"静止画画質" (☞ P.113)

- 動画にエフェクト効果(白黒･セピア)をつけている場合、同じ効果が静止画にも反映されます。

"エフェクト" (☞ P.115)

手ぶれを補正して撮影する

手ぶれ補正を ON にすると、動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます

- タッチするたびに、手ぶれ補正の設定が切り替わります。

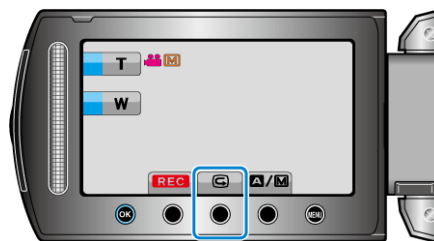
画面表示	設定
(通常モード)	手ぶれを補正します。
(アクティブモード)	明るいシーンを広角側で撮影する場合に、より手ぶれ補正の効果を発揮します。 ※広角側(～5 倍)のみ
(OFF)	手ぶれを補正しません。

メモ:

- 三脚などに固定して動きの少ない被写体を撮影したい場合は、OFF にすることをおすすめします。
- 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。
- 動画撮影時のみに効果があります。

撮影した映像をすぐに確認する

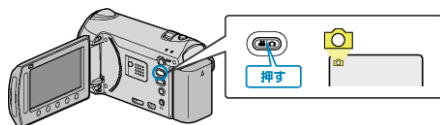
撮影モードのまま、直前に撮影した映像を確認できます。(クイックレビュー)

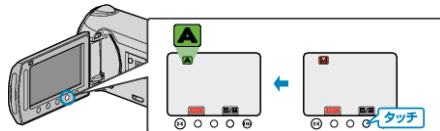
メモ:

- 確認後に削除もできます。
- 一度電源を切ると、クイックレビューはできません。
  確認したいときは、再生モードにして確認してください。
- 静止画の場合

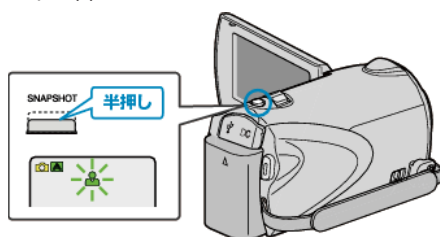
"撮影した映像をすぐに確認する(静止画)" (☞ P.32)

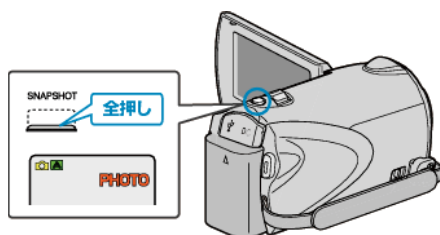
静止画をオートで撮影する

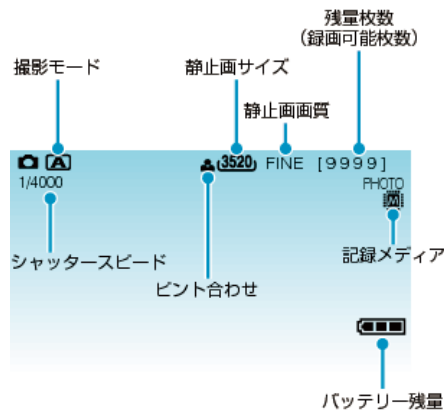
オート撮影を使えば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。

1 液晶モニターを開き、静止画を選ぶ

- アイコンが静止画になります。

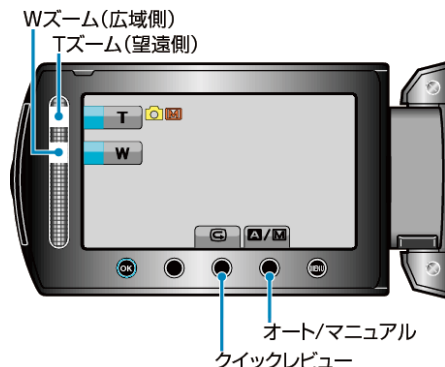
2 撮影モードがオートか確認する

- マニュアルになっているときは、A/M ボタンを何度かタッチしてください。
  タッチするたびにオートとマニュアルが切り替わります。

3 被写体にピントを合わせる

- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

4 シャッターを切る

- 静止画記録中は、PHOTO が点灯します。

静止画撮影時の画面表示

表示アイコン	説明
撮影モード	A/M ボタンを押して、撮影モードの A（オート）と M（マニュアル）を切り替えます。
静止画サイズ	静止画サイズのアイコンを表示します。 ● 静止画サイズは変更できます。 "静止画サイズ"（☞ P.113）
静止画画質	撮影メニュー "静止画画質"で設定している画質のアイコンを表示します。 "静止画画質"（☞ P.113）
残量枚数（撮影可能枚数）	静止画撮影が可能な残り枚数を表示します。
シャッタースピード	シャッタースピードを表示します。
ピント合わせ	ピントが合うと緑色に点灯します。
静止画記録中	静止画の記録中に表示します。
記録メディア	撮影した静止画を記録するメディアのアイコンを表示します。記録メディアは変更できます。 "静止画メディア設定"（☞ P.133）
バッテリー残量	バッテリー残量の目安を表示します。 INFO ボタン ⏻ を押すと、バッテリー残量の詳細を表示します。 "残量時間/バッテリー残量"（☞ P.48）

静止画撮影時の操作ボタン

Wズーム(広域側)
Tズーム(望遠側)

オート/マニュアル
クイックレビュー

操作ボタン	説明
T/W ズーム	ズームレバーと同じ動作をします。 "ズームを使う" (☞ P.32)
クイックレビュー	直前に撮影した静止画を見ることができます。 "撮影した映像をすぐに確認する" (☞ P.32)
オート/マニュアル	撮影モードをオート/マニュアルに切り替えます。

メモ:

- スライダーの操作ボタンは、液晶モニターを反転しているときは使えません。
- ズームは、スライダーをタッチすると表示します。

撮影するときの便利な設定

- "高速起動"が "入"のときは、液晶モニターを閉じて電源を切っても、5 分以内に液晶モニターを開けば、すぐに電源が入ります。

"高速起動" (☞ P.126)

- "オートパワーオフ"が "入"のときは、何も操作せずに 5 分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。(バッテリー使用時のみ)

"オートパワーオフ" (☞ P.125)

- "顔優先ＡＥ／ＡＦ"が "入"(初期設定)のときは、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせて撮影できます。

"人物をきれいに撮影する(顔検出 AE/AF)" (☞ P.39)

- 暗い場所で撮影するときは、フラッシュを設定して撮影しましょう。

"フラッシュ" (☞ P.112)

ご注意:

- レンズを直射日光などに向けないでください。
- 雨や雪が降る屋外や、浴室など湿度の高い場所では、使用を避けてください。
- 湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使わないでください。
- 静止画の記録中はアクセスランプが点灯します。点灯中は、バッテリーや AC アダプター、SD カードを取りはずさないでください。

メモ:

- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。
- 静止画の撮影時は、手ぶれ補正が働きません。

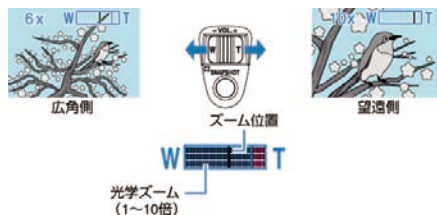
ズームを使う

ズームを使うと、画角を調整できます。

- 視野を広く撮影するときは、W 側(広角側)にしてください。
- 被写体を大きく撮影するときは、T 側(望遠側)にしてください。

広角側
ズーム位置
望遠側
光学ズーム
(1~10倍)

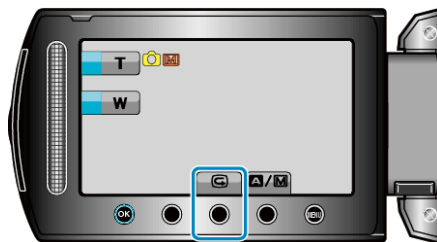
- スライダーの T/W ズームを使って、ズームすることもできます。

W ズーム(広角側)
T ズーム(望遠側)

メモ:

- 静止画の撮影では、光学ズームのみ使えます。

撮影した映像をすぐに確認する

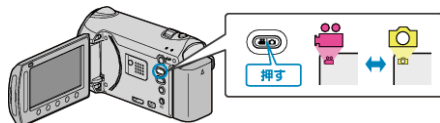
撮影モードのまま、直前に撮影した映像を確認できます。(クイックレビュー)

メモ:

- 確認後に削除もできます。
- 一度電源を切ると、クイックレビューはできません。
  確認したいときは、再生モードにして確認してください。
- 動画の場合

"撮影した映像をすぐに確認する(動画)" (☞ P.30)

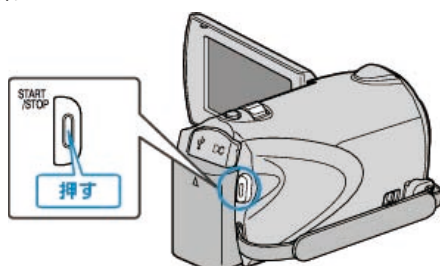
マニュアルで撮影する

マニュアル撮影では、明るさやシャッタースピードなどを設定することができます。
マニュアル撮影は、動画でも、静止画でも設定できます。

1 動画または静止画を選ぶ

- アイコンが動画または静止画になります。

2 マニュアル撮影モードにする

- タッチするたびにオートとマニュアルが切り替わります。

3 撮影を開始する

- もう一度押すと撮影を停止します。

メモ：

- マニュアル設定は、マニュアルモード時のみ設定することができます。

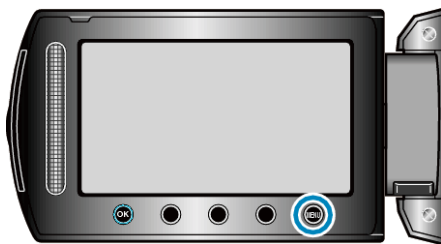
マニュアル撮影メニュー一覧

以下の項目を設定できます。

設定名	概要
シーンセレクト	● 撮影状況に合わせた撮影が簡単にできます。 "シーンを選んで撮影する" (☞ P.34)
フォーカス	● 自動でピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使ってみましょう。 "手動でピントを合わせる" (☞ P.35)
フォーカスアシスト	ピントが合っている被写体の輪郭に色を付けて、ピントを合わせやすくします。 "フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ P.35)
明るさ補正	● 画面全体の明るさを調節できます。 ● 撮影場所が暗いときや明るいときに調節しましょう。 "明るさを補正する" (☞ P.36)
シャッタースピード	● シャッタースピードを設定できます。 ● 動きの早い被写体を撮影するときや被写体の動きを強調したいときに設定します。 "シャッタースピードを設定する" (☞ P.36)
ホワイトバランス	● 画面全体の色合いを設定できます。 ● 目で見た色合いと画面上の色合いが違うときに設定します。 "ホワイトバランスを設定する" (☞ P.37)
逆光補正	● 逆光で被写体が暗くなるのを補正します。 ● 逆光状態で撮影するときに設定します。 "逆光補正を設定する" (☞ P.37)
測光エリア	● 明るさの基準となるエリアを設定できます。 "明るさの基準を測るエリアを設定する" (☞ P.38)
エフェクト	● 古い写真のように撮影したり、モノクロ映像などを撮影できます。 "エフェクトをかけて撮影する" (☞ P.38)
テレマクロ	● 被写体に近づいて撮影(接写)したいときに設定します。 "接写で撮影する" (☞ P.39)

シーンを選んで撮影する

代表的なシーンを最適な設定で撮影できます。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、OK をタッチする

3 "シーンセレクト"を選び、OK をタッチする

4 シーンを選び、OK をタッチする

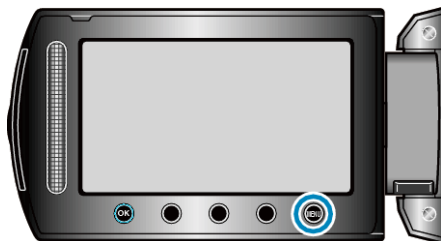
- 設定が終わったら、MENU をタッチしてください。

※画像はイメージです。

設定	効果
ナイトアイ	周囲が薄暗いときは、スローシャッターになり、自動的に感度を上げて明るくします。 手ぶれしないように三脚を使用してください。 OFF ON
夜景	夜景などを自然な感じに撮影できます。 OFF ON
ポートレート	背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。 OFF ON
スポーツ	動きの速いものを 1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できます。 OFF ON
スノー	晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。 OFF ON
スポットライト	ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。 OFF ON

手動でピントを合わせる

"オート"でピントが合わないときや、手動でピントを合わせたいときに設定します。

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、Ⓞ をタッチする

3 "フォーカス"を選び、Ⓞ をタッチする

4 "マニュアル"を選び、Ⓞ をタッチする

5 スライダーでピントを合わせる

- 上にスライドすると、遠くの被写体にピントが合います。
- 下にスライドすると、近くの被写体にピントが合います。

6 Ⓞ をタッチして、決定する

メモ：

- 望遠(T)側でピントを合わせてから広角(W)にすると、ピントがずれません。

フォーカスアシストを使ってピントを合わせる

ピントが合っている被写体の輪郭に色を付けて、ピントを合わせやすくします。

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、Ⓞ をタッチする

3 "フォーカスアシスト"を選び、Ⓞ をタッチする

4 スライダーでピントを合わせる

- 上にスライドすると、遠くの被写体にピントが合います。
- 下にスライドすると、近くの被写体にピントが合います。

5 Ⓞ をタッチして、決定する

メモ：

- フォーカスアシスト設定時は、画面が白黒になり、ピントが合っている部分の輪郭に選んだ色が付きます。輪郭線が見にくくなったときは色を変えてください。

"アシストカラー"（☞ P.122）

明るさを補正する

お好みの明るさに調整できます。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、OK をタッチする

3 "明るさ補正"を選び、OK をタッチする

4 "マニュアル"を選び、OK をタッチする

5 スライダーで明るさ補正の値を選ぶ

- 動画撮影時の補正範囲：－6～＋6
- 静止画撮影時の補正範囲：－2.0～＋2.0
- 上にスライドすると、明るくなります。
- 下にスライドすると、暗くなります。

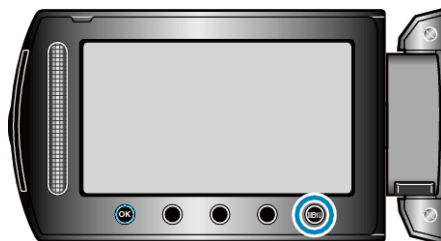
6 OK をタッチして、決定する

メモ：

- 動画と静止画で別々に設定できます。

シャッタースピードを設定する

被写体に合わせてシャッタースピードを設定しましょう。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、OK をタッチする

3 "シャッタースピード"を選び、OK をタッチする

4 "マニュアル"を選び、OK をタッチする

5 スライダーでシャッタースピードの値を選ぶ

- シャッタースピードを 1/2 から 1/4000 まで設定できます。（静止画は 1/500 まで設定できます。）
- 上にスライドすると、シャッタースピードが速くなります。
- 下にスライドすると、シャッタースピードが遅くなります。

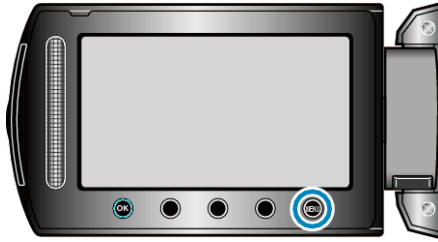
6 OK をタッチして、決定する

メモ：

- 動画と静止画で別々に設定できます。

ホワイトバランスを設定する

光源に合わせて、色合いの設定ができます。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、OK をタッチする

3 "ホワイトバランス"を選び、OK をタッチする

4 ホワイトバランスの設定を選び、OK をタッチする

設定	内容
オート	自動的に自然な色合いになるように調節します。
ワンタッチ	色の不自然さが解消されないときに使います。
はれ	晴れた日の屋外で撮影するときに設定します。
くもり	曇りの日や日陰で撮影するときに設定します。
ハロゲン	撮影ライトなど照明の下で撮影するときに設定します。

ワンタッチを使うときは

1 白い紙をレンズの前に置き、画面一杯に表示する

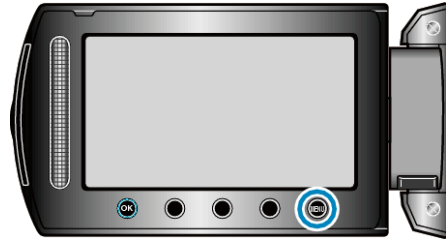
2 "ワンタッチ"を選んで、OK をタッチし続ける

- カーソルが点滅します。

3 メニューが消えたら、OK から指をはなす

逆光補正を設定する

逆光によって、被写体が暗くなるのを補正します。

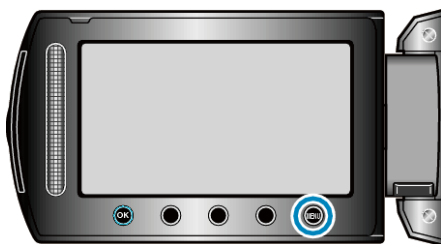
1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、OK をタッチする

3 "逆光補正"を選び、OK をタッチする

4 "入"を選び、OK をタッチする

明るさの基準を測るエリアを設定する

明るさの基準になるエリアを設定します。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、OK をタッチする

3 "測光エリア"を選び、OK をタッチする

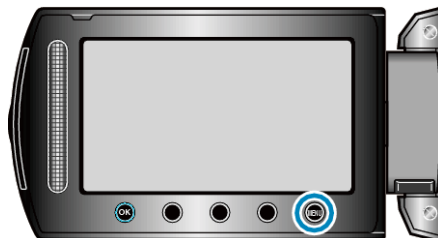
4 "スポット"を選び、OK をタッチする

- "スポット"を選んだ場合は、操作ボタンの「←」/「→」をタッチして、スポット枠の位置を選んでください。
  選んだら、OK をタッチして、決定してください。

エフェクトをかけて撮影する

動画や静止画にいろいろなエフェクト効果をつけて、通常の撮影とは雰囲気の違う映像を撮ることができます。

※画像はイメージです。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、OK をタッチする

3 "エフェクト"を選び、OK をタッチする

4 エフェクトの設定を選び、OK をタッチする

設定	内容
切	効果をつけません。
セピア	古い写真のようなセピア色で撮影できます。
白黒	昔の TV のようなモノクロ撮影ができます。
映画効果	速いコマ落としによる映画のような効果で撮影できます。 ● 動画のみ設定できます。
ストロボ	コマ落としで、連続写真のように撮影できます。 ● 動画のみ設定できます。

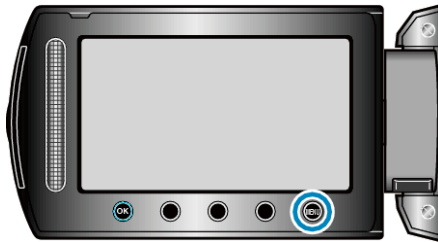
メモ：

- 動画と静止画で別々に設定できます。

接写で撮影する

テレマクロ機能を設定すれば、被写体に接近して接写することができます。

※画像はイメージです。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "マニュアル設定"を選び、OK をタッチする

3 "テレマクロ"を選び、OK をタッチする

4 "入"を選び、OK をタッチする

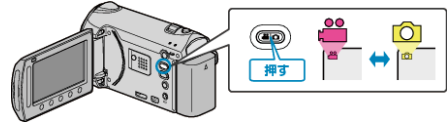
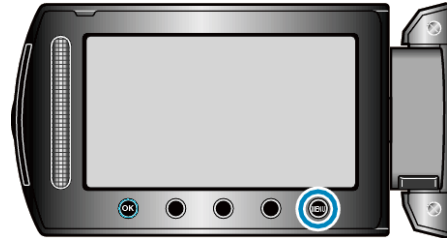
設定	内容
切	望遠(T) 側では約 1 m まで近づけます。 広角(W) 側では約 5 cm まで近づけます。
入	望遠(T) 側では約 60 cm まで近づけます。 広角(W) 側では約 5 cm まで近づけます。

ご注意：

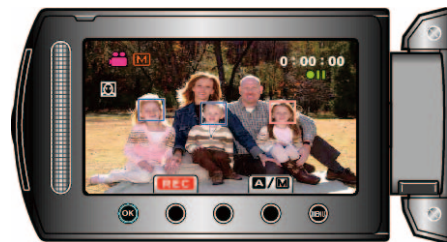
- 接写しないときは、"切"
  にしてください。
  "入"のままだと、画像がぼやけることがあります。

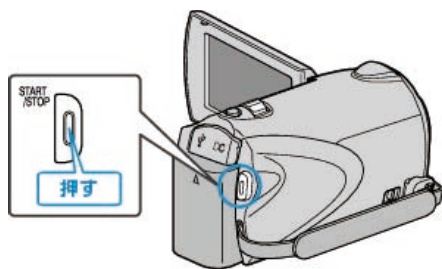
人物をきれいに撮影する（顔検出 AE/AF）

"顔優先ＡＥ／ＡＦ"は、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせます。
顔優先ＡＥ／ＡＦは、動画でも、静止画でも設定できます。

1 動画または静止画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "顔優先ＡＥ／ＡＦ"を選び、OK をタッチする

4 "入"を選び、OK をタッチする

5 人物に本機を向ける

- 人物の顔に枠が付き、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
- 複数の顔を検出したときは、本機に最も近い顔にピントが合います。

6 撮影を始める

ご注意：

- "顔優先ＡＥ／ＡＦ"を "入"にすると、以下の設定が変更されます。
  ・"シーンセレクト"をスポットライトに設定しているときは、OFF になります。
  ・"フォーカス"を "マニュアル"に設定しているときは、"オート"になります。
  ・"逆光補正"を "入"に設定しているときは、"切"になります。
  ・"測光エリア"を "スポット"に設定しているときは、"全体"に変更されます。
- 以下の設定をすると、"顔優先ＡＥ／ＡＦ"は "切"に変更されます。
  ・"シーンセレクト"をスポットライトに設定したとき
  ・"フォーカス"を "マニュアル"に設定したとき
  ・"フォーカスアシスト"を設定したとき
  ・"逆光補正"を "入"に設定したとき
  ・"測光エリア"を "スポット"に設定したとき

メモ：

- 最大 16 人まで、人物の顔を検出します。
- 撮影環境によっては、顔を検出できないことがあります。
- 正しい効果が得られない場合は、"顔優先ＡＥ／ＡＦ"を "切"にしてお使いください。

記念写真を撮影する（セルフタイマー）

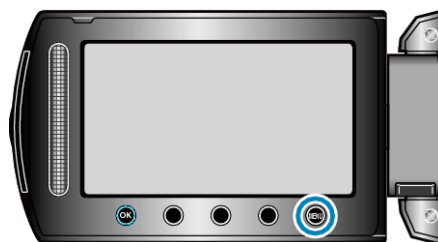
記念写真を撮影するときは、10 秒セルフタイマーや顔検出セルフタイマーを使うと便利です。
また、2 秒セルフタイマーを使えば、シャッターを切るときの手ぶれを防ぐことができます。

メモ：

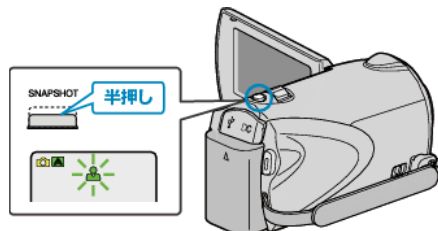
セルフタイマーを設定したときは、三脚を使って撮影することをおすすめします。
"三脚の取り付けかた" (☞ P.18)

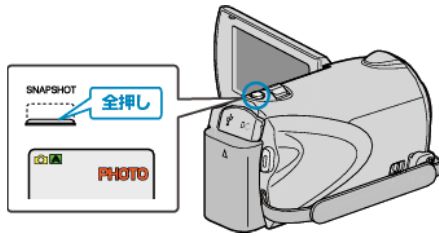
2 秒/10 秒セルフタイマーを使うとき

1 静止画を選ぶ

2 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "セルフタイマー"を選び、Ⓞ をタッチする

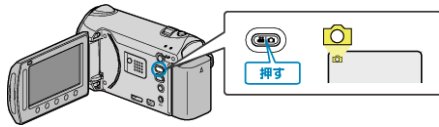
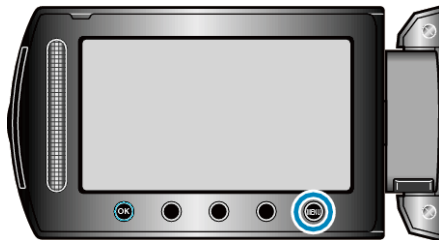
4 ２秒または１０秒を選び、Ⓞ をタッチする

5 被写体にピントを合わせる

- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

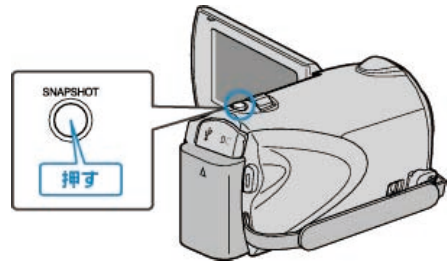
6 シャッターを切る

- 撮影までのカウントダウンが表示されます。
- 途中でセルフタイマー撮影を止めるには、もう一度 SNAPSHOT ボタンを押します。

顔検出セルフタイマーを使うとき

SNAPSHOT ボタンを押すと顔を検出し、画面内に 1 人加わると 3 秒後に撮影します。
撮影する人も一緒に写って撮影できます。

1 静止画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "セルフタイマー"を選び、OK をタッチする

4 "顔検出"を選び、OK をタッチする

5 撮影する全員が本機側を向いていることを確認してから、SNAPSHOT ボタンを押す

- 人の顔に枠が付きます。
- 人の顔に枠が付いた状態で SNAPSHOT ボタンをもう一度押すと、10 秒カウントダウンが始まります。

6 撮影者が画面内に入る

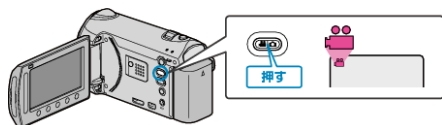
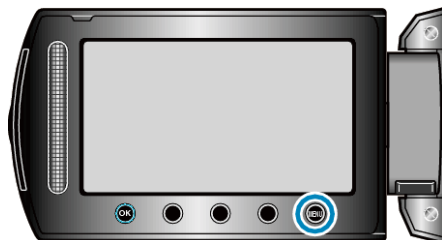
- 撮影者が画面内に入って 3 秒後にシャッターが切れます。
- 途中でセルフタイマー撮影を止めるには、もう一度 SNAPSHOT ボタンを押します。

メモ：

- 撮影環境によっては "顔検出"で顔を検出できないことがあります。

イベントを登録して撮影する

撮影する動画の分類をしておけば、再生するときに検索しやすくなります。

1 動画を選ぶ

2 ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "イベント登録"を選び、Ⓞ をタッチする

4 イベントの種類を選び、Ⓞ をタッチする

イベントの種類
子供
運動会
レジャー
イベント
スポーツ
旅行
パーティー
結婚式
ペット
ビジネス

- 以後、撮影する動画に選んだイベントが記録され、画面にアイコンが表示されます。
  （変更するまで同じイベントが記録され続けます）

メモ：

- イベントの記録をやめるときは、手順 4 で "解除"をタッチします。
- 一度記録したイベントを後から変更することもできます。

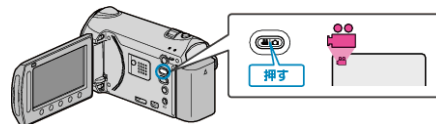
"一つずつイベント変更する"（☞ P.66）
"まとめてイベント変更する"（☞ P.67）

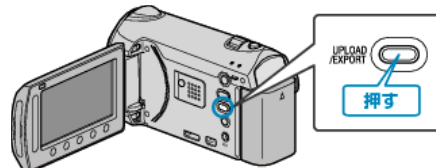
YouTube 用の動画を撮影する

動画共有サイト「YouTube」に投稿すると、あなたが撮影した動画を家族や友人と手軽に共有することができ、楽しみが更に広がります。
アップロード撮影をすると、YouTube にアップロードできる 10 分以内の動画を撮影することができます。

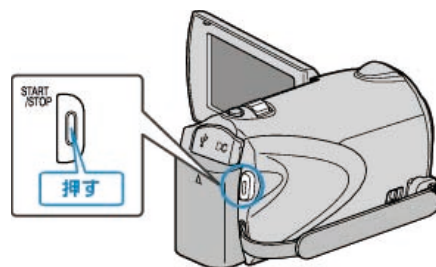
メモ：

YouTube については、下記をご覧ください。
http://www.youtube.com/

1 動画を選ぶ

- アイコンが動画モードになります。

2 UPLOAD/EXPORT ボタンを押し、 "アップロード撮影"/ "ＥＸＰＯＲＴ撮影"メニューを表示する

3 "アップロード撮影"を選び、Ⓞ ボタンをタッチする

- 押すたびに、ON と OFF が切り替わります。
- 設定が ON になると、画面に「⊕」マークが表示されます。
- 設定を解除するときは、「OFF」にしてください。
- 設定が終わったら、⮌ ボタンをタッチしてください。

4 撮影を開始する

- もう一度押すと撮影を停止します。
- アップロード用の動画は、最大 10 分間撮影できます。
  撮影時間が 10 分経つと、自動的に撮影が停止します。

メモ：
- アップロード撮影では、YouTube の時間制限である 10 分間のみ撮影ができます。
- アップロード用の動画としてファイルフォーマットを変換することは、本機ではできません。
  動画ファイルのアップロードは、「動画をアップロードするには」をご覧ください。
- 撮影が停止すると、アップロード撮影アイコンが消えます。
  もう一度アップロード用の動画を撮影したいときは、設定し直してください。

動画をアップロードするには

付属ソフト「Everio MediaBrowser」を使って YouTube にアップロードできます。
ソフトをパソコンにインストールして、本機をパソコンに接続してください。

- ソフトの操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください。

"付属ソフトをインストールする" (☞ P.99)
"本機をパソコンとつなぐには" (☞ P.100)

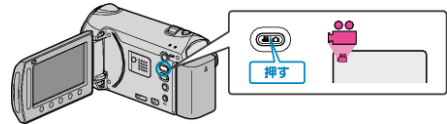
動画をアップロードできないときは

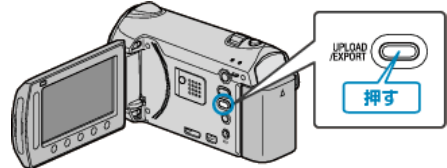
- YouTube のアカウントが作成されているか確認してください。
  （YouTube へのアップロードには、YouTube のアカウントが必要です。）
- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」のヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」、「最新情報」、「ダウンロード情報」などを確認してください。

iTunes 用の動画を撮影する

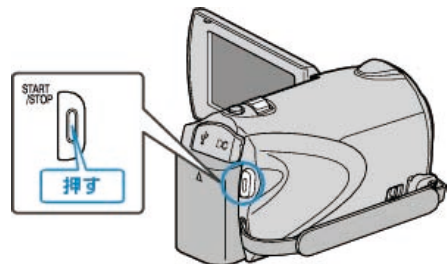
EXPORT 設定をして撮影すると、本機とパソコンを接続したときにアップル社のソフト「iTunes」に動画を移動できるようになります。
iTunes 用の動画は、「LIB.」を表示させて撮影します。
動画の転送には付属ソフトを使用します。
"付属ソフトをインストールする" (☞ P.99)

メモ：
iTunes と iPod については、下記をご覧ください。
http://www.apple.com/jp/itunes/

1 動画を選ぶ

- アイコンが動画モードになります。

2 UPLOAD/EXPORT ボタンを押し、"アップロード撮影"/ "ＥＸＰＯＲＴ撮影"メニューを表示する

3 "ＥＸＰＯＲＴ撮影"を選び、ⓞⓚ ボタンをタッチする

- 押すたびに、ON と OFF が切り替わります。
- 設定が ON になると、画面に「LIB.」マークが表示されます。
- 設定を解除するときは、「OFF」にしてください。
- 設定が終わったら、⮌ ボタンをタッチしてください。

4 撮影を開始する

- もう一度押すと撮影を停止します。

メモ：
- 撮影を停止すると、iTunes 用撮影アイコンが消えます。
  もう一度 iTunes 用の動画を撮影したいときは、設定し直してください。

撮影した動画を iPod に入れるときは

付属ソフト「Everio MediaBrowser」を使って iTunes に転送できます。
ソフトをパソコンにインストールして、本機をパソコンに接続してください。

- ソフトの操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
- iPod への転送については、iTunes のヘルプをご覧ください。

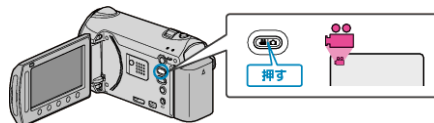
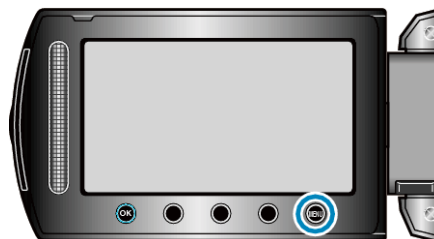
"付属ソフトをインストールする" (☞ P.99)
"すべての映像をバックアップする" (☞ P.100)

iTunes に転送できないときは

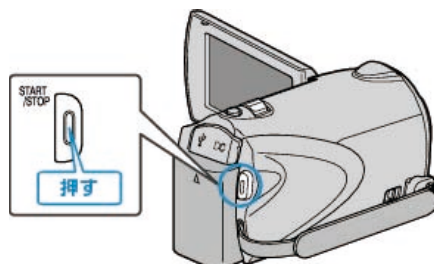
- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」のヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」、「最新情報」、「ダウンロード情報」などを確認してください。

スローモーションを撮影する(高速撮影)

撮影速度を上げて撮影し、動きを強調したスローモーション動画を撮影します。
ゴルフのスイングなどを確認したいときに便利です。

1 動画を選ぶ

2 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "高速撮影"を選び、Ⓞ をタッチする

4 撮影速度を選び、Ⓞ をタッチする

5 撮影を始める

- 撮影を開始し、撮影可能時間がカウントダウンされます。
撮影可能時間が「0:00:00」になると撮影が停止します。
- 撮影が終わると、動画の保存が始まります。
- カウントダウンの途中で START/STOP ボタンを押すと、撮影を停止します。
- 高速撮影の設定は記憶されます。高速撮影を解除するには、"高速撮影" の設定を "切"にしてください。

撮影速度	撮影可能時間	動画の再生時間
１２０ｆｐｓ	最大 4 秒間	撮影時間の 2 倍（最大 8 秒）
３００ｆｐｓ	最大 4 秒間	撮影時間の 5 倍（最大 20 秒）
６００ｆｐｓ	最大 2.4 秒間	撮影時間の 10 倍（最大 24 秒）

メモ：

- "動画画質"の設定に関わらず、"ＸＰ"で撮影されます。

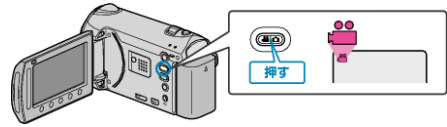
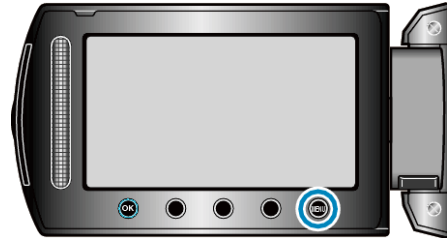
"動画画質"（☞ P.107）

- 高速撮影を設定している間は、光学ズームのみ使えます。
- 標準画質より小さな解像度で撮影し、ハイビジョン画質に変換して保存します。そのため、ほかの動画より画像が粗くなります。さらに、画像に黒い枠が付きます。
- 撮影した動画に音声は記録されません。
- 撮影速度を上げるほど画像が粗くなり、さらに暗くなります。
高速撮影をするときは、三脚を使用して明るい場所でなるべく被写体を拡大して撮影することをおすすめします。

"三脚の取り付けかた"（☞ P.18）

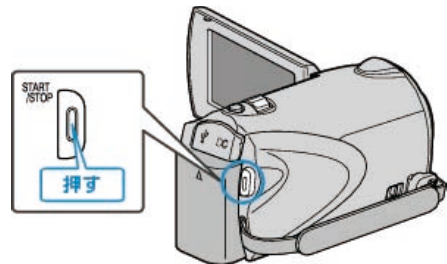
微速度撮影をする（タイムラプス撮影）

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間をかけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。
花のつぼみが開く様子を観察するときなどに便利です。

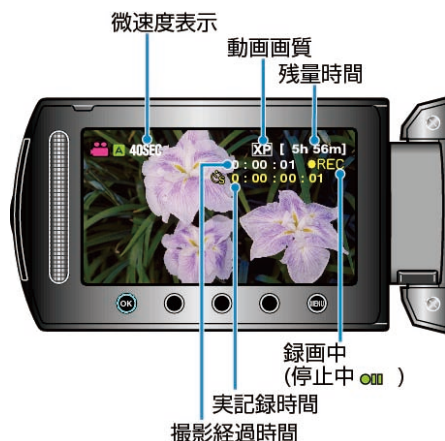
1 動画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "タイムラプス撮影"を選び、OK をタッチする

4 撮影間隔（1〜80 秒間隔）を選び、OK をタッチする

- 間隔秒数が大きいほど撮影間隔が長くなります。

5 撮影を始める

- 設定した撮影間隔で 1 コマ撮影をします。
- 撮影間隔を "２０秒間隔"以上に設定しているとき、撮影の合間は省電力状態になります。
次の撮影時間になると、自動的に省電力を解除し、撮影をします。
- もう一度、START/STOP ボタンを押すと、撮影を停止します。

タイムラプス撮影中の画面表示

微速度表示
動画画質
残量時間
録画中
(停止中)
実記録時間
撮影経過時間

画面表示	説明
微速度表示	設定している撮影間隔を表示します。
動画画質	動画画質設定で設定されている画質のアイコンを表示します。
残量時間	設定中の動画画質で録画可能な残り時間です。
録画中	動画撮影中に表示します。 省電力状態のときは、点滅します。
停止中	動画撮影を停止しているときに表示します。
撮影経過時間	撮影を開始してから実際の経過時間を表示します。
実記録時間	実際に撮影した動画の記録時間を表示します。記録時間はフレーム単位で増加します。

タイムラプス撮影の設定内容

間隔秒数が大きいほど撮影間隔が長くなります。

設定	詳細
切	タイムラプス撮影をしません。
１秒間隔	1 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 30 倍速で再生されます。
２秒間隔	2 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 60 倍速で再生されます。
５秒間隔	5 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 150 倍速で再生されます。
１０秒間隔	10 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 300 倍速で再生されます。
２０秒間隔	20 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 600 倍速で再生されます。
４０秒間隔	40 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 1200 倍速で再生されます。
８０秒間隔	80 秒間隔に 1 フレームずつ撮影します。 撮影した動画は 2400 倍速で再生されます。

ご注意：

- タイムラプス撮影で撮影した動画には、音声が記録されません。
- タイムラプス撮影中は、ズーム操作、写真同時撮影、および手ぶれ補正が使えません。
- 実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。
- タイムラプス撮影中は、シームレス撮影は行いません。

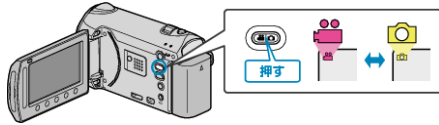
メモ：

- タイムラプス撮影の設定は、電源を切っても保存されています。
  電源を入れると、画面に「TIME LAPSE」と表示されます。
- 撮影開始から 99 時間を経過すると、自動的に撮影を停止します。
- 撮影間隔の長いタイムラプス撮影では、三脚および AC アダプターをご使用ください。
  また、フォーカスやホワイトバランスをマニュアルで固定して使うことをおすすめします。

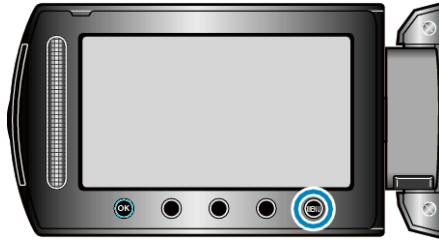
"三脚の取り付けかた" (☞ P.18)
"手動でピントを合わせる" (☞ P.35)
"ホワイトバランスを設定する" (☞ P.37)

動きを感知し自動的に撮影する(フレームイン REC)

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に動画または静止画の撮影をします。(フレームイン REC)
フレームイン REC は、動画でも、静止画でも設定できます。

1 動画または静止画を選ぶ

2 撮影する被写体に合わせて、構図を決める

- ズームなどを使って画角を合わせてください。

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "フレームインＲＥＣ"を選び、OK をタッチする

5 "入"を選び、OK をタッチする

6 赤枠内の被写体が動いたら、自動的に撮影が開始される

- メニュー表示が消えてから、約 2 秒後に赤い枠を表示します。
- 動画撮影の場合、赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)がなくなるまで撮影を続けます。赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)がなくなると５秒後に撮影を停止します。
- 手動で動画撮影を停止したい場合は、START/STOP ボタンを押してください。ただし、動画撮影を停止後もフレームイン REC 設定「入」の状態は継続するため、赤枠内の被写体に動き(明るさの変化)を感知したら、再度撮影を開始します。フレームイン REC を解除するには、フレームイン REC 設定を "切"にしてください。

ご注意:

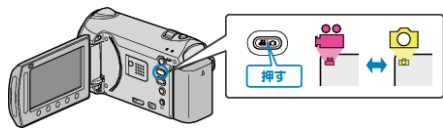
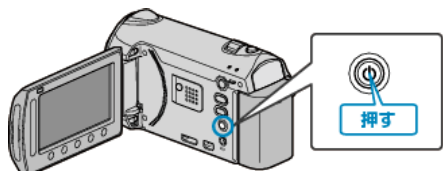
- マニュアル撮影は "テレマクロ"のみ設定できます。
  そのほかのマニュアル撮影の設定はすべて "オート"になります。
- フレームイン REC 設定後は、デジタルズーム、手ぶれ補正、セルフタイマー、および連写は使えません。
- タイムラプス撮影との併用はできません。設定した場合は、タイムラプス撮影を優先します。
- フレームイン REC 設定後は、静止画サイズの変更ができません。
  フレームイン REC 設定を「入」にする前に設定してください。
- フレームイン REC 設定後は、オートパワーオフおよびパワーセーブは効きません。

メモ:

- 動画撮影の場合、変化がなくなると５秒後に撮影を停止します。
- 赤枠内の被写体の動きが早いなど明るさの変化が小さい場合は、撮影を開始できない場合があります。
- 赤枠内に動きが無くても、明るさの変化によっては撮影を開始してしまうことがあります。
- ズーム動作中は撮影を開始できません。

残量時間/バッテリー残量

内蔵メモリーや SD カードに記録できる動画の残量時間やバッテリー残量を確認できます。

1 動画または静止画を選ぶ

2 ⏻ ボタンを押す

- 静止画を選んでいるときは、手順 4 へ進んでください。

3 残量時間を表示する

- 動画撮影モードのときのみ、残量時間が表示されます。
- ⏻ ボタンを押すと、残量時間表示する記録メディアが切り換わります。
- 残量時間を表示しているときに、操作ボタンの「バッテリーアイコン」をタッチすると、バッテリー残量が表示されます。
- MENU ボタンをタッチすると、表示を終了します。

4 バッテリー残量を表示する

- ⏻ ボタンを押す、または MENU ボタンをタッチすると、表示を終了します。
- バッテリー残量は AC アダプターを接続している時は表示されません。

メモ:

- 残量時間表示からも、動画画質を変更できます。
  スライダーで動画画質を選んで、OK をタッチしてください。

動画の撮影可能時間の目安

画質	内蔵メモリー（64 GB）	SDHC カード	SDHC カード	SDHC カード	SDHC カード
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
ＵＸＰ	5 時間 54 分	21 分	44 分	1 時間 29 分	2 時間 58 分
ＸＰ	8 時間 20 分	31 分	1 時間 2 分	2 時間 5 分	4 時間 12 分
ＳＰ	11 時間 49 分	43 分	1 時間 28 分	2 時間 58 分	5 時間 57 分
ＥＰ	29 時間 33 分	1 時間 49 分	3 時間 41 分	7 時間 26 分	14 時間 53 分

- 撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

画像サイズ	画質モード	SDHC カード	SDHC カード	SDHC カード	SDHC カード	内蔵メモリー（64 GB）
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	
3520×2640 (4 : 3)	ファイン	940	1900	3800	7690	9999
	スタンダード	1460	2940	5890	9999	9999
3072×2304 (4 : 3)	ファイン	1230	2490	4980	9999	9999
	スタンダード	1960	3960	7920	9999	9999
2592×1944 (4 : 3)	ファイン	1740	3500	7000	9999	9999
	スタンダード	2720	5490	9999	9999	9999
1600×1200 (4 : 3)	ファイン	4440	8950	9999	9999	9999
	スタンダード	7500	9999	9999	9999	9999
640×480 (4 : 3)	ファイン	9999	9999	9999	9999	9999
	スタンダード	9999	9999	9999	9999	9999
3520×1984 (16 : 9)	ファイン	1250	2510	5030	9999	9999
	スタンダード	1960	3960	7920	9999	9999
3072×1728 (16 : 9)	ファイン	1660	3350	6710	9999	9999
	スタンダード	2610	5250	9999	9999	9999
2592×1456 (16 : 9)	ファイン	2260	4560	9120	9999	9999
	スタンダード	3530	7100	9999	9999	9999
1920×1080 (16 : 9)	ファイン	4140	8330	9999	9999	9999
	スタンダード	6310	9999	9999	9999	9999
1280×720 (16 : 9)	ファイン	8570	9999	9999	9999	9999
	スタンダード	9999	9999	9999	9999	9999

- 撮影可能枚数が 10000 枚以上のときは、画面に「9999」と表示されます。
  撮影枚数が 9999 枚に達すると、ファイル番号は「0001」に戻ります。

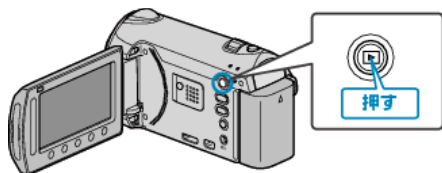
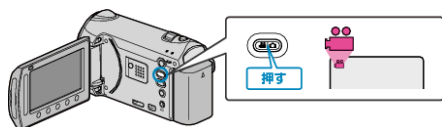
撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG114（付属品）	45 分	1 時間 20 分
BN-VG121	1 時間 10 分	2 時間 5 分
BN-VG138	2 時間 10 分	3 時間 55 分

- "ライト"が "切"、"モニターバックライト"が "標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)

動画を再生する

撮影した動画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生できます。
"動画メディア設定"で設定している保存先の内容が一覧表示されます。
"動画メディア設定" (☞ P.133)

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 再生する動画を選び、OK をタッチして再生する

- 動画撮影したときに、人物の顔を検出しているときは、サムネイル上で顔の部分を拡大して表示します。
- 再生を停止するときは、■ をタッチします。

動画再生の操作ボタン

一覧表示中

画面表示	説明
▶	選んでいる映像を再生します。
DIGEST	撮影した映像を要約して再生できます。
🔍	撮影した日付や登録した分類(イベント)から目的の映像を探せます。
🗑	選んでいる映像を削除します。
▲/▼	長押しすると、一覧表示をページ移動できます。

動画再生中

画面表示	説明
▶/❚❚	再生/一時停止
■	停止(サムネイルに戻る)
▶▶❚	次の動画に進む
❚◀◀	シーンの先頭に戻る
▶▶	早送り
◀◀	早戻し
❚▶	一時停止中にコマ送り
◀❚	一時停止中にコマ戻し

メモ:

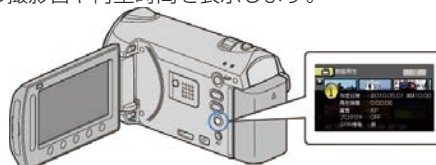
- 画面周囲のボタンやスライダーは、指でタッチしてください。
- 爪や手袋などでは操作できません。
- 画面内の表示に触れても動作しません。
- 撮影した日付や登録した分類(イベント)から目的の映像を探せます。
多くなってきた映像から探すのに便利です。

"グループ分けから探す" (☞ P.55)
"撮影日から探す" (☞ P.55)
"イベントと撮影日から探す" (☞ P.56)

ご注意:

- 免責事項
・本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
・商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
・万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
・品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

撮影日などの情報を見る

⏻ を押します。
選んだ映像の撮影日や再生時間を表示します。

一覧表示の数を増やす/減らすには

一覧表示中(サムネイル表示中)にズームレバーを操作すると、一覧表示の画面の数が 6 画面→12 画面→3 画面と変化します。

- 3 画面表示のときは、映像のファイル情報も表示します。

短時間で動画の内容を確認する

撮影した映像を要約して再生(ダイジェスト再生)できます。
短時間で映像の内容を確認したいときに便利です。

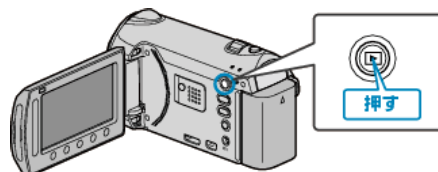
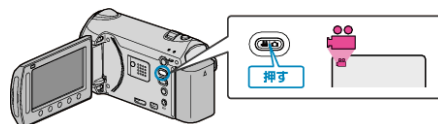
- ダイジェスト再生を開始するには、DIGEST ボタンをタッチします。

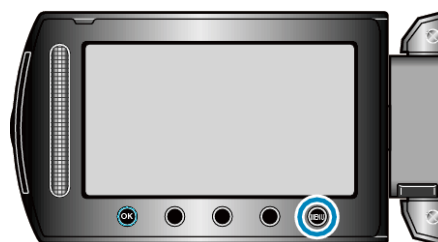
ダイジェスト再生中の操作ボタン

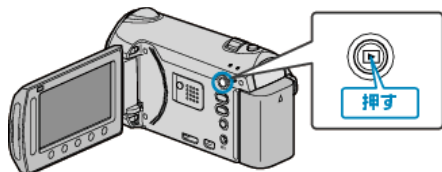
画面表示	説明
▶ / ❚❚	再生/一時停止
■	停止(サムネイルに戻る)
▶ NORM	通常再生に戻る
▶▶❚	次の動画に進む
❚◀◀	シーンの先頭に戻る
▶▶	早送り
◀◀	早戻し
❚▶	一時停止中にコマ送り
◀❚	一時停止中にコマ戻し

管理情報が壊れた動画を再生する

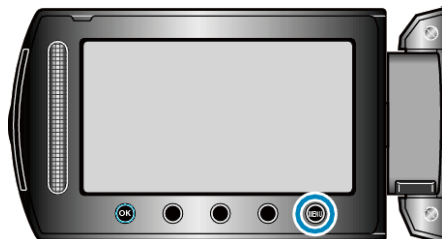
管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。

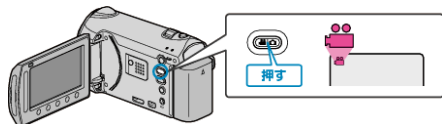
1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "特殊ファイル再生"を選び、OK をタッチする

5 再生する動画を選び、OK をタッチして再生する

"動画を再生する" (☞ P.50)

動画のつなぎ目に効果を付ける

動画ファイルを再生するときに、動画と動画の切れ目に効果を付けられます。(ワイプ/フェーダ効果)

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "ワイプ/フェーダー"を選び、OK をタッチする

5 効果を選び、OK をタッチする

6 再生する動画を選び、OK をタッチして再生する

設定	内容
切	効果を付けません。
白	最初と最後を白くします。
黒	最初と最後を黒くします。
スライド	右から左にスライドします。
ドア	中心から左右にスライドします。
スクロール	下から上にスライドします。
シャッター	中心から上下にスライドします。

メモ:

- 約7秒以下の短い動画には、効果が付きません。
- ワイプ/フェーダーの効果は、一時的なものです。
  ファイルに影響を与えないので、"切"にすると元に戻ります。
- DVD ライターや外付型ブルーレイドライブでディスクをつくる場合、これらの効果は反映されません。

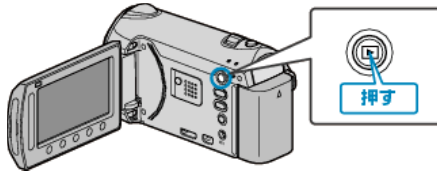
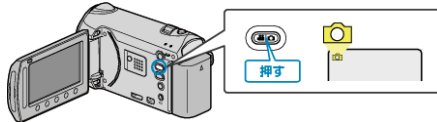
静止画を再生する

撮影した静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生できます。
"静止画メディア設定"で設定している保存先の内容が一覧表示されます。
"静止画メディア設定" (☞ P.133)

1 再生モードにする

押す

2 静止画を選ぶ

押す

3 再生する静止画を選び、OK をタッチして再生する

- 再生を停止するときは、■ をタッチします。

静止画再生の操作ボタン

一覧表示中

静止画を選ぶ(長押しでページ移動)

再生 削除 検索

画面表示	説明
▶	選んでいる映像を再生します。
🔍	撮影した日付から目的の映像を探せます。
🗑	選んでいる映像を削除します。
▲/▼	長押しすると、一覧表示をページ移動できます。

静止画再生中

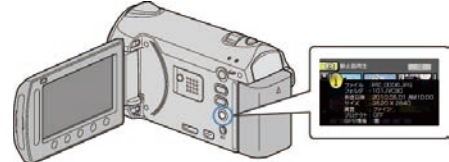
逆順再生/正順再生
(スライドショー中にどちらかを表示)
顔検出ズーム
スライドショー開始/一時停止
次の静止画を表示
前の静止画を表示
一覧表示に戻る

画面表示	説明
▶/❚❚	スライドショー開始/一時停止
■	停止(サムネイルに戻る)
▶▶❚	次の静止画に進む
❚◀◀	前の静止画に戻る
◀	スライドショー中に逆順再生
▶	スライドショー中に正順再生
顔検出ズームアイコン	顔検出ズーム "人物の顔をズームして再生する" (☞ P.54)

メモ:
- 画面周囲のボタンやスライダーは、指でタッチしてください。
- 爪や手袋などでは操作できません。
- 画面内の表示に触れても動作しません。
- 撮影した日付から目的の映像を探せます。
  多くなってきた映像から探すのに便利です。

"撮影日から探す" (☞ P.55)

撮影日などの情報を見る

⏻ を押します。
選んだ映像の撮影日を表示します。

一覧表示の数を増やす/減らすには

一覧表示中(サムネイル表示中)にズームレバーを操作すると、一覧表示の画面の数が 6 画面→12 画面→3 画面と変化します。
- 3 画面表示のときは、映像のファイル情報も表示します。

スライドショーで再生する

静止画をスライドショー機能を使って再生することができます。
静止画再生中に OK ボタンをタッチすると、スライドショーが始まります。

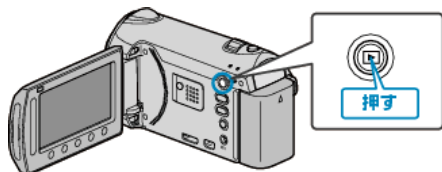
"静止画再生の操作ボタン" (☞ P.53)

メモ:
- スライドショー再生の画面切替に効果を付けることができます。

"スライドショー効果" (☞ P.120)

人物の顔をズームして再生する

人物の写っている静止画を再生したときは、人物の顔を中心に拡大できます。
顔をズームした静止画を新しいファイルとして保存もできます。

1 再生モードにする

2 静止画を選ぶ

3 再生する静止画を選び、Ⓞⓚ をタッチして再生する

4 をタッチする

- 人物の顔に枠が付きます。

5 拡大したい顔を選び、Ⓞⓚ をタッチする

- 赤く囲まれた顔をズームできます。

6 Ⓞⓚ を何回かタッチして、ズーム倍率を変える

- 別の人物を選ぶには、スライダーをスライドしてください。
- 再生を終わらせるには、⮌ ボタンをタッチしてください。

顔を拡大した静止画を保存するには

① 手順 6 のあとで、"保存"を選んでタッチする

- 本来のアスペクトに関わらず、ズームした映像は１６：９で保存されます。

② "はい"を選び、Ⓞⓚ をタッチする

目的の映像を探す

撮影した映像が多いと、見たい映像を一覧表示から探すのが大変です。
そんなときは、見たい映像を検索してみましょう。

- 動画の場合は、「撮影日時が近いグループ」、「撮影日」、「イベントの種類と撮影日」の 3 つの方法で検索できます。
- 静止画の場合は、「撮影日」から検索できます。

"撮影日時が近いグループから検索するには" (☞ P.55)
"撮影日から検索するには" (☞ P.55)
"イベントの種類と撮影日から検索するには" (☞ P.56)

グループ分けから探す

撮影日時が近い動画を自動的にまとめたグループから、動画を検索して再生できます。

- 動画メディア設定で設定している保存先の内容を検索できます。

1 検索方法を表示する

- 再生メニューの "検索"を選んでも、表示させることができます。

2 "グループ"を選び、OK をタッチする

3 一覧表示(サムネイル)から選んで、OK をタッチして再生する

- 動画再生が始まります。
- 再生を停止するときは、■ をタッチします。

メモ:

- 「DIGEST」をタッチすると、多くの動画を数秒間ずつ再生し、短時間で確認できます。
- グループは、撮影日時を元に自動的に作成されます。
- 撮影を続けたりすると、グループは変更されることがあります。

撮影日から探す

撮影日から動画、または静止画を検索して再生できます。

- "動画メディア設定"、または "静止画メディア設定"で設定している保存先の内容を検索できます。
- 静止画はこの "日付検索"でのみ検索することができます。

1 検索方法を表示する

- 再生メニューの "検索"を選んでも、表示させることができます。
  静止画の場合は、再生メニューの "日付検索"を選びます。
- 動画モード、静止画モードのどちらでも検索することができます。
  ※画面は動画モードです。

2 "日付検索"を選び、OK をタッチする

3 撮影日を選び、OK をタッチする

- ボタンをタッチするたびに、カレンダーの開始曜日が日曜日または月曜日に切り替わります。

4 見たい動画、もしくは静止画を選んで OK をタッチし、再生する

- 動画モード時には動画を、静止画モード時には静止画を選ぶことができます。
- 選んだ日に撮影した動画のみ表示されます。

選んだ日付の映像を削除するには:

再生メニューの "削除"から、不要な映像を削除できます。
"不要な映像を削除する" (☞ P.62)

イベントと撮影日から探す

イベントの種類と撮影日から、動画を検索して再生できます。

- "動画メディア設定"で設定している保存先の内容を検索できます。
- 設定されていないイベントは、表示されません。

"イベントを登録して撮影する" (☞ P.42)

1 検索方法を表示する

- 再生メニューの "検索"を選んでも、表示させることができます。

2 "イベント検索"を選び、OK をタッチする

3 イベントの種類を選び、OK をタッチする

4 撮影日を選び、OK をタッチする

- 選んだ日に撮影した動画のみ表示されます。
- ボタンをタッチするたびに、カレンダーの開始曜日が日曜日または月曜日に切り替わります。

5 見たい動画を選んで OK をタッチし、再生する

選んだ日付の映像を削除するには:
再生メニューの "削除"から、不要な映像を削除できます。
"不要な映像を削除する" (☞ P.62)

テレビにつないで見る

本機をテレビとつないで見ることができます。
テレビの種類や接続するケーブルによって、テレビに映る画質が変わります。
お使いのテレビで最適な方法で接続してください。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

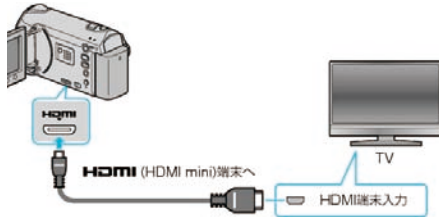
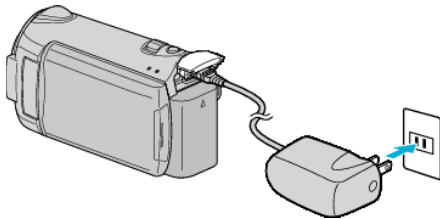
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ P.57)
"D 端子とつないで見る" (☞ P.58)
"映像端子とつないで見る" (☞ P.58)

テレビの表示が不自然なとき

症状	対処
テレビに正常に表示されない	● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。 ● D端子でつないでいるときは、接続設定メニューの "コンポーネント出力"の設定が接続したテレビと合っているかを確認してください。(お買い上げ時は "D３"に設定されています) "コンポーネント出力" (☞ P.131)
テレビに縦長に映る	● 接続設定メニューの "ビデオ出力"を "４:３" に設定します。 "ビデオ出力" (☞ P.131)
テレビに横長に映る	● テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	● メニューの "x.v.Color"を "入"にして撮影したときは、テレビ側の x.v.Color 設定を「入」にしてください。 "x.v.Color" (☞ P.110) ● テレビ側で画面を調整してください。
HDMI CEC 機能が正常に動作せずに、本機とテレビが連動しない	● HDMI CEC 規格に対応したテレビに接続した場合、テレビの仕様によっては、本機の動作に予期せぬ影響を及ぼすことがあります。すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。"HDMI機器制御"を "切"にしてください。 "HDMI機器制御" (☞ P.132)
表示言語が変わった	● 違う言語に設定したテレビと HDMI mini ケーブルで接続するときに発生する場合があります。

HDMI 端子とつないで見る

ハイビジョンテレビをお使い場合は、本機の HDMI 端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

- High Speed HDMI Cable（カテゴリ 2 ケーブル）をお使いください。
- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

1 テレビと接続する

- 電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を切ってください。

2 本機に AC アダプターをつなぐ

3 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える

4 映像を再生する

"動画を再生する"（☞ P.50）
"静止画を再生する"（☞ P.53）

メモ：

- 日時などを表示して再生したいときは、接続設定メニューの "テレビ表示"を "入"に変更してください。また、再生メニューの "画面表示"を "すべて表示"または "日付のみ表示"にしてください。

"テレビ表示"（☞ P.130）
"画面表示"（☞ P.118）

- 接続に応じて、"ＨＤＭＩ出力"の設定を変更してください。

"ＨＤＭＩ出力"（☞ P.132）

- HDMI mini ケーブルでテレビに接続したとき、お使いのテレビの機種によっては、映像や音声が正常に表示されない場合があります。
  このときは、以下の操作をしてください。
  1）HDMI mini ケーブルを抜き差ししてください。
  2）本機の電源を入れ直してください。
- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

テレビとの HDMI 連動機能を使う

本機と HDMI CEC 規格に準拠したリンク連動機能対応テレビを HDMI ケーブルで接続すると、本機とテレビを連動させることができます。

- HDMI CEC（Consumer Electronics Control）は HDMI ケーブルで接続することにより、 対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

メモ：

- すべての HDMI 対応機器が HDMI CEC 規格に対応しているわけではありません。非対応機器を接続した場合、本機の HDMI 機器制御は働きません。
- すべての HDMI CEC 対応機器との動作を保証するものではありません。
- HDMI CEC 対応機器であっても各機器の仕様により搭載機能が異なる場合がありますので、本機との連動機能がすべて働くわけではありません。（お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください）
- 接続機器によっては、意図しない動作をする場合があります。このようなときは、"ＨＤＭＩ機器制御"を "切"にしてください。

"ＨＤＭＩ機器制御"（☞ P.132）

準備

- HDMI ケーブルで本機とテレビを接続する

"HDMI 端子とつないで見る"（☞ P.57）

- テレビの電源を入れ、HDMI CEC に関する設定を "入"にする（お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください）
- 本機の電源を入れ、設定メニューの "ＨＤＭＩ機器制御"を "入"にする

"ＨＤＭＩ機器制御"（☞ P.132）

操作方法 1

1 本機の電源を入れる

2 再生モードにする

3 HDMI ケーブルで接続する

- 自動的に、テレビの入力が HDMI 入力に切り換わります。

操作方法 2

1 テレビの電源を切る

- 自動的に、本機の電源が切れます。

メモ：

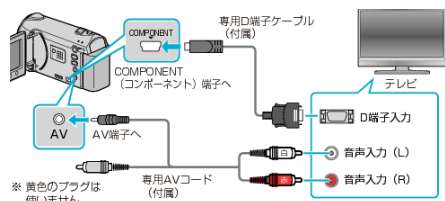
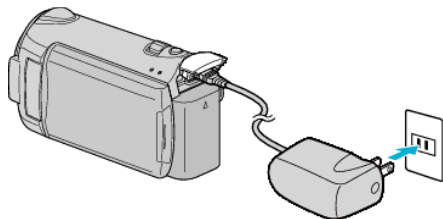
- 接続したテレビによって、本機の電源を入れると、自動的にテレビで選択した表示言語に換わります。(本機がテレビで選択した表示言語を対応できるときのみ)
  テレビと違う表示言語を使いたいときは、"ＨＤＭＩ機器制御"を "切"にしてください。
- 本機の表示言語を換えても、テレビの表示言語は自動的に換わりません。
- アンプやセレクターなどを接続したときに正常に動作しないことがあります。"ＨＤＭＩ機器制御"を "切"にしてください。
- HDMI CEC が正常に動作しない場合、本機の電源を入れ直してください。

ご注意：

- ファイルにアクセスしているときは、記録メディアを出したり、電源を消したりしないでください。
  動作中にバッテリーの残量がなくなったら、データが破損する原因になりますので、必ず付属の AC アダプターを使用してください。
  記録メディアのデータが壊れた場合、メディアをフォーマットしてください。

D 端子とつないで見る

テレビの D3/D4 端子に接続すると、アナログのハイビジョン画質で再生することができます。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

1 テレビと接続する

- 電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を切ってください。

2 本機に AC アダプターをつなぐ

3 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える

4 映像を再生する

"動画を再生する" (☞ P.50)
"静止画を再生する" (☞ P.53)

メモ：

- 日時などを表示して再生したいときは、接続設定メニューの "テレビ表示"を "入"に変更してください。また、再生メニューの "画面表示"を "すべて表示"または "日付のみ表示"にしてください。

"テレビ表示" (☞ P.130)
"画面表示" (☞ P.118)

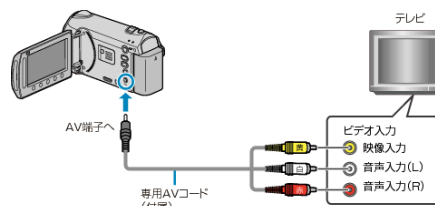
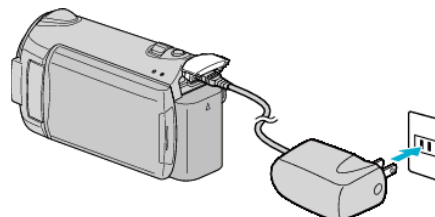
- D3/D4 端子に接続するときは、接続設定メニューの "コンポーネント出力"を "D３"に変更してください。
- "D１"のままだと、標準画質で出力されます。

"コンポーネント出力" (☞ P.131)

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

映像端子とつないで見る

映像端子に付属の AV コードで接続すると、テレビで再生できます。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

1 テレビと接続する

- 電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を切ってください。

2 本機に AC アダプターをつなぐ

3 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える

4 映像を再生する

"動画を再生する" (☞ P.50)
"静止画を再生する" (☞ P.53)

メモ：

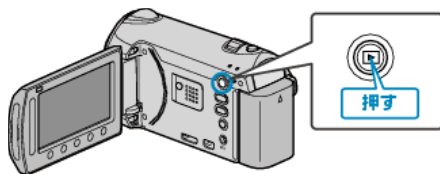
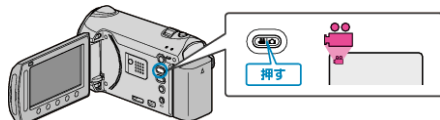
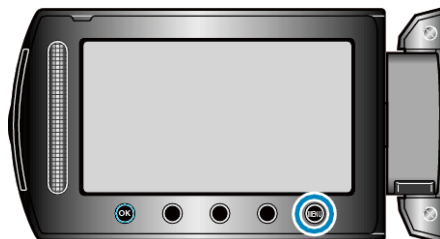
- 日時などを表示して再生したいときは、接続設定メニューの "テレビ表示"を "入"に変更してください。また、再生メニューの "画面表示"を "すべて表示"または "日付のみ表示"にしてください。

"テレビ表示" (☞ P.130)
"画面表示" (☞ P.118)

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

プレイリストを再生する

作成したプレイリストを再生します。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "プレイリスト再生"を選び、Ⓞ をタッチする

5 再生したいプレイリストを選び、Ⓞ をタッチして再生する

"動画を再生する" (☞ P.50)

- "確認"をタッチすると、選んだプレイリストの内容を確認できます。
- プレイリスト再生を終了するには Ⓜ をタッチします。

プレイリストを作るには:

"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (☞ P.74)
"タイトル付きのプレイリストを作る" (☞ P.80)

本機で作ったDVDやブルーレイディスクを再生する

本機のバックアップ機能で作成した DVD やブルーレイディスクは、別売の再生機能付き DVD ライター CU-VD50(DVD のみ)や一般の DVD やブルーレイディスクプレイヤーを使ってテレビで再生できます。
また、DVD は DVD ライターと本機をつないで再生することもできます。

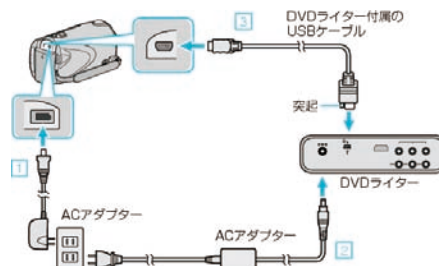
再生機器	DVD (DVD-Video 形式)	DVD (AVCHD 形式)	ブルーレイディスク
本機と接続した DVD ライター	○	○	−
本機と接続した外付型ブルーレイドライブ	○	○	○
DVD プレーヤー/ DVD レコーダー	○	○ ※	−
ブルーレイプレーヤー/ ブルーレイレコーダー	○	○ ※	○
再生機能付き DVD ライター(CU-VD50)	○	○	−

※AVCHD 対応機器のみ

ご注意:

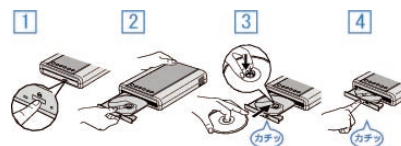
- AVCHD 形式で作製した DVD は、標準画質の DVD プレーヤーなどでは再生できません。ディスクを取り出せなくなることがあります。

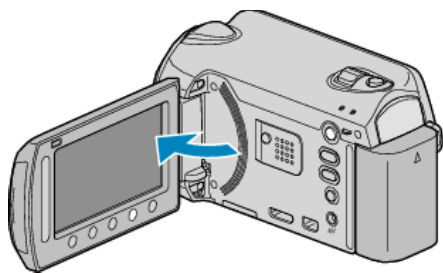
本機と DVD ライターをつないで見るとき

1 液晶モニターを閉じてから、接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② DVD ライターの AC アダプターをつなぐ
③ DVD ライター付属の USB ケーブルでつなぐ

- テレビで見る場合は、本機をテレビとつなぎます。

"テレビにつないで見る" (☞ P.56)

2 DVD ライターに本機で作った DVD をセットする

① 電源ボタンを押して、電源を入れる
② 取り出しボタンを押して、ディスクトレイを開ける
③ トレイを完全に引き出して、新しいディスクを確実にはめ込む
④ ディスクトレイを「カチッ」と音がするまで押して閉じる

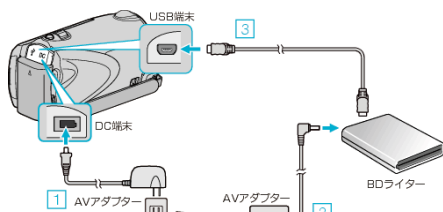
3 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入り、バックアップメニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、バックアップメニューが表示されます。

4 "再生"を選び、OK をタッチする

- 再生が始まります。

"動画再生の操作ボタン" (☞ P.50)

本機と外付型ブルーレイドライブをつないで見るとき

1 液晶モニターを閉じてから、接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② 外付型ブルーレイドライブの電源をつなぐ
③ お使いの外付型ブルーレイドライブに合った USB ケーブルで本機とつなぐ

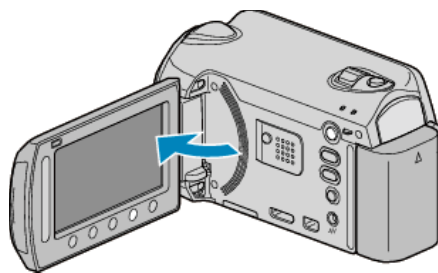
- 外付型ブルーレイドライブの取扱説明書もご覧ください。
- テレビで見る場合は、本機をテレビとつなぎます。

"テレビにつないで見る" (☞ P.56)

2 外付型ブルーレイドライブに本機で作ったブルーレイディスクをセットする

- 外付型ブルーレイドライブの電源ボタンを押して、電源を入れてください。

① 取り出しボタンを押して、ディスクトレイを開ける
② トレイを完全に引き出して、新しいディスクを確実にはめ込む
③ ディスクトレイを「カチッ」と音がするまで押して閉じる

3 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入り、バックアップメニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、バックアップメニューが表示されます。

4 "再生"を選び、OK をタッチする

- 再生が始まります。

"動画再生の操作ボタン" (☞ P.50)

ご注意：

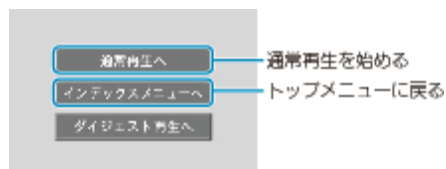
- 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。
  電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

メモ：

- 再生できるディスクは、本機で作った DVD、またはブルーレイディスクに限ります。
- チャプターはメニューに表示されません。

DVD ライターでのダイジェスト再生について

作成したディスクをプレーヤーで再生し、トップメニューから "ダイジェスト再生"を選ぶと、ディスク内の動画を数秒ずつ連続して再生します。内容の確認や、見たいシーンを探すときにお使いください。

- 通常再生に戻るには、プレーヤーのリモコンのトップメニューボタンを押して、"通常再生へ"を選んでください。

DVD プレーヤーでのダイジェスト再生について

作成した DVD 内の動画を、シーンごとに数秒ずつ連続して再生します。

1 作った DVD を DVD プレーヤーにセットする

2 テレビで "ダイジェスト再生"を選ぶ

- ダイジェストは連続で再生されます。

（本機の画面は表示されません。）

メモ：

- 通常再生・インデックスメニューに戻るとき
  1）ダイジェスト再生中、DVD 機器のリモコンのトップメニューボタンを押す
  2）どれかを選ぶ
- DVD が付属ソフト Everio MediaBrowser で作成した場合、 "ダイジェスト再生"メニューは表示されません。

不要な映像を削除する

記録メディアの容量が少なくなってきたら、不要な動画や静止画を削除しましょう。
映像を削除すると、記録メディアの容量を元に戻すことができます。
"一つずつ削除する" (☞ P.62)
"選んで削除する" (☞ P.62)
"すべて削除する" (☞ P.63)

メモ：

- 一度削除した映像は、元には戻せません。
- プレイリストに含まれている映像を削除したときは、プレイリストが変更されます。
- 保護(プロテクト)されている映像は削除できません。
  プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ P.64)

- 重要なファイルは必ずパソコンにバックアップしてください。

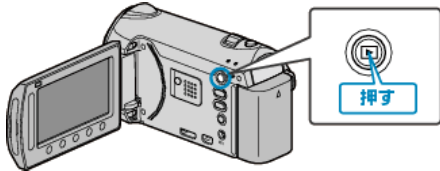
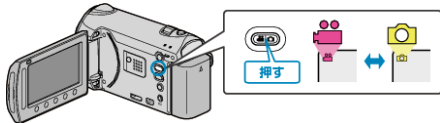
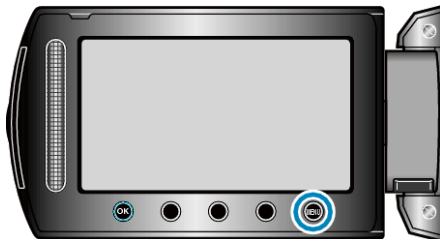
"すべての映像をバックアップする" (☞ P.100)

一つずつ削除する

映像を 1 つずつ削除します。

ご注意：

- 一度削除した映像は、元には戻せません。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "削除"を選び、Ⓞ をタッチする

5 " 1 つずつ削除"を選び、Ⓞ をタッチする

6 削除する映像か確認し、"はい"を選び、Ⓞ をタッチする

- 実際には削除する映像がこの画面に表示されます。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、前後の映像を選べます。
- 削除が終わったら、Ⓜ をタッチしてください。

メモ：

- プレイリストに含まれている映像を削除したときは、プレイリストが変更されます。
- 保護(プロテクト)されている映像は削除できません。
  プロテクトを解除してから、削除してください。

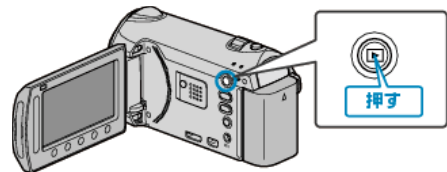
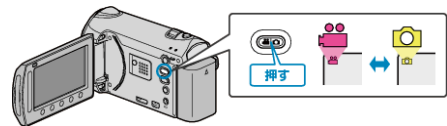
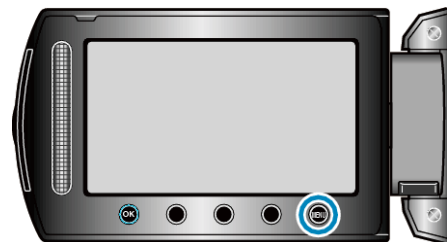
"映像を保護する" (☞ P.64)

選んで削除する

削除する映像を選んで、まとめて削除します。

ご注意：

- 一度削除した映像は、元には戻せません。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "削除"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "選択して削除"を選び、Ⓞ をタッチする

6 削除する映像を選び、Ⓞ をタッチする

- 選んだ映像に削除マークが表示されます。
  削除マークを消すときは、もう一度 Ⓞ をタッチします。
- "確認"をタッチすると、選んだ映像を確認できます。

7 削除する映像を選び終わったら、"実行"をタッチする

8 "はい"を選び、Ⓞ をタッチする

- 削除が終わったら、Ⓞ をタッチしてください。

メモ：

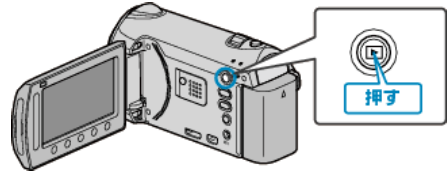
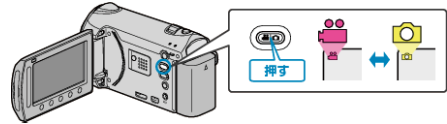
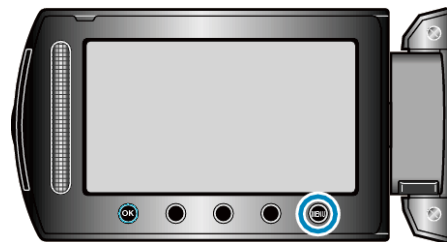
- プレイリストに含まれている映像を削除したときは、プレイリストが変更されます。
- 保護（プロテクト）されている映像は削除できません。
  プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ P.64)

すべて削除する

すべての映像をまとめて削除します。

ご注意：

- 一度削除した映像は、元には戻せません。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "削除"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "すべて削除"を選び、Ⓞ をタッチする

6 "はい"を選び、Ⓞ をタッチする

- 削除が終わったら、Ⓞ をタッチしてください。

メモ：

- プレイリストに含まれている映像を削除したときは、プレイリストが変更されます。
- 保護（プロテクト）されている映像は削除できません。
  プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ P.64)

映像を保護する

大切な動画/静止画を誤って削除してしまうことのないように、大事な映像は保護しておきましょう。

"一つずつ保護する" (☞ P.64)
"選んで保護する" (☞ P.64)
"すべて保護する" (☞ P.65)
"すべて解除する" (☞ P.66)

ご注意：

- 記録メディアをフォーマットをした場合は、保護している映像も削除されてしまいますのでご注意ください。

一つずつ保護する

映像を一つずつ保護、または解除します。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "プロテクト／解除"を選び、Ⓞ をタッチする

6 "1つずつ設定"を選び、Ⓞ をタッチする

7 保護する映像か確認し、"はい"を選び、Ⓞ をタッチする

- 実際には保護する映像がこの画面に表示されます。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、前後の映像を選べます。
- 設定が終わったら、Ⓞ をタッチしてください。
- プロテクト設定を終了するには、Ⓜ をタッチしてください。

選んで保護する

映像を選んでまとめて保護、または解除します。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "プロテクト／解除"を選び、Ⓞ をタッチする

6 "選択して設定"を選び、㊍ をタッチする

7 保護、または解除する映像を選び、㊍ をタッチする

- 選んだ映像にプロテクトマークが表示されます。
  プロテクトマークを消すときは、もう一度 ㊍ をタッチします。
- "確認"をタッチすると、選んだ映像を確認できます。

8 保護、または解除する映像を選び終わったら、MENU をタッチする

すべて保護する

すべての映像をまとめて保護します。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、㊍ をタッチする

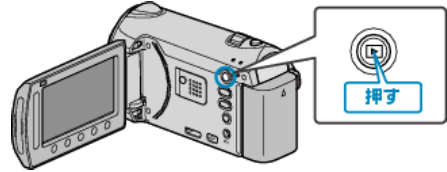
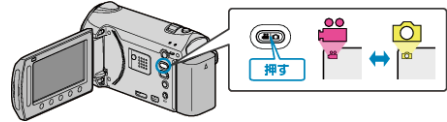
5 "プロテクト／解除"を選び、㊍ をタッチする

6 "すべてプロテクト"を選び、㊍ をタッチする

7 "はい"を選び、㊍ をタッチする

- 設定が終わったら、㊍ をタッチしてください。

すべて解除する

すべての映像の保護をまとめて解除します。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、OK をタッチする

5 "プロテクト／解除"を選び、OK をタッチする

6 "すべて解除"を選び、OK をタッチする

7 "はい"を選び、OK をタッチする

- 設定が終わったら、OK をタッチしてください。

動画のイベントを変更する

様々なイベントの一覧から、撮影した動画に合った項目を選んで登録すると、再生するときなどに検索しやすくなります。

"一つずつイベント変更する" (☞ P.66)
"まとめてイベント変更する" (☞ P.67)

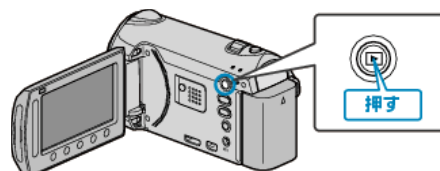
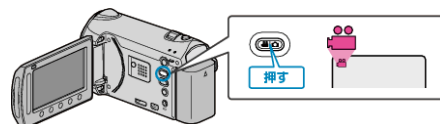
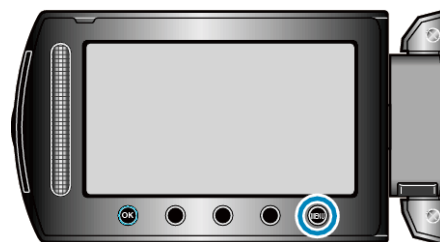
メモ：

- 撮影内容が決まっているときは、撮影前にイベントを登録してから撮影することができます。

"イベントを登録して撮影する" (☞ P.42)

一つずつイベント変更する

動画を一つずつ確認して、イベントを変更します。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、OK をタッチする

5 "イベント変更"を選び、OK をタッチする

6 "１つずつ変更"を選び、OK をタッチする

7 "はい"を選び、OK をタッチする

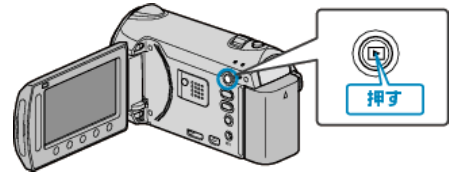
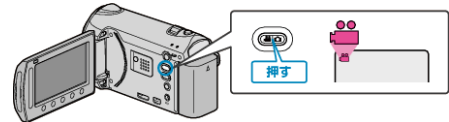
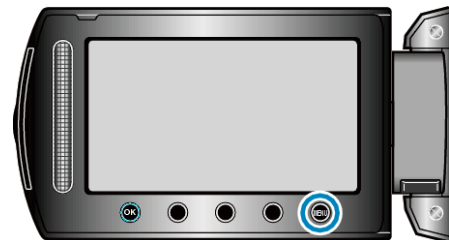
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、前後の映像を選べます。

8 変更後のイベントを選び、OK をタッチする

- "解除"をタッチすると、登録してあるイベントを解除できます。
- 設定が終わったら、OK をタッチしてください。
- イベント変更を終了するには、MENU をタッチしてください。

まとめてイベント変更する

変更する範囲を指定し、複数のイベントをまとめて変更します。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、OK をタッチする

5 "イベント変更"を選び、OK をタッチする

6 "範囲を指定して変更"を選び、OK をタッチする

7 選択範囲の開始位置を選び、OK をタッチする

- "確認"をタッチすると、選んだ映像を確認できます。

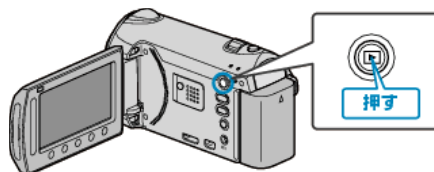
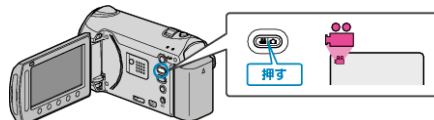
8 選択範囲の終了位置を選び、OK をタッチする

9 変更後のイベントを選び、OK をタッチする

- "解除"をタッチすると、登録してあるイベントを解除できます。
- 設定が終わったら、OK をタッチしてください。
- イベント変更を終了するには、MENU をタッチしてください。

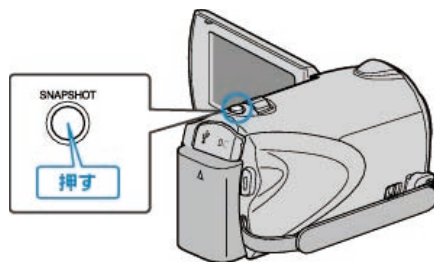
再生中の動画を静止画にする

撮影した動画のお気に入りの場面を静止画に切り出して保存できます。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 再生する動画を選び、OK をタッチして再生する

4 お気に入りの場面で一時停止をタッチする

- 一時停止したあとに、操作ボタンのコマ送り ▮▶ とコマ戻し ◀▮ を使って、切り出したい場面を微調整できます。

5 静止画を切り出す

メモ：

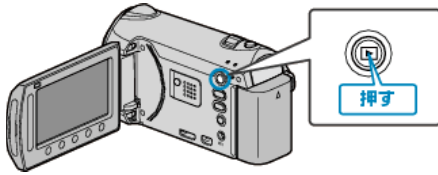
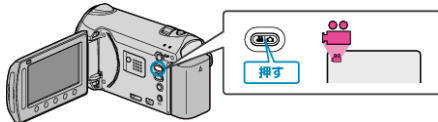
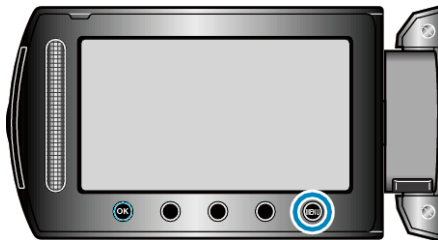
- 切り出した静止画のサイズは、1920×1080 になります。
- 切り出した静止画は、"静止画メディア設定"で設定されているメディアに保存されます。

"静止画メディア設定" (☞ P.133)

動画を二つに分割する

動画を分割し、二つの動画にします。

- 動画を分割すると、元の一つの動画に戻すことはできません。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "分割"を選び、Ⓞ をタッチする

6 編集する動画を選び、Ⓞ をタッチする

- 選んだ動画が再生されます。

7 Ⓞ をタッチして再生を一時停止し、 "決定"をタッチして分割する位置を設定する

- 分割点は、選んだ場面から多少ずれることがあります。

8 "ここで分割する"を選び、Ⓞ をタッチする

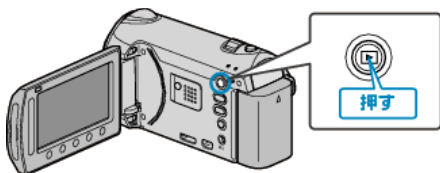
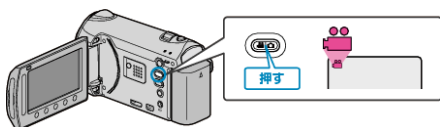
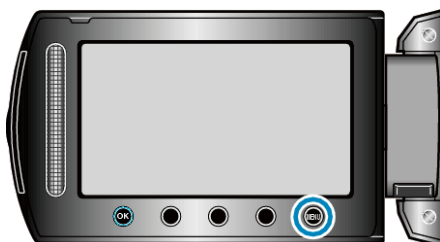
- 分割点をもう一度決めたいときは、"分割点再設定"をタッチしてください。
- 分割が終わったら、Ⓞ をタッチしてください。
- 分割した元の動画が消え、新しい動画が二つ表示されます。

メモ：

- 分割したファイルを再生するとき、分割点の撮影日が表示されます。
- 分割点が選んだ場面から多少ずれることがあります。
- アップロード設定や EXPORT 設定をした動画は、分割できません。
- 分割した動画は、アップロード設定や EXPORT 設定できません。

シームレス撮影で記録された動画を結合する

動画撮影メニューの "シームレス撮影"を設定して撮影した別々のメディアに分かれて記録された動画を 1 つの動画に結合します。
"シームレス撮影" (☞ P.109)

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "シームレス撮影管理"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "シーン結合"を選び、Ⓞ をタッチする

- シームレス撮影された動画があるか検索が始まります。
  シームレス撮影された動画がないときは、動画の結合はできません。

6 "はい"を選び、Ⓞ をタッチする

7 保存するメディアを選び、Ⓞ をタッチする

8 "はい"を選び、Ⓞ をタッチする

- 動画の結合が始まります。
- 動画の結合が終わったら、Ⓞ をタッチしてください。

メモ：

- 内蔵メモリーまたは SD カードに十分な空き容量がないと、シームレス結合ができません。シームレス結合をする前に空き容量を確認してください。

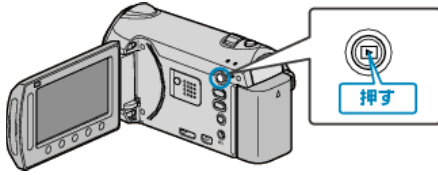
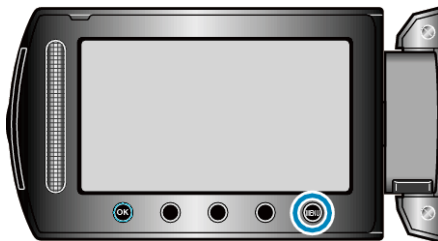
もう一度シームレス撮影ができるようにするには

一度シームレス撮影をした後に、ふたたびシームレス撮影をするには、シームレス撮影した動画を結合するか、シームレス撮影の結合情報を削除する必要があります。
シームレス撮影の結合情報を削除するには、手順 5 で "シーン結合情報削除"を選んでください。

動画を必要な部分だけにする

動画の必要な部分だけを切り出してコピーし、新しい動画として保存できます。

- 編集した元の動画は、そのまま残ります。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、OK をタッチする

5 "トリミング"を選び、OK をタッチする

6 編集する動画を選び、OK をタッチする

- 選んだ動画が再生されます。

7 OK をタッチして再生を一時停止し、 "設定"をタッチして開始位置を設定する

- OK をタッチすると再生を再開します。

"動画を再生する" (☞ P.50)

8 OK をタッチして再生を一時停止し、 "設定"をタッチして終了位置を設定する

- 開始位置をもう一度決めたいときは、取消をタッチしてください。

9 "選択範囲を切り出す"を選び、OK をタッチする

10 "はい"を選び、OK をタッチする

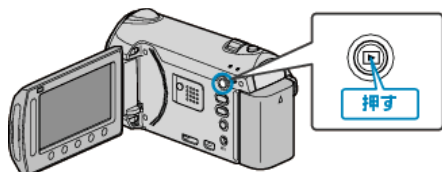
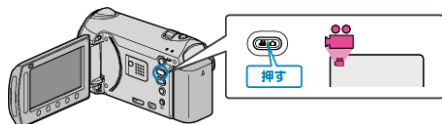
- コピーが終わったら、OK をタッチしてください。
- コピー完了後、コピーした動画が一覧表示に追加されます。
- トリミングを終了するには、MENU をタッチしてください。

メモ：

- 分割点が選んだ場面から多少ずれることがあります。

YouTube 用に動画を切り出す

撮影済みの動画から YouTube にアップロードする部分(最大 10 分)を切り出してコピーし、YouTube 用の動画として保存します。
YouTube 用の動画切り出しは、10 分以内に制限されます。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 UPLOAD/EXPORT ボタンを押し、アップロード設定/ＥＸＰＯＲＴ設定メニューを表示する

4 "アップロード設定"を選び、㊋ をタッチする

5 編集する動画を選び、㊋ をタッチする

6 "トリミングする"を選び、㊋ をタッチする

- トリミングの必要がない場合は、"トリミングしない"を選び、㊋ をタッチして設定を終わらせます。

- 選んだ動画が 10 分以上の場合は、トリミングが必要です。

7 ㊋ をタッチし再生を一時停止し、"設定"をタッチして開始位置を設定する

- 開始位置を決めたら、再生を再開してください。

"動画を再生する" (☞ P.50)

8 ㊋ をタッチし再生を一時停止し、"設定"をタッチしてコピーの終了位置を設定する

- 開始位置をもう一度決めたいときは、"取消"をタッチしてください。
- YouTube 用の動画切り出しは、最大 10 分以内に制限されます。

9 "選択範囲を切り出す"を選び、㊋ をタッチする

10 "はい"を選び、㊋ をタッチする

- コピー完了後、コピーした動画が一覧表示に追加されます。
- アップロード設定を終了するには、MENU をタッチしてください。

メモ：

- 分割点が選んだ場面から多少ずれることがあります。
- 撮影する前にアップロード撮影を設定しておけば、YouTube 用の動画を撮影できます。

"YouTube 用の動画を撮影する" (☞ P.42)

動画を YouTube にアップロードするには

付属ソフト「Everio MediaBrowser」を使って YouTube にアップロードできます。ソフトをパソコンにインストールして、本機をパソコンに接続してください。

- ソフトの操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください。

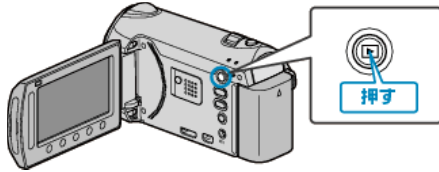
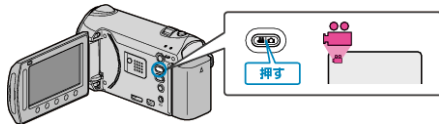
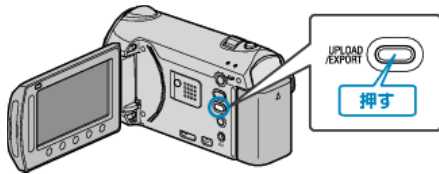
"付属ソフトをインストールする" (☞ P.99)
"本機をパソコンとつなぐには" (☞ P.100)

動画をアップロードできないときは：

- YouTube のアカウントが作成されているか確認してください。(YouTube へのアップロードには、YouTube のアカウントが必要です。)
- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」のヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」、「最新情報」、「ダウンロード情報」などを確認してください。

iTunes 転送用の動画を用意する

撮影済みの動画に「LIB.」マークを付けて EXPORT 属性にします。EXPORT 属性にすることで、パソコンにインストールした付属ソフトを使って、簡単に iTunes へ動画を登録することができます。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 UPLOAD/EXPORT ボタンを押し、アップロード設定/ＥＸＰＯＲＴ設定メニューを表示する

4 "ＥＸＰＯＲＴ設定"を選び、OK をタッチする

5 編集する動画を選び、OK をタッチする

- 選んだ動画に「LIB.」マークが表示されます。
  「LIB.」マークを消すときは、もう一度 OK をタッチします。
- "確認"をタッチすると、選んだ映像を確認できます。
- ＥＸＰＯＲＴ設定を終了するには、MENU をタッチしてください。

メモ：

- 撮影する前に EXPORT 撮影を設定しておけば、iTunes 用の動画を撮影できます。

"iTunes 用の動画を撮影する" （☞ P.43）

- 撮影済みの動画ファイルのフォーマットは、付属ソフトでパソコンに転送したときに変換されます。
  本機に保存されているファイルに影響はありません。
- ほかの画面の一覧では、「LIB.」マークは表示されません。

変更した動画を iPod に入れるときは

付属ソフト「Everio MediaBrowser」を使って iTunes に転送できます。
ソフトをパソコンにインストールして、本機をパソコンに接続してください。

- ソフトの操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
- iPod への転送については、iTunes のヘルプをご覧ください。

"付属ソフトをインストールする" （☞ P.99）
"すべての映像をバックアップする" （☞ P.100）

iTunes に転送できないときは：

- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」のヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」、「最新情報」、「ダウンロード情報」などを確認してください。

録画した動画から選んでプレイリストを作る

録画した動画から好みのものを選んで作成したリストをプレイリストといいます。
プレイリストを作成しておくと、お気に入りの動画だけを好きな順番に並べて再生できます。
動画ファイルをプレイリストに登録しても、元の動画ファイルはそのまま残ります。

- プレイリストを新規作成するには

"映像を選んでプレイリストを作る" (☞ P.74)
"グループを選んでプレイリストを作る" (☞ P.75)
"撮影日を選んでプレイリストを作る" (☞ P.76)
"イベントを選んでプレイリストを作る" (☞ P.77)

- 作成したプレイリストを編集したり、削除するには

"プレイリストを編集する" (☞ P.78)
"プレイリストを削除する" (☞ P.79)
"プレイリストにタイトル画面を付ける" (☞ P.79)

メモ:

- 動画ファイルを削除またはムーブすると、プレイリストから同じ動画が取り除かれます。

映像を選んでプレイリストを作る

動画を 1 つずつ並べ、プレイリストを作ります。

1 再生モードにする

押す

2 動画を選ぶ

押す

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "プレイリスト編集"を選び、Ⓞ をタッチする

動画
ピクチャータイトル
検索
プレイリスト再生
プレイリスト編集
特殊ファイル再生
決定 ? 終了

5 "新規作成"を選び、Ⓞ をタッチする

プレイリスト編集
新規作成
編集
削除
タイトル設定
決定 ? 終了

6 "シーンから取り込む"を選び、Ⓞ をタッチする

新規作成
シーンから取り込む
グループごとに取り込む
日付ごとに取り込む
イベントごとに取り込む
決定 ? 終了

7 プレイリストに並べる動画を選び、Ⓞ をタッチする

2010.05.01 シーンから 0/999
トータル 00h00m
選択 確認 終了

- "確認"をタッチすると、選んだ動画を確認できます。

8 Ⓞ をタッチして、動画を右側に挿入する

2010.05.01 シーンから 0/999
トータル 00h00m
選択 終了

- 手順 7～8 を繰り返し、プレイリストに動画を並べます。
- 動画の順番を入れ替えたいときは、手順 7 の操作後、スライダーで挿入位置を選び、Ⓞ をタッチします。
- プレイリストに追加した動画を消すには、「→」をタッチして消したい動画を選び、Ⓞ をタッチします。

9 並べ終わったら、Ⓜ をタッチする

2010.05.01 シーンから 1/999
トータル 00h00m
DVD1
選択 確認 → 保存

10 "保存して終了"を選び、Ⓞ をタッチする

プレイリスト編集を終了します
編集内容を保存しますか?
保存して終了
保存しないで終了
戻る
決定

グループを選んでプレイリストを作る

動画をグループごとにまとめて並べ、プレイリストを作ります。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "プレイリスト編集"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "新規作成"を選び、Ⓞ をタッチする

6 "グループごとに取り込む"を選び、Ⓞ をタッチする

7 プレイリストに並べるグループを選び、Ⓞ をタッチする

- "確認"をタッチすると、選んだ動画を確認できます。

8 Ⓞ をタッチして、動画を右側に挿入する

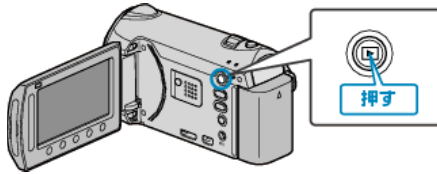
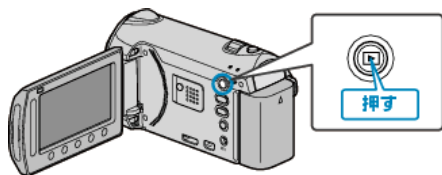
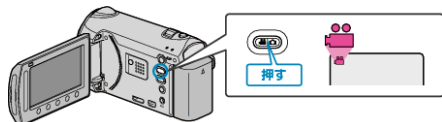
- 手順 7~8 を繰り返し、プレイリストに動画を並べます。
- 動画の順番を入れ替えたいときは、手順 7 の操作後、スライダーで挿入位置を選び、Ⓞ をタッチします。
- プレイリストに追加した動画を消すには、「→」をタッチして消したい動画を選び、Ⓞ をタッチします。

9 並べ終わったら、ⓜ をタッチする

10 "保存して終了"を選び、Ⓞ をタッチする

撮影日を選んでプレイリストを作る

動画を撮影日ごとにまとめて並べ、プレイリストを作ります。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "プレイリスト編集"を選び、OK をタッチする

5 "新規作成"を選び、OK をタッチする

6 "日付ごとに取り込む"を選び、OK をタッチする

7 プレイリストに並べる日付を選び、OK をタッチする

- "確認"をタッチすると、選んだ動画を確認できます。

8 OK をタッチして、動画を右側に挿入する

- 手順 7〜8 を繰り返し、プレイリストに動画を並べます。
- 動画の順番を入れ替えたいときは、手順 7 の操作後、スライダーで挿入位置を選び、OK をタッチします。
- プレイリストに追加した動画を消すには、「→」をタッチして消したい動画を選び、OK をタッチします。

9 並べ終わったら、MENU をタッチする

10 "保存して終了"を選び、OK をタッチする

イベントを選んでプレイリストを作る

動画をイベントと撮影日ごとにまとめて並べ、プレイリストを作ります。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "プレイリスト編集"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "新規作成"を選び、Ⓞ をタッチする

6 "イベントごとに取り込む"を選び、Ⓞ をタッチする

7 イベントを選び、Ⓞ をタッチする

8 プレイリストに並べる日付を選び、Ⓞ をタッチする

- "確認"をタッチすると、選んだ動画を確認できます。

9 Ⓞ をタッチして、動画を右側に挿入する

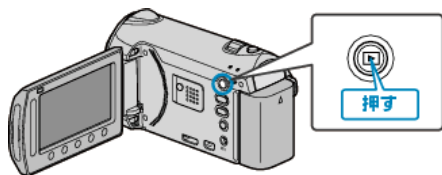
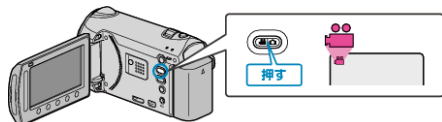
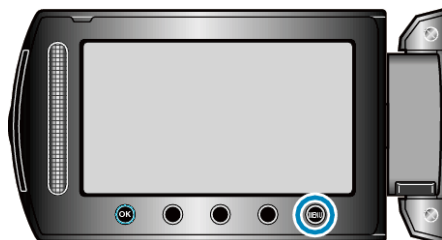
- 手順 8〜9 を繰り返し、プレイリストに動画を並べます。
- 動画の順番を入れ替えたいときは、手順 8 の操作後、スライダーで挿入位置を選び、Ⓞ をタッチします。
- プレイリストに追加した動画を消すには、「→」をタッチして消したい動画を選び、Ⓞ をタッチします。

10 並べ終わったら、Ⓜ をタッチする

11 "保存して終了"を選び、Ⓞ をタッチする

プレイリストを編集する

作成したプレイリストの内容を変更できます。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "プレイリスト編集"を選び、Ⓞ をタッチする

5 "編集"を選び、Ⓞ をタッチする

6 編集したいプレイリストを選び、Ⓞ をタッチする

7 プレイリストに並べる動画を選び、Ⓞ をタッチする

- "確認"をタッチすると、選んだ動画を確認できます。

8 Ⓞ をタッチして、動画を右側に挿入する

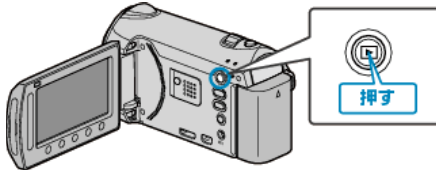
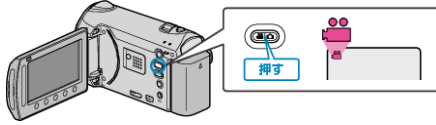
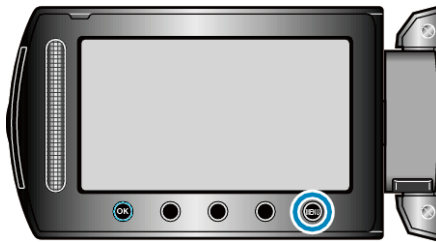
- 手順 7〜8 を繰り返し、プレイリストに動画を並べます。
- 動画の順番を入れ替えたいときは、手順 7 の操作後、スライダーで挿入位置を選び、Ⓞ をタッチします。
- プレイリストに追加した動画を消すには、「→」をタッチして消したい動画を選び、Ⓞ をタッチします。

9 並べ終わったら、Ⓜ をタッチする

10 "保存して終了"を選び、Ⓞ をタッチする

プレイリストを削除する

作成したプレイリスト削除します。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "プレイリスト編集"を選び、OK をタッチする

5 "削除"を選び、OK をタッチする

6 削除するプレイリストを選び、OK をタッチする

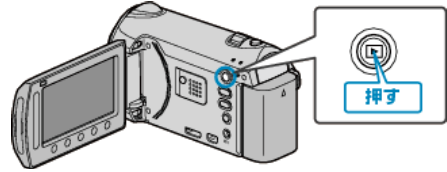
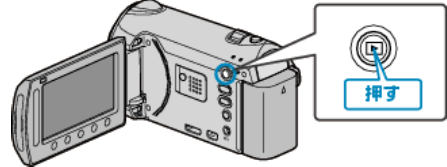
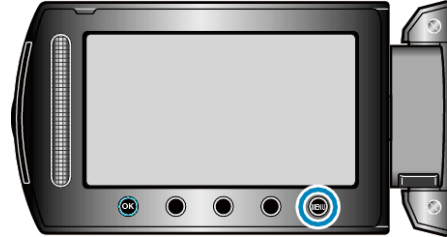
- "すべて削除"を選ぶと、作成したプレイリストをすべて削除します。

7 "はい"を選び、OK をタッチする

- 削除が完了すると、削除するプレイリスト選択画面に戻ります。
- 削除が終わったら、MENU をタッチしてください。

プレイリストにタイトル画面を付ける

作成したプレイリストにタイトル画面を付けられます。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "プレイリスト編集"を選び、OK をタッチする

5 "タイトル設定"を選び、OK をタッチする

6 タイトルを付けたいプレイリストを選び、OK をタッチする

- "確認"をタッチすると、選んだプレイリストの内容を確認できます。

7 タイトルを選び、OK をタッチする

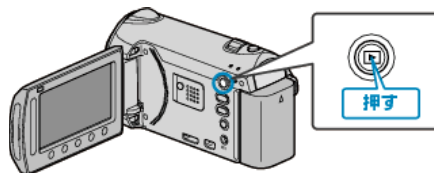
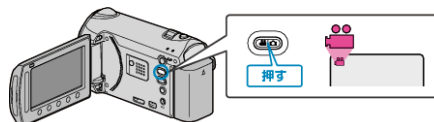
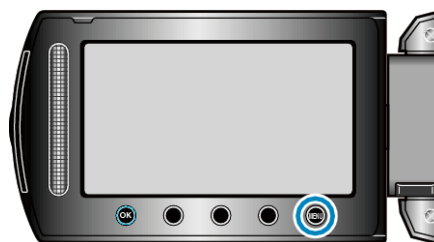
- "確認"をタッチすると、タイトルを確認できます。
- タイトルを削除したいときは、「タイトルなし」を選びます。

ご注意：

- バックアップメニューの "メディア切替"で "ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ"を選んだ場合は、タイトル画面を付けることができません。

タイトル付きのプレイリストを作る

撮影日と用意されたタイトル画面を選んで付けるだけで、プレイリストを簡単に作れます。

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "ピクチャータイトル"を選び、OK をタッチする

5 タイトルを選び、OK をタッチする

- "確認"をタッチすると、タイトルを確認できます。

6 プレイリストにしたい撮影日を選び、OK をタッチする

- "確認"をタッチすると、選んだ動画を確認できます。

ご注意：

- バックアップメニューの "メディア切替"で "ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ"を選んだ場合は、タイトル画面を付けることができません。

メモ：

- 作成済みのプレイリストにタイトルをつけるには、下記をご覧ください。

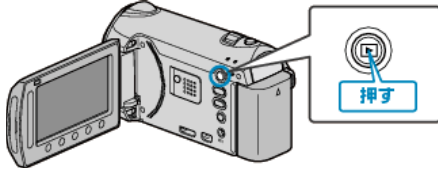
"プレイリストにタイトル画面を付ける" (☞ P.79)

映像ファイルをコピーする

動画や静止画を選んで、ほかの SD カードにコピーします。
"すべてコピーする" (☞ P.81)
"選んでコピーする" (☞ P.82)

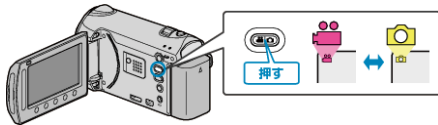
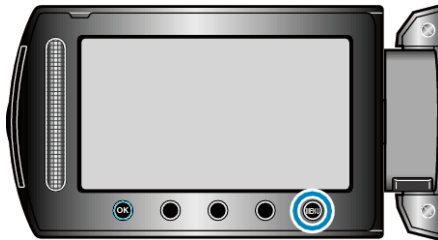
すべてコピーする

動画や静止画を、ほかのメディアにすべてコピーします。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、OK をタッチする

5 "コピー"を選び、OK をタッチする

6 コピーの方向を選び、OK をタッチする

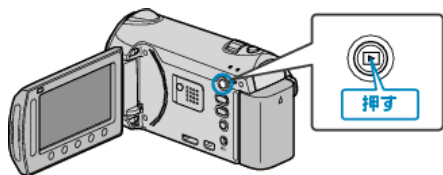
7 "すべてコピー"を選び、OK をタッチする

8 "はい"を選び、OK をタッチする

- コピーが始まります。
- コピーが終わったら、OK をタッチしてください。

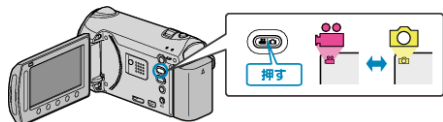
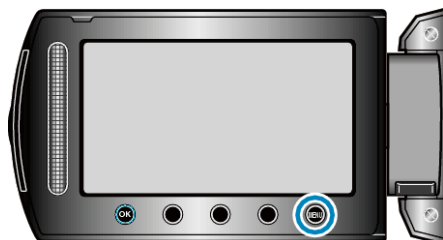
選んでコピーする

動画や静止画を選んで、ほかのメディアにコピーします。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、OK をタッチする

5 "コピー"を選び、OK をタッチする

6 コピーの方向を選び、OK をタッチする

7 "選んでコピー"を選び、OK をタッチする

8 コピーする映像を選び、OK をタッチする

- 選んだ映像にチェックマークが表示されます。
  チェックマークを消すときは、もう一度 OK をタッチします。

9 コピーする映像を選び終わったら、"実行"をタッチする

10 "はい"を選び、OK をタッチする

- コピーが始まります。
- コピーが終わったら、OK をタッチしてください。

映像ファイルを移動する

動画や静止画をほかの SD カードへ移動できます。
移動した映像は、移動元のメディアから削除されます。
お店でプリント(現像)するときは、静止画を SD カードに移動すると便利です。
"すべて移動する" (☞ P.83)
"選んで移動する" (☞ P.84)

すべて移動する

動画や静止画を、ほかのメディアにすべて移動します。
移動した映像は、移動元のメディアから削除されます。
プロテクトマークのある映像は、移動元のメディアから削除されません。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、OK をタッチする

5 "ムーブ"を選び、OK をタッチする

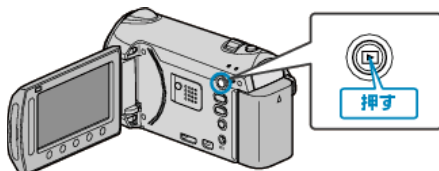
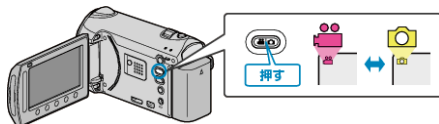
6 移動の方向を選び、OK をタッチする

7 "すべてムーブ"を選び、OK をタッチする

8 "はい"を選び、OK をタッチする

- 映像の移動が始まります。
- 移動が終わったら、OK をタッチしてください。

選んで移動する

動画や静止画を選んで、ほかのメディアに移動します。
移動した映像は、移動元のメディアから削除されます。

1 再生モードにする

2 動画または静止画を選ぶ

3 ㊏ をタッチして、メニューを表示する

4 "編集"を選び、㊋ をタッチする

5 "ムーブ"を選び、㊋ をタッチする

6 移動の方向を選び、㊋ をタッチする

7 "選んでムーブ"を選び、㊋ をタッチする

8 移動する映像を選び、㊋ をタッチする

- 選んだ映像にチェックマークが表示されます。
  チェックマークを消すときは、もう一度 ㊋ をタッチします。

9 移動する映像を選び終わったら、実行をタッチする

10 "はい"を選び、㊋ をタッチする

- 映像の移動が始まります。
- 移動が終わったら、㊋ をタッチしてください。

DVDライターや外付型ブルーレイドライブでディスクを作る

別売のDVDライターや外付型ブルーレイドライブを使えば、撮影した映像をディスクに保存できます。

対応するDVDライター

品名	説明
DVDライター ● CU-VD3	● 本機で撮影した映像を、パソコンを使わずにDVDを作成することができます。 http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/acc/cu-vd3.html
DVDライター ● CU-VD50	● DVDを作成でき、パソコンと接続してパソコン用の外付DVDドライブとしてお使いいただけます。また、テレビとCU-VD50を接続して、作成したDVDを再生することができます。 http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/acc/cu-vd50.html

対応する外付型ブルーレイドライブ

I-O DATA（アイ･オー･データ機器）社のBRD-UH8またはBRD-UH8Sをお使いください。

メモ：

外付型ブルーレイドライブの最新情報については、下記のホームページをご覧ください。

● I･O DATA社：

http://www.iodata.jp/everio/

● ビクター：

http://www.victor.co.jp/dvmain/

DVDライターや外付型ブルーレイドライブでディスクを作るには

■ DVDライターや外付型ブルーレイドライブを準備する

"DVDライターを準備する（CU-VD50の場合）" （☞ P.85）
"DVDライターを準備する（CU-VD3の場合）" （☞ P.86）
"外付型ブルーレイドライブを準備する" (☞ P.86)
"ディスクに保存する画質を選ぶ(メディア切替)" (☞ P.87)

■ ディスクに保存する

"映像をまとめて保存する" (☞ P.87)
"日付を選んでまとめて保存する" (☞ P.88)
"イベントを選んでまとめて保存する" (☞ P.89)
"プレイリストを選んで保存する" (☞ P.90)
"映像を選んで保存する" (☞ P.92)

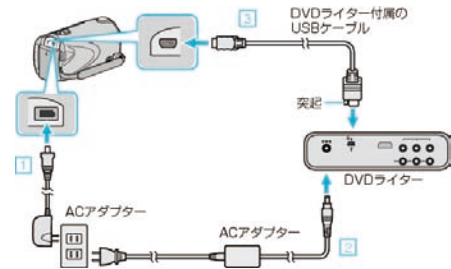
■ その他操作

"本機で作ったDVDやブルーレイディスクを再生する" (☞ P.59)
"DVDプレーヤーでのダイジェスト再生について" （☞ P.61）
"ディスクをファイナライズする" (☞ P.93)

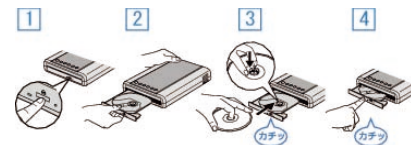
メモ：

● ディスクに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。

DVDライターを準備する（CU-VD50の場合）

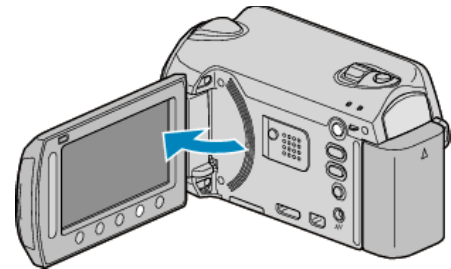
1 液晶モニターを閉じてから、接続する

① 本機にACアダプターをつなぐ
② DVDライターのACアダプターをつなぐ
③ DVDライター付属のUSBケーブルでつなぐ

● DVDライターの取扱説明書もご覧ください。

2 DVDライターの電源を入れ、新しいディスクを入れる

① 電源ボタンを押して、電源を入れる
② 取り出しボタンを押して、ディスクトレイを開ける
③ トレイを完全に引き出して、新しいディスクを確実にはめ込む
④ ディスクトレイを「カチッ」と音がするまで押して閉じる

3 液晶モニターを開く

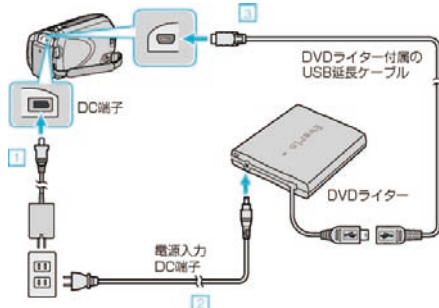
● 本体の電源が入り、バックアップメニューが表示されます。
● USBケーブルをつないでいる間は、バックアップメニューが表示されます。

ご注意：

● 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。
電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

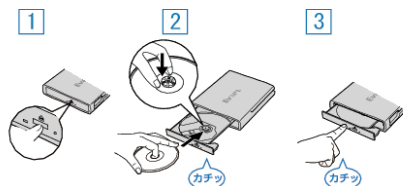
メモ：

● DVDライターCU-VD50のボタンのうち、電源ボタンと取り出しボタン以外は、本機との接続中は機能しません。

DVD ライターを準備する（CU-VD3 の場合）

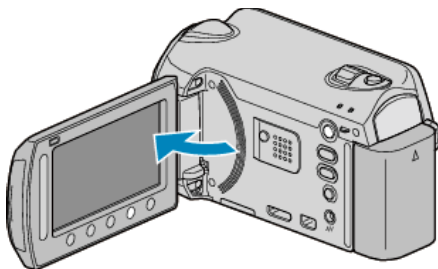
1 液晶モニターを閉じてから、接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② DVD ライターの AC アダプターをつなぐ
③ DVD ライターの USB ケーブルを本機につなぐ

- DVD ライターの取扱説明書もご覧ください。

2 新しいディスクを入れる

① 取り出しボタンを押して、ディスクトレイを開ける
② トレイを完全に引き出して、新しいディスクを確実にはめ込む
③ ディスクトレイを「カチッ」と音がするまで押して閉じる

3 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入り、バックアップメニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、バックアップメニューが表示されます。

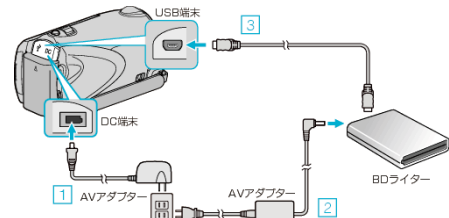
ご注意：

- 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

外付型ブルーレイドライブを準備する

メモ：

外付型ブルーレイドライブを接続するには、下記の USB ケーブルをお買い求めください。
本機に付属する USB ケーブルは使用できません。

- I-O DATA 製：USB-MAB/100 ミニ A（オス）ー B(オス）

外付型ブルーレイドライブに同梱の USB ケーブルを使うときは、延長 USB ケーブルをお買い求めください。

- ミニ A（オス）ー A（メス）（ビクターサービス扱い：QAM0852-001）

1 液晶モニターを閉じてから、接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② 外付型ブルーレイドライブの電源をつなぐ
③ お使いの外付型ブルーレイドライブに合った USB ケーブルで本機とつなぐ

- 外付型ブルーレイドライブの取扱説明書もご覧ください。

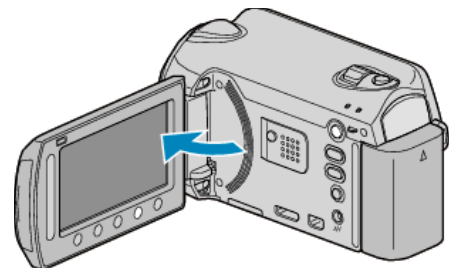
2 新しいディスクを入れる

- 外付型ブルーレイドライブの電源ボタンを押して、電源を入れてください。

① 取り出しボタンを押して、ディスクトレイを開ける
② トレイを完全に引き出して、新しいディスクを確実にはめ込む
③ ディスクトレイを「カチッ」と音がするまで押して閉じる

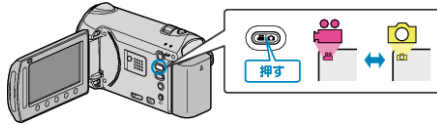
3 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入り、バックアップメニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、バックアップメニューが表示されます。

ご注意：

- 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

ディスクに保存する画質を選ぶ（メディア切替）

DVD ライターや外付型ブルーレイドライブで作成するディスクの種類や動画画質を設定します。
外付型ブルーレイドライブで DVD を作成するときや DVD ライターで標準画質の DVD を作成するときには、変更が必要です。

1 動画または静止画を選ぶ

2 "メディア切替"を選び、Ⓞ をタッチする

■ DVD ライターで動画をバックアップするとき

設定	内容
ＤＶＤ(ＡＶＣＨＤ)	動画をハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。
ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ	動画を標準画質に変換して DVD に保存できます。

■ 外付型ブルーレイドライブで動画をバックアップするとき

設定	内容
ＢＤ	動画をハイビジョン画質のままブルーレイディスクに保存できます。
ＤＶＤ(ＡＶＣＨＤ)	動画をハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。
ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ	動画を標準画質に変換して DVD に保存できます。

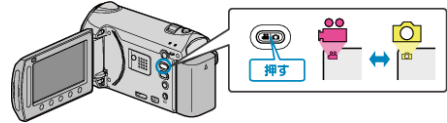
ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ方式で保存する場合のご注意：

- ハイビジョン映像を標準画質に変換するため、保存には撮影時間の 1.2 倍程度の時間がかかります。（保存元の映像はハイビジョンのままです）
- シーンごとにチャプターとして保存されます。シーンの切り替わりでは一瞬止まることがありますが、故障ではありません。
- DVD-R DL（2 層）ディスクには保存できません。DVD-R ディスクか、DVD-RW ディスクを使用してください。
- "ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ"に設定した場合は、タイトル画面を付けることができません。

メモ：

- "ＤＶＤ－Ｖｉｄｅｏ"にして作成した DVD は、一般の DVD プレーヤーなどで再生できます。
- 静止画バックアップの場合は、"ＢＤ"または "ＤＶＤ"を選べます。
静止画の画質は変更されません。

映像をまとめて保存する

本機に記録した動画、または静止画をまとめて保存します。
一度も保存していない動画、または静止画だけをまとめて保存することもできます。

1 動画または静止画を選ぶ

2 "まとめて作成"（動画）または "まとめて保存"（静止画）を選び、Ⓞ をタッチする

3 保存するメディアを選び、Ⓞ をタッチする

4 作成方法を選び、Ⓞ をタッチする

"すべてのシーン"（動画）/ "すべての画像"（静止画）：
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
"保存していないシーン"（動画）/ "保存していない画像"（静止画）：
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

5 "作成する"を選び、Ⓞ をタッチする

- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。
ディスクを用意してください。

6 どちらかを選び、OK をタッチする（動画モードのみ）

- "はい"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "いいえ"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

7 "作成する"を選び、OK をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

8 作成が終わったら、OK をタッチする

9 液晶モニターを閉じてから、USB ケーブルを抜く

ご注意：

- 作成が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。

メモ：

- 作成したディスクを確認するときは、手順 1 で "再生"を選んでください。

「ファイナライズしますか？」と表示されたとき

DVD を作成しているときに、本体設定メニューの "自動ファイナライズ" が "切"になっていると、表示されます。

"自動ファイナライズ" (☞ P.127)

- ほかの機器で再生するときは "はい" を選び、OK をタッチします。
- DVD に追記する予定があるときは "いいえ"を選び、OK をタッチします。

メモ：

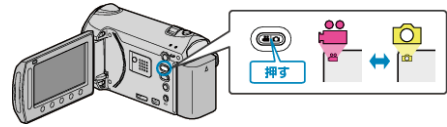
- 2 枚以上の DVD を同時に作成するときは、"自動ファイナライズ" を "切"にしていても、最後の 1 枚を除いて自動的にファイナライズされます。
- バックアップメニューの "ファイナライズ"を選んでも DVD をファイナライズできます。

"ディスクをファイナライズする" (☞ P.93)

- BD-R をほかの機器で再生するときは、ディスクの作成後に "ファイナライズ"を選んでファイナライズしてください。
  （本体設定メニューの "自動ファイナライズ" は DVD 作成のときのみ機能します）

日付を選んでまとめて保存する

撮影した日付ごとに動画、または静止画をまとめて保存します。

1 動画または静止画を選ぶ

2 "選んで作成"（動画）または "選んで保存"（静止画）を選び、OK をタッチする

3 保存するメディアを選び、OK をタッチする

4 "日付ごとに作成"（動画）または "日付ごとに保存"（静止画）を選び、OK をタッチする

5 保存したい撮影日を選び、OK をタッチする

- 複数の撮影日を選んで保存することはできません。

6 "作成する"を選び、OK をタッチする

- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。
  ディスクを用意してください。
- "確認"をタッチすると、保存する映像を確認できます。

7 どちらかを選び、OK をタッチする（モードのみ）

- "はい"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "いいえ"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

8 "作成する"を選び、OK をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

9 作成が終わったら、OK をタッチする

10 液晶モニターを閉じてから、USB ケーブルを抜く

ご注意：

- 作成が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。

メモ：

- 作成したディスクを確認するときは、手順 1 で "再生"を選んでください。

「ファイナライズしますか？」と表示されたとき

DVD を作成しているときに、本体設定メニューの "自動ファイナライズ" が "切"になっていると、表示されます。

"自動ファイナライズ" (☞ P.127)

- ほかの機器で再生するときは "はい" を選び、OK をタッチします。
- DVD に追記する予定があるときは "いいえ"を選び、OK をタッチします。

メモ：

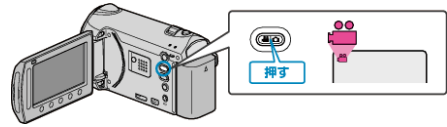
- 2 枚以上の DVD を同時に作成するときは、"自動ファイナライズ" を "切"にしていても、最後の 1 枚を除いて自動的にファイナライズされます。
- バックアップメニューの "ファイナライズ"を選んでも DVD をファイナライズできます。

"ディスクをファイナライズする" (☞ P.93)

- BD-R をほかの機器で再生するときは、ディスクの作成後に "ファイナライズ"を選んでファイナライズしてください。
（本体設定メニューの "自動ファイナライズ" は DVD 作成のときのみ機能します）

イベントを選んでまとめて保存する

登録したイベントごとに動画をまとめて保存します。

1 動画を選ぶ

2 "選んで作成"を選び、OK をタッチする

3 保存するメディアを選び、OK をタッチする

4 "イベントごとに作成"を選び、OK をタッチする

5 保存したいイベントを選び、OK をタッチする

6 "作成する"を選び、OK をタッチする

- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。
ディスクを用意してください。
- "確認"をタッチすると、保存する映像を確認できます。

7 どちらかを選び、㉄ をタッチする

- "はい"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "いいえ"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

8 "作成する"を選び、㉄ をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

9 作成が終わったら、㉄ をタッチする

10 液晶モニターを閉じてから、USB ケーブルを抜く

ご注意：

- 作成が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。

メモ：

- 作成したディスクを確認するときは、手順 1 で "再生"を選んでください。
- イベントを登録するには

"イベントを登録して撮影する" (☞ P.42)
"動画のイベントを変更する" (☞ P.66)

「ファイナライズしますか？」と表示されたとき

DVD を作成しているときに、本体設定メニューの "自動ファイナライズ" が "切"になっていると、表示されます。

"自動ファイナライズ" (☞ P.127)

- ほかの機器で再生するときは "はい" を選び、㉄ をタッチします。
- DVD に追記する予定があるときは "いいえ"を選び、㉄ をタッチします。

メモ：

- 2 枚以上の DVD を同時に作成するときは、"自動ファイナライズ" を "切"にしていても、最後の 1 枚を除いて自動的にファイナライズされます。
- バックアップメニューの "ファイナライズ"を選んでも DVD をファイナライズできます。

"ディスクをファイナライズする" (☞ P.93)

- BD-R をほかの機器で再生するときは、ディスクの作成後に "ファイナライズ"を選んでファイナライズしてください。
（本体設定メニューの "自動ファイナライズ" は DVD 作成のときのみ機能します）

プレイリストを選んで保存する

作成したプレイリストをお好みの順番に並べて保存します。

1 動画を選ぶ

2 "選んで作成"を選び、㉄ をタッチする

3 保存するメディアを選び、㉄ をタッチする

4 "プレイリストごとに作成"を選び、㉄ をタッチする

5 ディスクに保存するプレイリストを選び、㉄ をタッチする

- "確認"をタッチすると、選んだプレイリストを確認できます。

6 挿入位置を選び、㉄ をタッチする

- 右側のプレイリストに選んだ動画が追加されます。
- プレイリストに追加した動画を消すには、「→」をタッチして消したい動画を選び、㉄ をタッチします。
- 手順 4～5 を繰り返し、プレイリストに動画を並べます。

7 並べ終わったら、"保存"をタッチする

8 "作成する"を選び、Ⓞ をタッチする

- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。
  ディスクを用意してください。
- "確認"をタッチすると、保存する映像を確認できます。

9 "作成する"を選び、Ⓞ をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

10 作成が終わったら、Ⓞ をタッチする

11 液晶モニターを閉じてから、USB ケーブルを抜く

ご注意：
- 作成が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。

メモ：
- 作成したディスクのトップメニューには、プレイリストが並びます。
- 作成したディスクを確認するときは、手順 1 で "再生"を選んでください。
- プレイリストを作成するには

"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (☞ P.74)
"タイトル付きのプレイリストを作る" (☞ P.80)

「ファイナライズしますか？」と表示されたとき

DVD を作成しているときに、本体設定メニューの "自動ファイナライズ" が "切"になっていると、表示されます。

"自動ファイナライズ" (☞ P.127)

- ほかの機器で再生するときは "はい" を選び、Ⓞ をタッチします。
- DVD に追記する予定があるときは "いいえ"を選び、Ⓞ をタッチします。

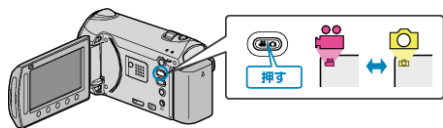
メモ：
- 2 枚以上の DVD を同時に作成するときは、"自動ファイナライズ" を "切"にしていても、最後の 1 枚を除いて自動的にファイナライズされます。
- バックアップメニューの "ファイナライズ"を選んでも DVD をファイナライズできます。

"ディスクをファイナライズする" (☞ P.93)

- BD-R をほかの機器で再生するときは、ディスクの作成後に "ファイナライズ"を選んでファイナライズしてください。
  （本体設定メニューの "自動ファイナライズ" は DVD 作成のときのみ機能します）

映像を選んで保存する

保存したい動画、または静止画を選んで保存します。

1 動画または静止画を選ぶ

2 "選んで作成"(動画)または "選んで保存"(静止画)を選び、㊋ をタッチする

3 保存するメディアを選び、㊋ をタッチする

4 "シーンから選ぶ"(動画)または "画像から選ぶ"(静止画)を選び、㊋ をタッチする

5 保存したい動画、または静止画を選び、㊋ をタッチする

- 選ぶと、チェックマークが表示されます。
  チェックマークを消すときは、もう一度 ㊋ をタッチします。
- "確認"をタッチすると、動画を確認できます。

6 選び終わったら、"保存"をタッチする

7 "作成する"を選び、㊋ をタッチする

- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。
  ディスクを用意してください。
- "確認"をタッチすると、保存する映像を確認できます。

8 どちらかを選び、㊋ をタッチする（モードのみ）

- "はい"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "いいえ"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

9 "作成する"を選び、㊋ をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

10 作成が終わったら、㊋ をタッチする

11 液晶モニターを閉じてから、USB ケーブルを抜く

ご注意：

- 作成が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。

メモ：

- 作成したディスクを確認するときは、手順 1 で "再生"を選んでください。

「ファイナライズしますか？」と表示されたとき

DVD を作成しているときに、本体設定メニューの "自動ファイナライズ" が "切"になっていると、表示されます。
"自動ファイナライズ" (☞ P.127)

- ほかの機器で再生するときは "はい" を選び、㉃ をタッチします。
- DVD に追記する予定があるときは "いいえ"を選び、㉃ をタッチします。

メモ：

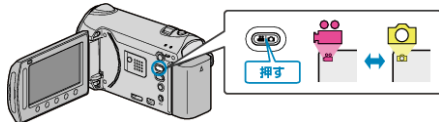
- 2 枚以上の DVD を同時に作成するときは、"自動ファイナライズ" を "切"にしていても、最後の 1 枚を除いて自動的にファイナライズされます。
- バックアップメニューの "ファイナライズ"を選んでも DVD をファイナライズできます。

"ディスクをファイナライズする" (☞ P.93)

- BD-R をほかの機器で再生するときは、ディスクの作成後に "ファイナライズ"を選んでファイナライズしてください。
  （本体設定メニューの "自動ファイナライズ" は DVD 作成のときのみ機能します）

ディスクをファイナライズする

保存や追記を終え、ディスクを完成させます。ディスクは本機、パソコン、DVD ライター、DVD プレーヤーや外付型ブルーレイドライブなどの BD-MV や AVCHD 対応機器で再生できるようになります。

1 動画または静止画を選ぶ

2 "ファイナライズ"を選び、㉃ をタッチする

3 "はい"を選び、㉃ をタッチする

- ファイナライズが終わったら、㉃ をタッチしてください。

外付型ハードディスクに保存する

市販の外付型ハードディスク（以下、外付型 HDD）を USB ケーブルで接続すると、動画や静止画を外付型 HDD に保存したり、本機で再生したりできます。

- 外付型 HDD の取扱説明書もご覧ください。

対応する外付型 HDD

I-O DATA（アイ･オー･データ機器）社の HDCN-UA シリーズ、または HDJ-U シリーズをお使いください。（2010 年 2 月現在）

メモ：

お買い求めになる前に、I･O DATA 社のホームページで対応する機器をご確認ください。

- I･O DATA 社：

http://www.iodata.jp/everio/

- 外付型 HDD は、2 TB まで使用できます。

外付型 HDD で保存や再生するには

"外付型ハードディスクを準備する" (☞ P.94)
"映像をまとめて保存する" (☞ P.94)
"外付型ハードディスク内の映像を再生する" (☞ P.95)
"外付型ハードディスク内のフォルダを削除する" (☞ P.95)

メモ：

- 本機ではじめて使う外付型 HDD をつなぐときは、フォーマットしてください。（データはすべて消えます。）

"外付型ハードディスクをフォーマットする" (☞ P.96)

- パソコンで本機から外付型 HDD に保存したデータを操作するときは、付属ソフト「Everio MediaBrowser」のヘルプをご覧ください。

ご注意：

- DVD ライターや外付型ブルーレイドライブを使うとき、または別の外付型 HDD を使うときは、接続中の外付型 HDD を本機から取りはずします。
- ファイルの保存中と再生中は、本機や外付型 HDD の電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 本機から削除したファイルは、外付型 HDD に保存されていても、DVD ライターや外付型ブルーレイドライブでディスクに記録できません。
- パソコンでフォーマットしないでください。パソコンでフォーマットした場合は、本機で改めてフォーマットします。（外付型 HDD のファイルはすべて削除されます。）
- 外付型 HDD のファイルやフォルダは、パソコンで削除･移動･名前の変更をしないでください。本機で再生できなくなります。
- 外付型 HDD のファイルをパソコンで編集するときは、あらかじめパソコンにコピーしてください。外付型 HDD のファイルを直接編集すると、本機で再生できなくなります。

外付型ハードディスクを準備する

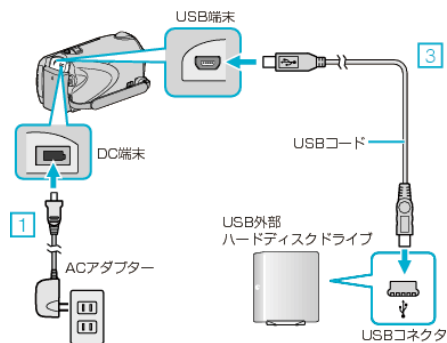
メモ：

外付型 HDD を接続するには、下記の USB ケーブルをお買い求めください。
本機に付属する USB ケーブルは使用できません。

- I-O DATA 製：USB-MAB/100 ミニＡ（オス）ー B(オス）

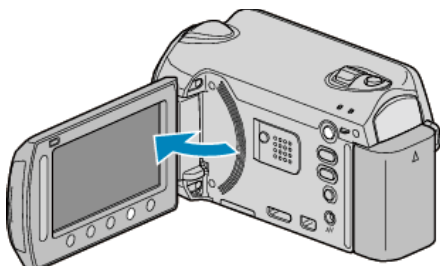
外付型 HDD に同梱の USB ケーブルを使うときは、下記の延長 USB ケーブルをお買い求めください。

- ミニ A(オス)ー A(メス)（ビクターサービス扱い：QAM0852-001）

1 液晶モニターを閉じてから、接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② 外付型 HDD の AC アダプターをつなぐ
③ 外付型 HDD と USB ケーブルでつなぐ

- 外付型 HDD の取扱説明書もご覧ください。

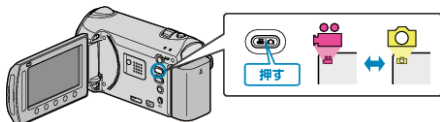
2 外付型 HDD の電源を入れる

3 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入り、バックアップメニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、バックアップメニューが表示されます。

ご注意：

- 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
- 本機と外付型 HDD の間に、USB ハブを接続しないでください。

映像をまとめて保存する

本機に記録した動画、または静止画をまとめて保存します。
一度も保存していない動画、または静止画だけをまとめて保存することもできます。

1 動画または静止画を選ぶ

2 "バックアップする"を選び、Ⓞ をタッチする

3 保存するメディアを選び、Ⓞ をタッチする

4 作成方法を選び、Ⓞ をタッチする

"すべてのシーン"(動画)/ "すべての画像"(静止画)：
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
"保存していないシーン"(動画)/ "保存していない画像"(静止画)：
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

5 バックアップを開始する

- HDD の空き容量を確認してから、"ＯＫ"を選んで、 Ⓞ をタッチしてください。

6 作成が終わったら、Ⓞ をタッチする

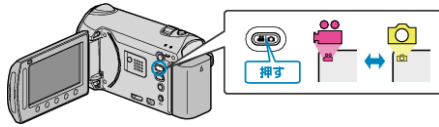
7 液晶モニターを閉じてから、USB ケーブルを抜く

ご注意：

- 保存がが終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。
- 動画の保存には時間がかかります。(例：画質 XP の場合、1 時間の動画の保存に約 20 分かかる。)

外付型ハードディスク内の映像を再生する

外付型 HDD に保存した動画や静止画は本機で再生できます。

1 動画または静止画を選ぶ

2 "再生"を選び、OK をタッチする

3 見たいフォルダを選んで OK をタッチする

4 見たい映像を選んで OK をタッチする

- 再生を停止するときは、■ をタッチします。

メモ：

- 再生中に、映像や音声が途切れることがあります。

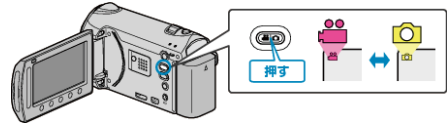
外付型ハードディスク内のフォルダを削除する

外付型 HDD に保存したファイルを削除します。

ご注意：

- 一度削除した映像は、元には戻せません。
- 重要なファイルは必ずパソコンにバックアップしてください。

"すべての映像をバックアップする" (☞ P.100)

1 動画または静止画を選ぶ

2 "削除"を選び、OK をタッチする

3 削除するフォルダを選び、OK をタッチする

4 "削除する"を選び、OK をタッチする

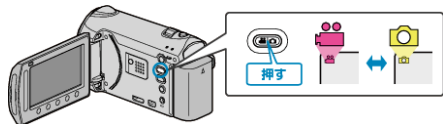
- 削除が終わったら、OK をタッチしてください。

外付型ハードディスクをフォーマットする

外付型 HDD のすべてのファイルを消去します。

ご注意：

- フォーマットすると、外付型 HDD 内のデータはすべて消えます。
  フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

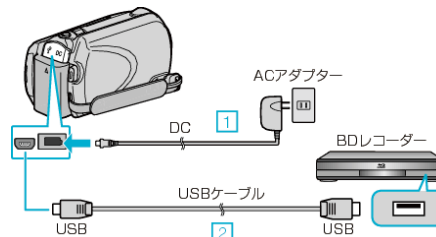
1 動画または静止画を選ぶ

2 "フォーマット"を選び、OK をタッチする

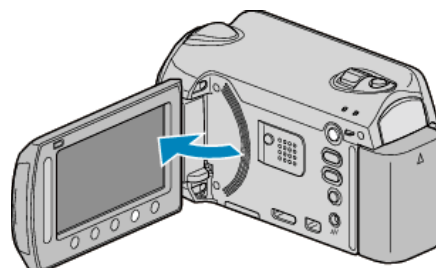
3 "はい"を選び、OK をタッチする

- フォーマットが終わったら、OK をタッチしてください。

ブルーレイレコーダーと接続してディスクを作る

ブルーレイレコーダーと USB ケーブルで接続すると、ブルーレイレコーダーでディスクを作成できます。

1 液晶モニターを閉じてから、接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② 付属の USB ケーブルでつなぐ

2 液晶モニターを開く

- ＵＳＢメニューが表示されます。

3 "バックアップする"を選び、OK をタッチする

4 ブルーレイレコーダー側でダビングする

- ブルーレイレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

メモ：

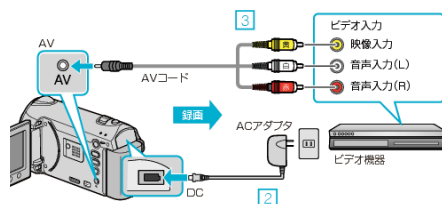
- 下記のホームページもご覧ください。

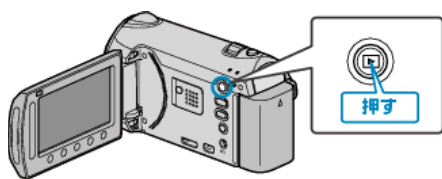
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/

DVD レコーダーやビデオデッキでダビングする

DVD レコーダーやビデオデッキに接続して、動画をダビングすることができます。

- テレビや DVD レコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

1 ビデオ機器に接続する

① 電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を切る
② 本機に AC アダプターをつなぐ
③ 付属の A V ケーブルでつなぐ
④ 電源ボタンを 2 秒以上押して、電源を入れる

2 再生モードにする

3 テレビ･ビデオ機器の録画の準備をする

- 対応する外部入力に切り換えます。
- 市販の DVD-R やビデオテープなどを入れます。

4 本機の再生の準備をする

- 接続設定メニューの "ビデオ出力"を接続するテレビの画面比（4:3 または 16:9）に合わせます。

"ビデオ出力" (☞ P.131)

- 日付も一緒にダビングしたいときは、接続設定メニューの "テレビ表示"を "入"にします。
  また、再生メニューの "画面表示"を "日付のみ表示"にしてください。

"テレビ表示" (☞ P.130)
"画面表示" (☞ P.118)

5 録画を開始する

- 本機で動画を再生し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。

"動画を再生する" (☞ P.50)

- 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

メモ：

- ダビングしたい動画がたくさんあるときは、事前にプレイリストを作成しておき、プレイリストを再生してお気に入りの動画を一度にダビングすることができます。

"映像を選んでプレイリストを作る" (☞ P.74)
"プレイリストを再生する" (☞ P.59)

Windows パソコンに保存する

付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。また、パソコンの DVD ドライブを使って DVD を作ることもできます。
付属ソフトをインストールしていない場合、外部ストレージとして接続されます。

メモ：

- ディスクに記録するには、お使いのパソコンに記録型 DVD ドライブ、または記録型ブルーレイドライブが必要です。
- 付属ソフトでは、静止画をディスクに記録できません。

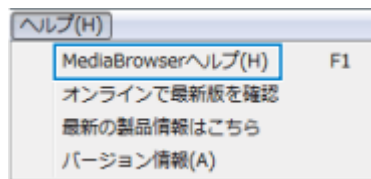
付属ソフト Everio MediaBrowser の操作などで困ったときは

下記のお問い合わせ先へご相談ください。

- ピクセラユーザーサポートセンター

電話番号	☎ 0120-727-231 携帯電話･PHS などからは、次の電話番号をご利用ください。 06-6633-2990
ホームページ	http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

- YouTube にアップロードするときや iTunes に転送するときの操作については、Everio MediaBrowser の「ヘルプ」メニューの「MediaBrowser ヘルプ」をご覧ください。

ヘルプ(H)
MediaBrowserヘルプ(H) F1
オンラインで最新版を確認
最新の製品情報はこちら
バージョン情報(A)

パソコンの性能(目安)を確かめる

スタートメニューの「コンピュータ」(Windows Vista)または「コンピューター」(Windows 7)、「マイコンピュータ」(Windows XP)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

Windows Vista/Windows 7 をお使いのかたは

- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

Windows XP をお使いのかたは

- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

	Windows Vista/Windows 7	Windows XP
OS	Windows Vista 32 ビット/64 ビット Home Basic または Home Premium （共にプリインストール版のみ） Service Pack 2 Windows 7 32 ビット/64 ビット Home Premium （共にプリインストール版のみ）	Windows XP Home Edition または Professional （共にプリインストール版のみ） Service Pack 3
CPU	Intel Core Duo CPU 1.66 GHz 以上 （Intel Core 2 Duo CPU 2.13 GHz 以上推奨）	Intel Core Duo CPU 1.66 GHz 以上 （Intel Core 2 Duo CPU 2.13 GHz 以上推奨）
RAM	2 GB 以上	1 GB 以上

メモ：

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトの使用について動作を保証することができません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

付属ソフトをインストールする

付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

Windows Vista/Windows 7 をお使いの場合

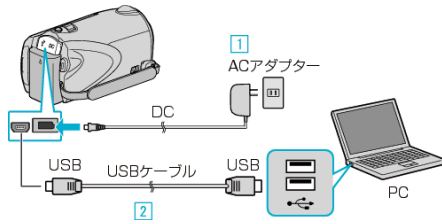
- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

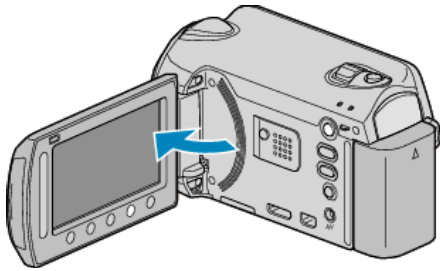
Windows XP をお使いの場合

- WEB ユーザーガイドの動画の操作説明をご覧ください。

すべての映像をバックアップする

バックアップする前に、パソコンのハードディスク(HDD)に十分な空き容量があることを確認してください。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② 付属の USB ケーブルでつなぐ

2 液晶モニターを開く

- ＵＳＢメニューが表示されます。

3 "バックアップする"を選び、Ⓞ をタッチする

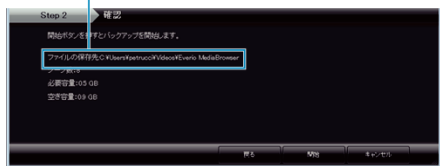
- パソコンで付属ソフト「Everio MediaBrowser」が立ち上がります。
  以降の手順は、パソコンで操作します。

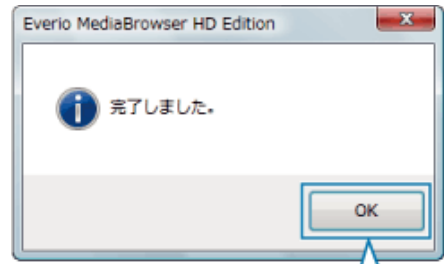
4 ボリュームを選ぶ

「次へ」をクリック

「ビデオカメラのすべてのボリューム」をクリック

5 バックアップを開始する

ファイルの保存先（パソコン）

- バックアップが始まります。

6 バックアップが終わったら、「OK」をクリックする

メモ：

- バックアップ前には、動画や静止画を保存してある SD カードをカメラに装着してください。
- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」の操作などで困ったときは、「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

電話番号	0120-727-231 携帯電話･PHS などからは、次の電話番号をご利用ください。 06-6633-2990
ホームページ	http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

- バックアップする前に、不要な動画を削除しておきましょう。
  撮影した動画が多いと、バックアップに時間がかかります。

"不要な映像を削除する" (☞ P.62)

本機をパソコンから取りはずすとき

1 「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする

2 「USB 大容量記憶装置～」をクリックする

3 （Windows Vista の場合）「OK」をクリックする

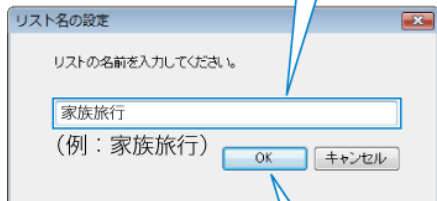
4 USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

ファイルを整理する

ファイルをバックアップしたら、「家族旅行」、「運動会」などの名前を付けて整理しましょう。
ディスクをつくるときだけでなく、鑑賞するときにも役立ちます。

1 整理するファイルのある月を表示する

クリック
撮影した月

2 ユーザーリストを作成する

クリック
撮影日
① ユーザーリスト名を入力
リスト名の設定
リストの名前を入力してください。
家族旅行
（例：家族旅行）
OK
キャンセル
② クリック

- ライブラリのユーザーリストに、新しいユーザーリストが追加されます。

3 撮影日をクリックする

- その日に撮影したファイルのサムネイルが表示されます。

4 作成したユーザーリストにファイルを登録する

ユーザーリスト
サムネイル
ドラッグ
ドロップ

動画と静止画を区別するとき：

- 画面右上の「絞り込み」メニューを使ってファイルを絞り込むことができます。
- サムネイルの右上隅に表示されている動画/静止画アイコンを確認します。

動画
静止画

メモ：

- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」の操作などで困ったときは、「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

電話番号	0120-727-231 携帯電話･PHS などからは、次の電話番号をご利用ください。 06-6633-2990
ホームページ	http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

動画をディスクに記録する

ユーザーリストを使って整理した動画をまとめて DVD に保存します。

1 新しいディスクをパソコンの記録型 DVD ドライブ、または記録型ブルーレイドライブに入れる

2 保存したいユーザーリストを選ぶ

3 保存するディスクの種類を選ぶ

- DVD-Video を選択した場合は標準画質になります。

4 ファイルの選びかたを選ぶ

- 「表示されているすべてのファイルを選択する」を選んだ場合は、表示されている動画だけをディスクに保存します。
  手順 6 に進んでください。
- 「ファイルを個別に選択する」を選んだ場合は、手順 5 に進んでください。

5 (「ファイルを個別に選択する」を選んだ場合)ディスクに保存したいファイルを順番に選ぶ

- 選び終わったら、「次へ」をクリックしてください。

6 ディスクのトップメニューを設定する

- タイトル名とメニューの背景画を設定します。

7 ディスク作成を開始する

- ディスク作成が終わったら、「OK」をクリックする

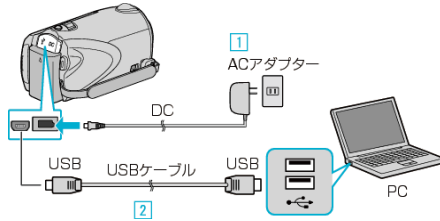
メモ:

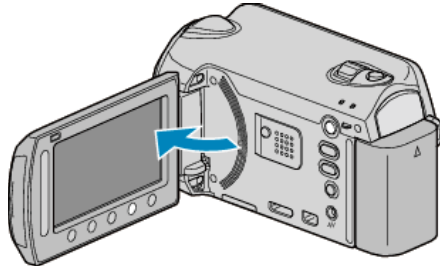
- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」では、以下の種類のディスクを使用することができます。
  お使いのディスクドライブで書き込み可能なディスクを使用してください。
  DVD-R
  DVD-R DL
  DVD-RW
  DVD+R
  DVD+R DL
  DVD+RW
  BD
- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」では、以下の種類のフォーマットに対応しています。
  DVD-Video
  AVCHD
  BD
- 画質 UXP で撮影した動画から AVCHD ディスクをつくるときは、画質が XP 相当に変更されます。このため、通常よりもディスク作成に時間がかかることがあります。
- ディスクを再生するときは、Everio MediaBrowser Player を使います。詳しくは、Everio MediaBrowser のヘルプをご覧ください。
- Everio MediaBrowser のヘルプを見るには、Everio MediaBrowser のメニューバーから「ヘルプ」を選ぶか、F1 ボタンを押してヘルプを表示します。
- 付属ソフト「Everio MediaBrowser」の操作などで困ったときは、「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

電話番号	0120-727-231 携帯電話･PHS などからは、次の電話番号をご利用ください。 06-6633-2990
ホームページ	http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

付属のソフトを使わずに映像を保存する

次の方法でファイルをパソコンにコピーしてください。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

① 本機に AC アダプターをつなぐ
② 付属の USB ケーブルでつなぐ

2 液晶モニターを開く

- ＵＳＢメニューが表示されます。

3 "パソコンで見る"を選び、㊎ をタッチする

- Everio MediaBrowser が起動した場合は終了させてください。
- 以降の手順は、パソコンで操作します。

4 スタートメニューから「コンピュータ」(Windows Vista) / 「マイコンピュータ」(Windows XP)/「コンピュータ」(Windows 7)を選び、EVERIO_MEM または EVERIO_SD アイコンをダブルクリックする

- 保存したいファイルがあるフォルダを開きます。

"ファイルとフォルダの一覧について" (☞ P.103)

5 パソコンの任意のフォルダにファイルをコピーする(デスクトップなど)

ご注意:

- フォルダやファイルの削除･移動･名前の変更などをパソコンで行うと、本機で再生できなくなります。

メモ:

- ファイルを編集･鑑賞するには、AVCHD(動画)／JPEG(静止画)に対応したソフトウェアを使用してください
- 本機をパソコンから取りはずすとき、デスクトップに表示されている「EVERIO_MEM」および「EVERIO_SD」のアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてください。
- 上記のパソコンでの操作は、システムによって異なることがあります。

本機をパソコンから取りはずすとき

1 「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする

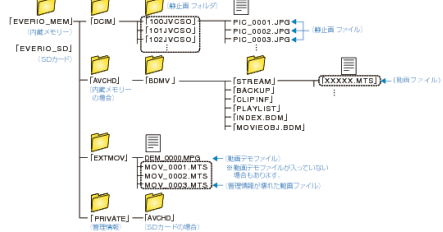
2 「USB 大容量記憶装置～」をクリックする

3 (Windows Vista の場合) 「OK」をクリックする

4 USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

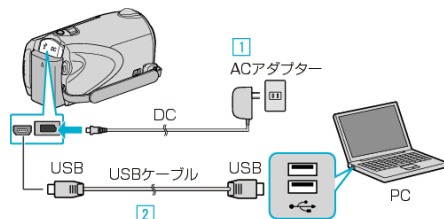
ファイルとフォルダの一覧について

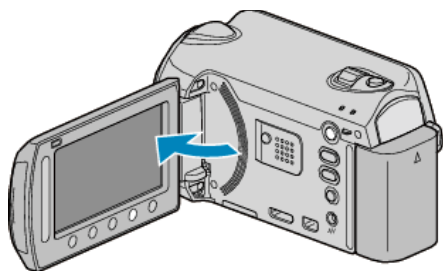
内蔵メモリー、または SD カードには、フォルダとファイルが次のように作成されています。
フォルダとファイルは必要になったときに作成されます。

ご注意:

- フォルダやファイルの削除･移動･名前の変更などをパソコンで行うと、本機で再生できなくなります。

Macパソコンに保存する

以下の方法でファイルをMacパソコンにコピーしてください。

1 USBケーブルとACアダプターを接続する

① 本機にACアダプターをつなぐ
② 付属のUSBケーブルでつなぐ
- 付属のソフトは不要です。

2 液晶モニターを開く

- USBメニューが表示されます。

3 "パソコンで見る"を選び、Ⓞをタッチする

- 以降の手順は、パソコンで操作します。

4 デスクトップに表示された「EVERIO_MEM」または「EVERIO_SD」アイコンをクリックする

- フォルダが開きます。

5 カラム表示アイコンをクリックする

- 保存したいファイルがあるフォルダを開きます。

"ファイルとフォルダの一覧について" (☞ P.103)

6 パソコンの任意のフォルダにファイルをコピーする(デスクトップなど)

ご注意:

- フォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをパソコンで行うと、本機で再生できなくなります。
- Macパソコンにコピーした MTS ファイルは、iMovie に取り込むことができません。
  MTS ファイルを iMovie で使いたいときは、iMovie を使って取り込んでください。

メモ:

- ファイルを編集・鑑賞するには、AVCHD(動画)/JPEG(静止画)に対応したソフトウェアを使用してください。
- 本機をパソコンから取りはずすとき、デスクトップに表示された「EVERIO_MEM」または「EVERIO_SD」アイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。

iMovieとiPhotoについて

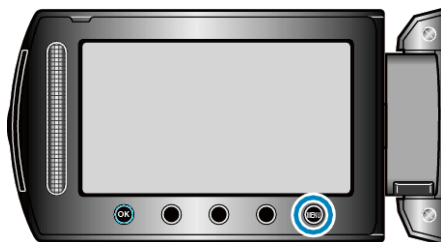
アップル社のiMovie'08、'09(動画)またはiPhoto(静止画)を使っても、パソコンにファイルを取り込めます。
パソコンの性能を確認するには、アップルメニューから「このMacについて」を選んでください。OSのバージョン、プロセッサ、搭載メモリーを確認できます。

- iMovieまたはiPhotoの最新情報については、アップル社のホームページをご覧ください。
- iMovieとiPhotoの操作については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。
- すべてのパソコン環境での動作を保証するものではありません。

メニュー操作のしかた

スライダーと操作ボタンを使ってメニューを設定します。

- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 設定したいメニューを選び、OK をタッチする

3 設定を変更し、OK をタッチする

メモ：

- メニューを閉じるときは、MENU をタッチします。
- 一つ前の画面に戻るときは、⮌ をタッチします。
- ヘルプを表示するときは、? をタッチします。

すべての設定をお買い上げ時に戻すとき：

- 本体設定メニューの "工場出荷"を設定します。

"工場出荷" (☞ P.128)

撮影メニュー(動画)

明るさやホワイトバランスなどを、被写体や目的に合わせて調節したり、画質や感度アップなどの設定を変えたりできます。

設定	内容
マニュアル設定	撮影の設定を手動で設定できます。 ● マニュアル撮影時のみ表示されます。 "マニュアルで撮影する" (☞ P.33)
顔優先ＡＥ／ＡＦ	顔を検出し、自動的に明るさやピントを調節します。 "人物をきれいに撮影する(顔検出 AE/AF)" (☞ P.39)
ライト	ライトの点灯/ 消灯を設定します。 "ライト" (☞ P.107)
イベント登録	動画撮影前に登録するとイベント(旅行、運動会など)に分類されます。 "イベントを登録して撮影する" (☞ P.42)
動画画質	撮影する動画の画質を設定します。 "動画画質" (☞ P.107)
ズーム倍率	ズームの最大倍率を設定します。 "ズーム倍率" (☞ P.108)
感度アップ	暗いところで自動的に明るく調節します。 "感度アップ" (☞ P.108)
高速撮影	撮影速度を上げて撮影し、動きを強調したスローモーション動画を撮影します。 "スローモーションを撮影する(高速撮影)" (☞ P.44)
タイムラプス撮影	一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間をかけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。 "微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ P.45)
フレームインＲＥＣ	液晶画面に表示される赤枠内において被写体の明るさの変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。 "動きを感知し自動的に撮影する(フレームイン REC)" (☞ P.47)
シームレス撮影	記録メディアの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。 例えば、撮影中に SD カードの容量がいっぱいになって記録できなくなったら、撮影を止めずに続けて内蔵メモリーに記録します。 "シームレス撮影" (☞ P.109)
シャッターモード	連写を設定できます。 "シャッターモード" (☞ P.109)
ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ	「x.v.Color」で撮影します。 "x.v.Color" (☞ P.110)
ウィンドカット	風の音を低減します。 "ウィンドカット" (☞ P.110)

顔優先ＡＥ／ＡＦ

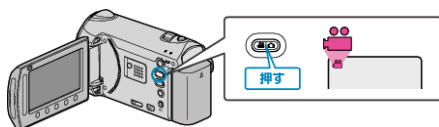
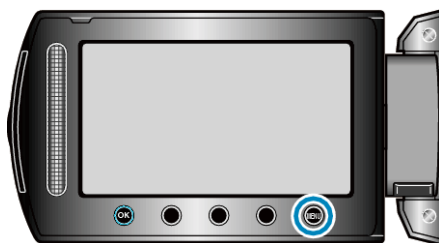
顔を検出し、自動的に明るさやピントを調節します。
操作方法はこちら
"人物をきれいに撮影する(顔検出 AE/AF)" (☞ P.39)

ライト

ライトの点灯/ 消灯を設定します。

設定	内容
切	ライトを点灯しません。
オート	周囲が暗いとき、自動的に点灯します。
入	ライトを常に点灯します。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "ライト"を選び、OK をタッチする。

イベント登録

動画撮影前に登録するとイベント(旅行、運動会など)に分類されます。
操作方法はこちら
"イベントを登録して撮影する" (☞ P.42)

動画画質

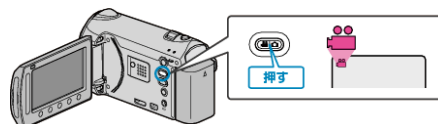
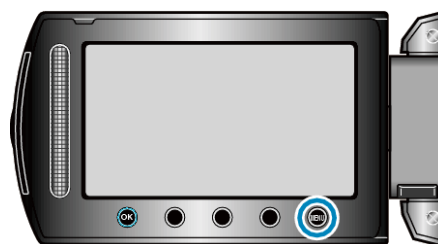
撮影する動画の画質を設定します。

設定	内容
ＵＸＰ	最高画質で撮影できます。 ● ブルーレイディスク向けです。ハイビジョン画質では、DVD に保存できません。
ＸＰ	高画質で撮影できます。
ＳＰ	標準画質で撮影できます。
ＥＰ	長時間撮影ができます。

メモ：

- 動作が速いシーンや明るさが変化しやすいシーンを撮影するときは、ノイズを避けるため、"ＵＸＰ"または "ＸＰ"に設定してください。
- 画質を "ＵＸＰ"にして撮影した動画は、外付型ブルーレイドライブで保存してください。
- 残量時間表示からも、動画画質を変更できます。
  スライダーで動画画質を選んで、OK をタッチしてください。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "動画画質"を選び、OK をタッチする

ズーム倍率

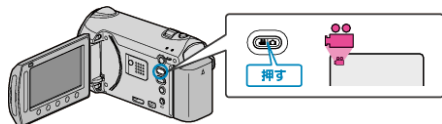
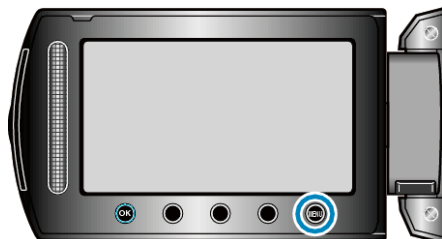
ズームの最大倍率を設定します。

設定	機能
10 倍/光学	10 倍までズームすることができます。
16(15)倍/ダイナミック	手ぶれ補正が通常モードまたは OFF のときは、16 倍までズームすることができます。 手ぶれ補正がアクティブモードのときは、15 倍までズームすることができます。
64 倍/デジタル	64 倍までズームすることができます。
200 倍／デジタル	200 倍までズームすることができます。

メモ：

- ダイナミックズームを使えば、ほとんど画質を劣化させることなくズーム領域を広げることができます。
- デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ

2 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "ズーム倍率"を選び、Ⓞ をタッチする

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。

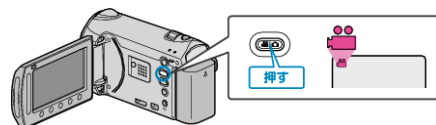
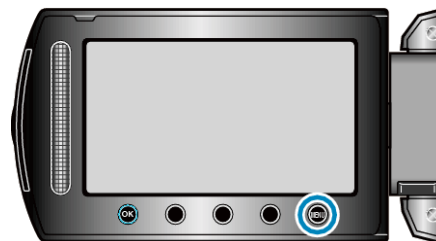
設定	内容
切	調節しません。
ＡＧＣ	暗いところで電気的に明るく調節します。
オート	暗いところで自動的に明るく調節します。

メモ：

- "オート"では "ＡＧＣ"より明るくなりますが、被写体の動きが不自然になることがあります。
- 静止画とは、別に設定できます。

"感度アップ(静止画)" (☞ P.114)

項目を表示するには

1 動画を選ぶ

2 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "感度アップ"を選び、Ⓞ をタッチする

高速撮影

撮影速度を上げて撮影し、動きを強調したスローモーション動画を撮影します。
ゴルフのスイングなどを確認したいときに便利です。
操作方法はこちら
"スローモーションを撮影する(高速撮影)" (☞ P.44)

タイムラプス撮影

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間をかけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。
花のつぼみが開く様子を観察するときなどに便利です。
操作方法はこちら
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ P.45)

フレームイン REC

被写体の明るさの変化を感知して、自動的に撮影します。
操作方法はこちら
"動きを感知し自動的に撮影する(フレームイン REC)" (☞ P.47)

シームレス撮影

記録メディアの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。
例えば、撮影中に SD カードの容量がいっぱいになって記録できなくなったら、撮影を止めずに続けて内蔵メモリーに記録します。

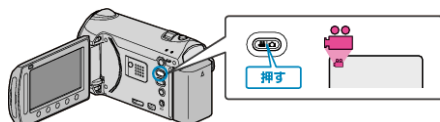
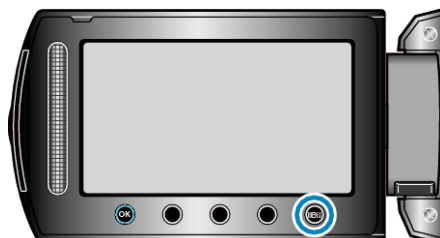
設定	内容
切	記録メディアを切り替えて撮影しません。
入	記録メディアを切り替えて撮影します。

メモ:

- 内蔵メモリーまたは SD カードに十分な空き容量がないと、シームレス撮影はできません。
- シームレス撮影をすると、設定が自動的に "切"となります。
- 一度シームレス撮影をした後に、ふたたびシームレス撮影をするには、シームレス撮影した動画を結合するか、シームレス撮影の結合情報を削除する必要があります。

"シームレス撮影で記録された動画を結合する" (☞ P.70)

項目を表示するには

1 動画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "シームレス撮影"を選び、OK をタッチする

シャッターモード

連写を設定できます。

設定	内容
1 枚撮影	連写しません。
連写	SNAPSHOT ボタンを押し続けている間、連写します。

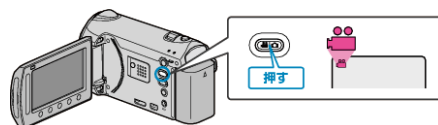
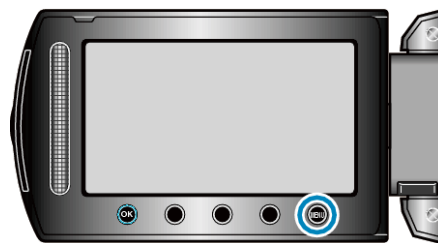
メモ:

- 本体設定メニューの "連写スピード"で連射速度を変更できます。

"連写スピード" (☞ P.124)

- 動画の撮影中に連写すると、一時的に "低速"になります。
- 動画モード中に撮影した静止画のサイズは、3200×1800 になります。
- SD カードによっては、連写できないことがあります。
- 連写し続けると、連写速度が低下します。

項目を表示するには

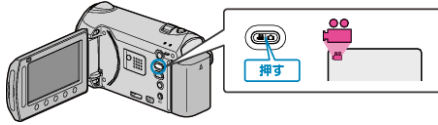
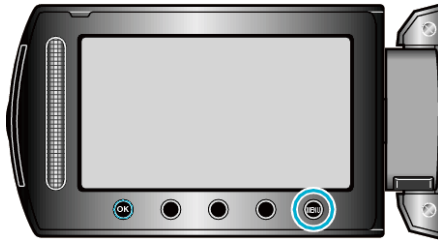
1 動画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "シャッターモード"を選び、OK をタッチする

x.v.Color

「x.v.Color」で撮影します。

設定	内容
切	テレビ放送と同じ規格で、色を記録します。
入	より忠実に色を記録します。(x.v.Color 対応のテレビ用)

項目を表示するには

1 動画を選ぶ

2 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "x．v．Color"を選び、Ⓞ をタッチする。

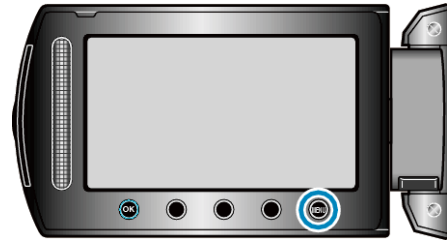
ウィンドカット

風の音を低減します。

設定	内容
切	低減しません。
入	低減します。

項目を表示するには

1 動画を選ぶ

2 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "ウィンドカット"を選び、Ⓞ をタッチする

撮影メニュー(静止画)

明るさやホワイトバランスなどを、被写体や目的に合わせて調節したり、画質や感度アップなどの設定を変えたりできます。

設定	内容
マニュアル設定	撮影の設定を手動で設定できます。 ● マニュアル撮影時のみ表示されます。 "マニュアルで撮影する" (☞ P.33)
顔優先ＡＥ／ＡＦ	顔を検出し、自動的に明るさやピントを調節します。 "人物をきれいに撮影する(顔検出 AE/AF)" (☞ P.39)
フラッシュ	フラッシュを設定します。 "フラッシュ" (☞ P.112)
セルフタイマー	記念撮影するときなどに使います。 "記念写真を撮影する(セルフタイマー)" (☞ P.40)
シャッターモード	連写を設定できます。 "シャッターモード" (☞ P.112)
静止画サイズ	記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。 "静止画サイズ" (☞ P.113)
静止画画質	静止画の画質を設定します。 "静止画画質" (☞ P.113)
感度アップ	暗いところで自動的に明るく調節します。 "感度アップ" (☞ P.114)
フレームインＲＥＣ	液晶画面に表示される赤枠内において被写体の明るさの変化を感知して、自動的に静止画の撮影をします。 "動きを感知し自動的に撮影する(フレームイン REC)" (☞ P.47)

顔優先ＡＥ／ＡＦ

顔を検出し、自動的に明るさやピントを調節します。
操作方法はこちら
"人物をきれいに撮影する（顔検出 AE/AF）" (☞ P.39)

フラッシュ

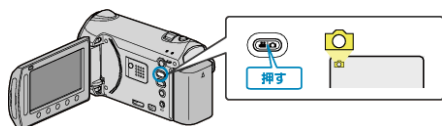
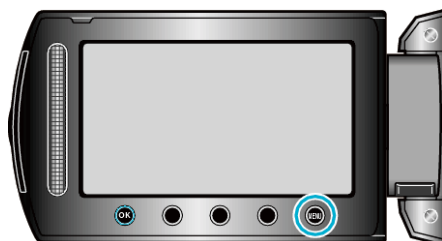
フラッシュを設定します。

設定	内容
切	フラッシュを発光しません。
オート	周囲が暗いときは、自動的にフラッシュを発光します。
オート赤目	フラッシュをプリ発光して赤目を軽減します。
入	フラッシュを必ず発光します。
スローシンクロ	フラッシュを必ず発光し、シャッタースピードを遅くして、人物と背景を明るく撮影します。

メモ：

- 画面に表示されたフラッシュアイコンが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。
- "シャッターモード"や "シーンセレクト"の "ナイトアイ"、"夜景"、スノーを設定しているときは、フラッシュを発光しません。

項目を表示するには

1 静止画を選ぶ

2 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "フラッシュ"を選び、Ⓞ をタッチする

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。
操作方法はこちら
"記念写真を撮影する（セルフタイマー）" (☞ P.40)

シャッターモード

連写を設定できます。

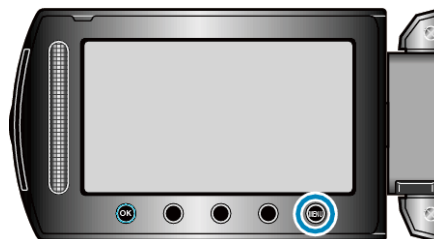
設定	内容
１枚撮影	連写しません。
連写	SNAPSHOT ボタンを押し続けている間、連写します。

メモ：

- 本体設定メニューの "連写スピード"で連射速度を変更できます。
"連写スピード" (☞ P.124)
- SD カードによっては、連写できないことがあります。
- 連写し続けると、連写速度が低下します。

項目を表示するには

1 静止画を選ぶ

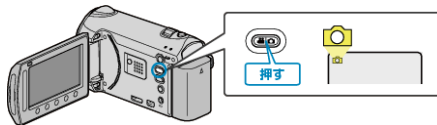
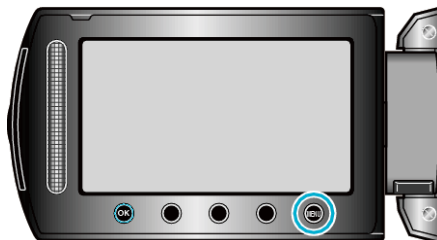
2 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

3 "シャッターモード"を選び、Ⓞ をタッチする

静止画サイズ

記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。

設定	内容
3520X2640(9.3M) 3072X2304(7M) 2592X1944(5M) 1600X1200(1.9M) 640X480(0.3M)	画面比「4:3」の静止画を撮影します。
3520X1984(7M) 3072X1728(5.3M) 2592X1456(3.8M) 1920X1080(2M) 1280X720(0.9M)	画面比「16:9」の静止画を撮影します。 ● 16:9 の静止画をお店などでプリントすると、両端が切られることがあります。

項目を表示するには

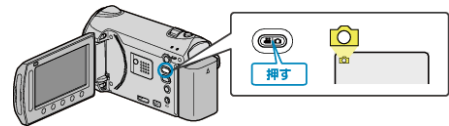
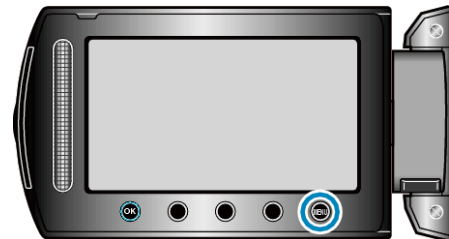
1 静止画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "静止画サイズ"を選び、OK をタッチする

静止画画質

静止画の画質を設定します。

設定	内容
ファイン	高画質で撮影できますが、撮影可能枚数は少なくなります。
スタンダード	標準画質で撮影できます。

項目を表示するには

1 静止画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "静止画画質"を選び、OK をタッチする

感度アップ

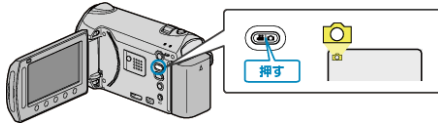
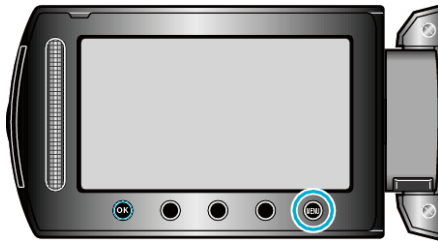
暗いところで自動的に明るく調節します。

設定	内容
切	調節しません。
ＡＧＣ	暗いところで電気的に明るく調節します。

メモ：
- 動画とは、別に設定できます。

"感度アップ(動画)"（☞ P.108）

項目を表示するには

1 静止画を選ぶ

2 MENU をタッチして、メニューを表示する

3 "感度アップ"を選び、OK をタッチする

フレームイン REC

被写体の明るさの変化を感知して、自動的に撮影します。
操作方法はこちら
"動きを感知し自動的に撮影する（フレームイン REC）"（☞ P.47）

マニュアル設定メニュー

撮影の設定を手動で設定できます。

メモ：

- マニュアル撮影時のみ表示されます。

設定	内容
シーンセレクト	状況に合わせた撮影ができます。 "シーンを選んで撮影する" (☞ P.34)
フォーカス	手動でピントを合わせます。 "手動でピントを合わせる" (☞ P.35)
フォーカスアシスト	ピントが合っている被写体の輪郭に色を付けて、ピントを合わせやすくします。 "フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ P.35)
明るさ補正	画面全体の明るさを補正します。 "明るさを補正する" (☞ P.36)
シャッタースピード	シャッタースピードを調節できます。 "シャッタースピードを設定する" (☞ P.36)
ホワイトバランス	光源に合わせて、色合いを調節します。 "ホワイトバランスを設定する" (☞ P.37)
逆光補正	逆光で被写体が暗くなるのを補正します。 "逆光補正を設定する" (☞ P.37)
測光エリア	明るさの基準を測るエリアを設定します。 "明るさの基準を測るエリアを設定する" (☞ P.38)
エフェクト	白黒画像やセピア色などの効果を付けて撮影します。 "エフェクトをかけて撮影する" (☞ P.38)
テレマクロ	ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。 "接写で撮影する" (☞ P.39)

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
操作方法はこちら
"シーンを選んで撮影する" (☞ P.34)

フォーカス

オートまたはマニュアル(手動)でピントを合わせることができます。
操作方法はこちら
"手動でピントを合わせる" (☞ P.35)

フォーカスアシスト

ピントが合っている被写体の輪郭に色を付けて、ピントを合わせやすくします。
操作方法はこちら
"フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ P.35)

明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。
操作方法はこちら
"明るさを補正する" (☞ P.36)

シャッタースピード

シャッタースピードを調節できます。
操作方法はこちら
"シャッタースピードを設定する" (☞ P.36)

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節します。
操作方法はこちら
"ホワイトバランスを設定する" (☞ P.37)

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。
操作方法はこちら
"逆光補正を設定する" (☞ P.37)

測光エリア

明るさの基準を測るエリアを設定します。
操作方法はこちら
"明るさの基準を測るエリアを設定する" (☞ P.38)

エフェクト

白黒画像やセピア色などの効果を付けて撮影します。
操作方法はこちら
"エフェクトをかけて撮影する" (☞ P.38)

テレマクロ

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。
操作方法はこちら
"接写で撮影する" (☞ P.39)

再生メニュー(動画)

動画の削除や検索ができます。

設定	内容
削除	不要な動画を削除します。 "一つずつ削除する" (☞ P.62) "選んで削除する" (☞ P.62) "すべて削除する" (☞ P.63)
ピクチャータイトル	撮影日と用意されたタイトル画面を選んで付けるだけで、プレイリストを簡単に作れます。 "タイトル付きのプレイリストを作る" (☞ P.80)
検索	グループ、撮影日、イベントのいずれかで、一覧表示する動画を絞り込みます。 "グループ分けから探す" (☞ P.55) "撮影日から探す" (☞ P.55) "イベントと撮影日から探す" (☞ P.56)
プレイリスト再生	作成したプレイリストを再生します。 "プレイリストを再生する" (☞ P.59)
プレイリスト編集	プレイリストを作成または編集します。 "映像を選んでプレイリストを作る" (☞ P.74) "グループを選んでプレイリストを作る" (☞ P.75) "撮影日を選んでプレイリストを作る" (☞ P.76) "イベントを選んでプレイリストを作る" (☞ P.77) "プレイリストを編集する" (☞ P.78) "プレイリストを削除する" (☞ P.79) "プレイリストにタイトル画面を付ける" (☞ P.79)
特殊ファイル再生	管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。 "管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ P.51)
編集	● コピー 別のメディアにコピーします。 "すべてコピーする" (☞ P.81) "選んでコピーする" (☞ P.82) ● ムーブ 別のメディアに移動します。 "すべて移動する" (☞ P.83) "選んで移動する" (☞ P.84) ● プロテクト／解除 誤消去防止のプロテクトを付けます。 "一つずつ保護する" (☞ P.64) "選んで保護する" (☞ P.64) "すべて保護する" (☞ P.65) "すべて解除する" (☞ P.66) ● 分割 "動画を二つに分割する" (☞ P.69) ● トリミング 動画の必要な部分だけを切り出してコピーし、新しい動画として保存できます。 "動画を必要な部分だけにする" (☞ P.71) ● イベント変更 一度記録したイベントを変更します。 "一つずつイベント変更する" (☞ P.66) "まとめてイベント変更する" (☞ P.67)
シームレス撮影管理	動画撮影メニューの "シームレス撮影"を設定して撮影した別々のメディアに分かれて記録された動画を 1 つの動画に結合します。 "シームレス撮影で記録された動画を結合する" (☞ P.70)
ワイプ／フェーダー	再生中の動画と動画の切れ目に効果を付けられます。 "動画のつなぎ目に効果を付ける" (☞ P.52)
画面表示	再生中にアイコンなどの画面表示を表示するかどうかを設定します。 "画面表示" (☞ P.118)

削除

不要な動画を削除します。
操作方法はこちら
"一つずつ削除する" (☞ P.62)
"選んで削除する" (☞ P.62)
"すべて削除する" (☞ P.63)

ピクチャータイトル

撮影日と用意されたタイトル画面を選んで付けるだけで、プレイリストを簡単に作れます。
操作方法はこちら
"タイトル付きのプレイリストを作る" (☞ P.80)

検索

グループ、撮影日、イベントのいずれかで、一覧表示する動画を絞り込みます。
操作方法はこちら
"グループ分けから探す" (☞ P.55)
"撮影日から探す" (☞ P.55)
"イベントと撮影日から探す" (☞ P.56)

プレイリスト再生

作成したプレイリストを再生します。
操作方法はこちら
"プレイリストを再生する" (☞ P.59)

プレイリスト編集

お好みの動画だけを並べた一覧をプレイリストといいます。
プレイリストを作成しておくと、お気に入りの動画だけを好きな順番に並べて再生できます。
動画ファイルをプレイリストに登録しても、元の動画ファイルはそのまま残ります。
操作方法はこちら
"映像を選んでプレイリストを作る" (☞ P.74)
"グループを選んでプレイリストを作る" (☞ P.75)
"撮影日を選んでプレイリストを作る" (☞ P.76)
"イベントを選んでプレイリストを作る" (☞ P.77)
"プレイリストを編集する" (☞ P.78)
"プレイリストを削除する" (☞ P.79)
"プレイリストにタイトル画面を付ける" (☞ P.79)

特殊ファイル再生

管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。
操作方法はこちら
"管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ P.51)

編集

動画をコピーしたり、保護したりできます。

設定	内容
コピー	別のメディアにコピーします。 "すべてコピーする" (☞ P.81) "選んでコピーする" (☞ P.82)
ムーブ	別のメディアに移動します。 "すべて移動する" (☞ P.83) "選んで移動する" (☞ P.84)
プロテクト／解除	誤消去防止のプロテクトを付けます。 "一つずつ保護する" (☞ P.64) "選んで保護する" (☞ P.64) "すべて保護する" (☞ P.65) "すべて解除する" (☞ P.66)
分割	動画を任意の場所で、前半と後半の２つに分ける。 "動画を二つに分割する" (☞ P.69)
トリミング	動画の必要な部分だけを切り出してコピーし、新しい動画として保存できます。 "動画を必要な部分だけにする" (☞ P.71)
イベント変更	一度記録したイベントを変更します。 "一つずつイベント変更する" (☞ P.66) "まとめてイベント変更する" (☞ P.67)

コピー

別のメディアにコピーします。
操作方法はこちら
"すべてコピーする" (☞ P.81)
"選んでコピーする" (☞ P.82)

ムーブ

別のメディアに移動します。
操作方法はこちら
"すべて移動する" (☞ P.83)
"選んで移動する" (☞ P.84)

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。
操作方法はこちら
"一つずつ保護する" (☞ P.64)
"選んで保護する" (☞ P.64)
"すべて保護する" (☞ P.65)
"すべて解除する" (☞ P.66)

分割

動画を任意の場所で、前半と後半の２つに分ける。
操作方法はこちら
"動画を二つに分割する" (☞ P.69)

トリミング

動画の必要な部分だけを切り出してコピーし、新しい動画として保存できます。
操作方法はこちら
"動画を必要な部分だけにする" (☞ P.71)

イベント変更

一度記録したイベントを変更します。
操作方法はこちら
"一つずつイベント変更する" (☞ P.66)
"まとめてイベント変更する" (☞ P.67)

シームレス撮影管理

動画撮影メニューの "シームレス撮影"を設定して撮影した別々のメディアに分かれて記録された動画を 1 つの動画に結合します。
操作方法はこちら
"シームレス撮影で記録された動画を結合する" (☞ P.70)

ワイプ／フェーダー

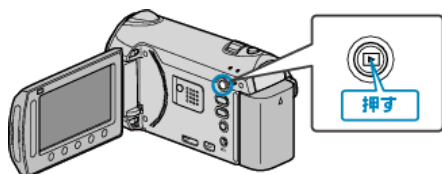
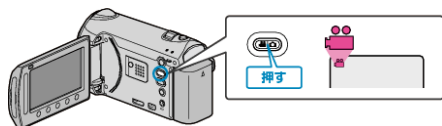
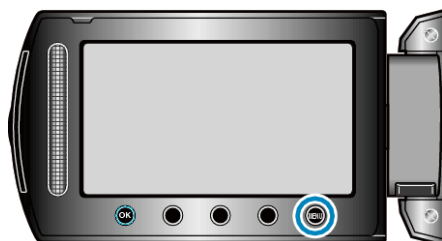
再生中の動画と動画の切れ目に効果を付けられます。
操作方法はこちら
"動画のつなぎ目に効果を付ける" (☞ P.52)

画面表示

再生中にアイコンなどの画面表示を表示するかどうかを設定します。

設定	内容
切	すべて表示しません。
すべて表示	すべて表示します。
日付のみ表示	日時のみ表示します。

項目を表示するには

1 再生モードにする

2 動画を選ぶ

3 MENU をタッチして、メニューを表示する

4 "画面表示"を選び、OK をタッチする

再生メニュー(静止画)

静止画の削除や検索ができます。

設定	内容
削除	不要な静止画を削除します。 "一つずつ削除する" (☞ P.62) "選んで削除する" (☞ P.62) "すべて削除する" (☞ P.63)
日付検索	撮影日から映像を検索して再生できます。 "撮影日から探す" (☞ P.55)
編集	● コピー 別のメディアにコピーします。 "すべてコピーする" (☞ P.81) "選んでコピーする" (☞ P.82) ● ムーブ 別のメディアに移動します。 "すべて移動する" (☞ P.83) "選んで移動する" (☞ P.84) ● プロテクト／解除 誤消去防止のプロテクトを付けます。 "一つずつ保護する" (☞ P.64) "選んで保護する" (☞ P.64) "すべて保護する" (☞ P.65) "すべて解除する" (☞ P.66)
スライドショー効果	スライドショー再生の画面切替に効果を付けることができます。 "スライドショー効果" (☞ P.120)
画面表示	再生中にアイコンなどの画面表示を表示するかどうかを設定します。 "画面表示" (☞ P.120)
静止画転送	BIP/OPP 対応機器と Bluetooth 接続しているときは、撮影した静止画を対応機器に転送できます。 "静止画を Bluetooth 対応機器に転送する" (☞ P.24)

削除

不要な静止画を削除します。
操作方法はこちら
"一つずつ削除する" (☞ P.62)
"選んで削除する" (☞ P.62)
"すべて削除する" (☞ P.63)

日付検索

撮影日から映像を検索して再生できます。
操作方法はこちら
"撮影日から探す" (☞ P.55)

編集

静止画をコピーしたり、保護したりできます。

設定	詳細
コピー	別のメディアにコピーします。 "すべてコピーする" (☞ P.81) "選んでコピーする" (☞ P.82)
ムーブ	別のメディアに移動します。 "すべて移動する" (☞ P.83) "選んで移動する" (☞ P.84)
プロテクト／解除	誤消去防止のプロテクトを付けます。 "一つずつ保護する" (☞ P.64) "選んで保護する" (☞ P.64) "すべて保護する" (☞ P.65) "すべて解除する" (☞ P.66)

コピー

別のメディアにコピーします。
操作方法はこちら
"すべてコピーする" (☞ P.81)
"選んでコピーする" (☞ P.82)

ムーブ

別のメディアに移動します。
操作方法はこちら
"すべて移動する" (☞ P.83)
"選んで移動する" (☞ P.84)

プロテクト/解除

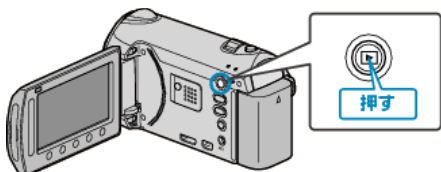
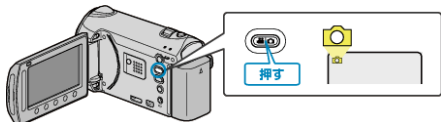
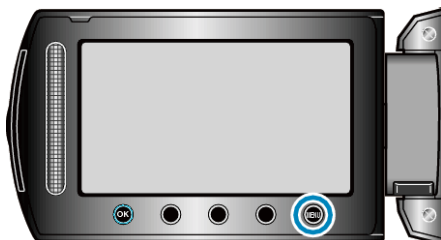
誤消去防止のプロテクトを付けます。
操作方法はこちら
"一つずつ保護する" (☞ P.64)
"選んで保護する" (☞ P.64)
"すべて保護する" (☞ P.65)
"すべて解除する" (☞ P.66)

スライドショー効果

スライドショー再生の画面切替に効果を付けることができます。

設定	内容
スライド	右端から左端へスライドしながら、画面が切り替わります。
ブラインド	縦じまに分割されながら、画面が切り替わります。
チェッカーボード	チェック柄に変化しながら、画面が切り替わります。
ランダム	スライド、ブラインド、チェッカーボードの中からランダムで効果を付けながら、画面が切り替わります。

項目を表示するには

1 再生モードにする

2 静止画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

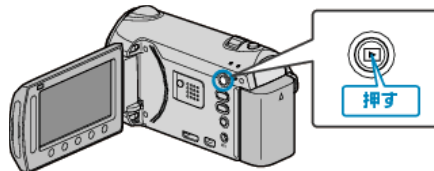
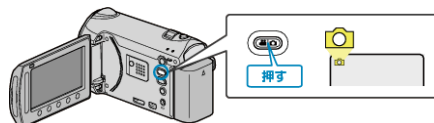
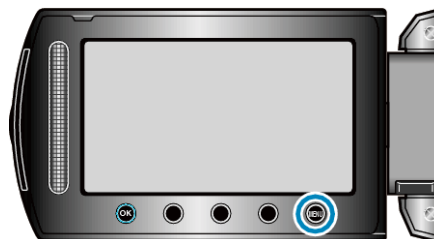
4 "スライドショー効果"を選び、Ⓚ をタッチする

画面表示

再生中にアイコンなどの画面表示を表示するかどうかを設定します。

設定	内容
切	すべて表示しません。
すべて表示	すべて表示します。
日付のみ表示	日時のみ表示します。

項目を表示するには

1 再生モードにする

2 静止画を選ぶ

3 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

4 "画面表示"を選び、Ⓚ をタッチする

静止画転送

BIP/OPP 対応機器と Bluetooth 接続しているときは、撮影した静止画を対応機器に転送できます。
操作方法はこちら
"静止画を Bluetooth 対応機器に転送する" (☞ P.24)

表示設定メニュー

液晶モニターの明るさなど、表示に関した設定ができます。

設定	内容
ＬＡＮＧ．／言語	表示するメニューなどの言語を変更できます。 "表示言語を変更する"（☞ P.17）
日付表示配列	年、月、日の並び順と時間表示（24H/12H）を設定します。 "日付表示配列"（☞ P.121）
モニター明るさ調整	画面の明るさを調整します。 "モニター明るさ調整"（☞ P.121）
モニターバックライト	モニターのバックライトを設定します。 "モニターバックライト"（☞ P.122）
アシストカラー	「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定します。 "アシストカラー"（☞ P.122）

ＬＡＮＧ．／言語

表示するメニューなどの言語を変更できます。
操作方法はこちら
"表示言語を変更する"（☞ P.17）

日付表示配列

年、月、日の並び順と時間表示（24H/12H）に設定します。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "表示設定"を選び、OK をタッチする

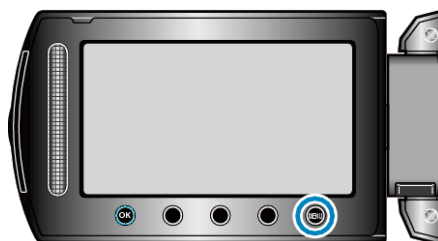
3 "日付表示配列"を選び、OK をタッチする

4 日時表示の並び順と時間表示を設定する

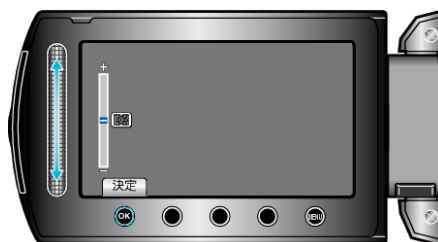
- 並び順は、"年. 月. 日"、"月. 日. 年"、"日. 月. 年"のどれかに設定します。
- 時間表示は、"12h"、"24h"のどちらかに設定します。
- 操作ボタンの「←」/「→」をタッチすると、カーソルを移動できます。
- 設定が終わったら、OK をタッチしてください。

モニター明るさ調整

画面の明るさを調整します。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "表示設定"を選び、OK をタッチする

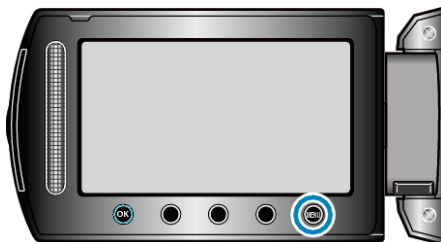
3 "モニター明るさ調整"を選び、OK をタッチする

4 画面の明るさを調整する

- 上にスライドすると、明るくなります。
- 下にスライドすると、暗くなります。
- 設定が終わったら、OK をタッチしてください。

モニターバックライト

モニターのバックライトを設定します。

設定	内容
明るい	画面を常に明るくしたいときに設定します。
標準	標準の明るさ設定です。 バッテリーの消費を抑えたいときに設定します。
オート	屋外では "明るい"に、屋内では "標準"に、自動的に切り替わります。

項目を表示するには

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "表示設定"を選び、Ⓞ をタッチする

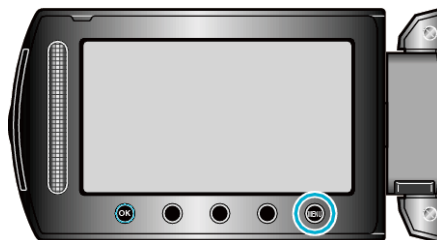
3 "モニターバックライト"を選び、Ⓞ をタッチする

アシストカラー

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定します。

設定	内容
赤	輪郭線の色を赤に設定します。
緑	輪郭線の色を緑に設定します。
青	輪郭線の色を青に設定します。

項目を表示するには

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "表示設定"を選び、Ⓞ をタッチする

3 "アシストカラー"を選び、Ⓞ をタッチする

時計合わせ

現在の時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。
操作方法はこちら
"時計を合わせる" (☞ P.16)
"時差のある地域で使うとき" (☞ P.26)
"旅行先がサマータイムのとき" (☞ P.27)

本体設定メニュー

操作音など、本体に関した設定ができます。

設定	内容
連写スピード	連写撮影するときの撮影間隔のスピードを設定します。 "連写スピード" (☞ P.124)
デモモード	本機の機能をダイジェストでご覧になることができます。 "デモモード" (☞ P.124)
オートパワーオフ	電源の切り忘れ防止のために設定します。 "オートパワーオフ" (☞ P.125)
操作音	操作音を鳴らすかどうか設定します。 "操作音" (☞ P.125)
録画ボタン	画面に REC ボタンを表示し、START/STOP ボタンの代わりに使うことができます。 "録画ボタン" (☞ P.126)
高速起動	高速起動を使えば、画面を閉じてから 5 分間、消費電力が撮影時の約 1/3 になります。 "高速起動" (☞ P.126)
リモコン	付属のリモコンを使って本機を操作するかどうか設定できます。 "リモコン" (☞ P.127)
自動ファイナライズ	ディスク作成後、自動的にファイナライズするかどうかを設定します。 "自動ファイナライズ" (☞ P.127)
ファームウェア更新	本機の機能を最新版に更新できます。 "ファームウェア更新" (☞ P.128)
工場出荷	すべての設定をお買い上げ時に戻します。 "工場出荷" (☞ P.128)

連写スピード

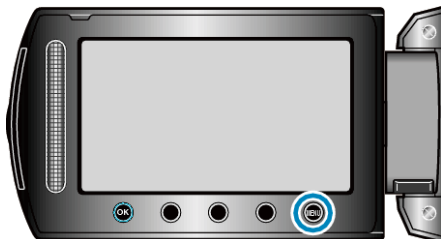
連写撮影するときの撮影間隔のスピードを設定します。

設定	内容
高速	● 静止画撮影のとき、約 0.4 秒間に最大 6 枚の静止画を連写できます。 ● 動画撮影のとき、約 0.4 秒間に最大 11 枚の静止画を連写できます。
中速	● 静止画撮影のとき、約 0.9 秒間に最大 6 枚の静止画を連写できます。 ● 動画撮影のとき、約 1.1 秒間に最大 11 枚の静止画を連写できます。
低速	記録メディアが一杯になるまで連写できます。

メモ：

- "低速"では、連写し続けると速度が低下します。
- 動画の撮影中に連写すると、一時的に "低速"になります。

項目を表示するには

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、Ⓞ をタッチする

3 "連写スピード"を選び、Ⓞ をタッチする

デモモード

本機の機能などを紹介するデモモードを再生します。

設定	内容
切	設定しません。
入	本機の機能のデモを再生できます。

デモモードを表示するには

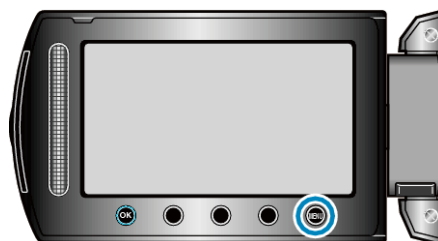
① バッテリー、SD カードを取りはずす
② AC アダプターを接続する
③ 液晶モニターを開いて電源を入れる

- 3 分経つと、デモが再生されます。
- 再生をやめるときは、Ⓞ をタッチします。

メモ：

- 再生モードでは表示されません。

項目を表示するには

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、Ⓞ をタッチする

3 "デモモード"を選び、Ⓞ をタッチする

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のために設定します。

設定	内容
切	5 分放置しても電源が切れません。
入	5 分放置すると、自動で電源が切れます。

メモ：

- バッテリー使用時は、5 分間放置すると自動に電源を切ります。
- AC アダプター使用時は、待機状態になります。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、OK をタッチする

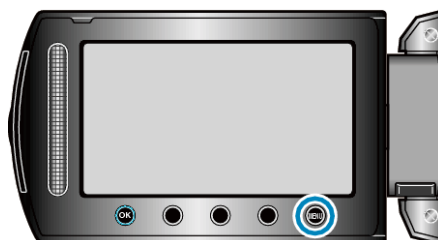
3 "オートパワーオフ"を選び、OK をタッチする

操作音

操作音を鳴らすかどうか設定します。

設定	内容
切	操作音を消します。
入	操作音を鳴らします。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、OK をタッチする

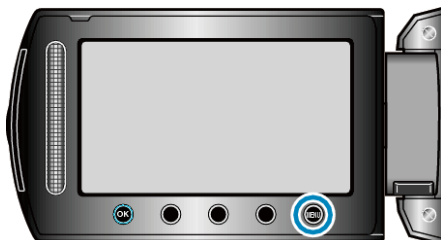
3 "操作音"を選び、OK をタッチする

録画ボタン

画面に「録画」ボタンを表示し、START/STOP ボタンと同様の操作をすることができるようになります。

設定	内容
切	表示しません。
入	画面に REC ボタンを表示します。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、OK をタッチする

3 "録画ボタン"を選び、OK をタッチする

高速起動

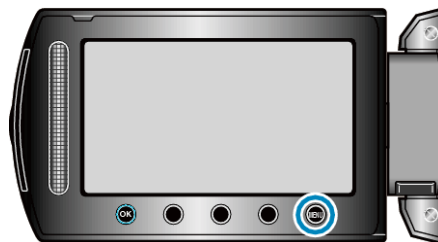
高速起動を使えば、液晶モニターを開いたときすぐに撮影できます。

設定	詳細
切	高速起動しません。
入	5 分以内に再び画面を開くと、すぐに電源が入ります。

メモ：

- 画面を閉じてから 5 分間、消費電力が撮影時の約 1/3 になります。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、OK をタッチする

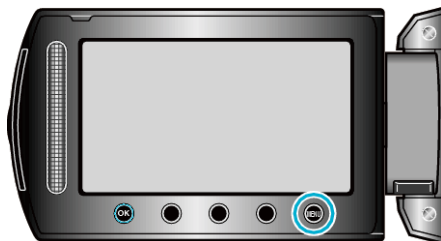
3 "高速起動"を選び、OK をタッチする

リモコン

付属のリモコンを使って本機を操作するかどうか設定できます。

設定	詳細
切	リモコンでの操作を受け付けません。
入	リモコンで操作できます。

項目を表示するには

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、Ⓞ をタッチする

3 "リモコン"を選び、Ⓞ をタッチする

自動ファイナライズ

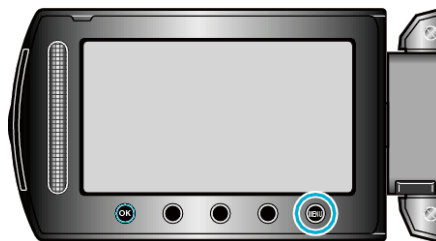
ディスク作成後、自動的にファイナライズするかどうかを設定します。

設定	内容
切	本機以外では再生できなくなりますが、作成するディスクに追記ができます。
入	作成するディスクを、本機以外の対応機器で再生できるように自動でファイナライズします。

メモ：

- DVD-Video 作成時は設定に関係なく、自動的にファイナライズされます。

項目を表示するには

1 Ⓜ をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、Ⓞ をタッチする

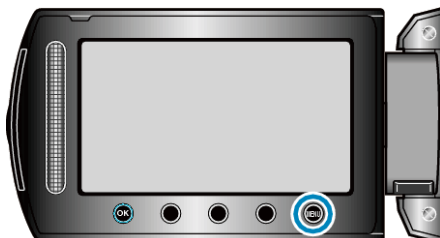
3 "自動ファイナライズ"を選び、Ⓞ をタッチする

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。
詳しくは、ビクターのホームページをご覧ください。
(本体ソフトウェアをアップデートするためのプログラムが提供されるまで、ホームページに説明はありません)
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/download/index.html

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時に戻します。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "本体設定"を選び、OK をタッチする

3 "工場出荷"を選び、OK をタッチする

4 "はい"を選び、OK をタッチする

- すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

接続設定メニュー

テレビや DVD レコーダーと接続するときの設定ができます。

設定	内容
Bluetooth	Bluetooth 対応のヘッドセットやスマートフォンなどの機器を本機に登録（ペアリング）して、約 10 m 以内の範囲で無線接続できます。 "Bluetooth 対応機器を使う" （☞ P.20） "登録した Bluetooth 対応機器と接続する" (☞ P.23）
Bluetooth マイク音声	Bluetooth 対応のヘッドセットを接続したときに記録する音声を設定します。 "Bluetooth マイク音声" （☞ P.130）
テレビ表示	テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。 "テレビ表示" (☞ P.130）
ビデオ出力	接続するテレビに合わせて画面比（16:9 または 4:3）に設定します。 "ビデオ出力" (☞ P.131）
コンポーネント出力	テレビの D 端子に接続するときに、D 端子の種類を設定します。 "コンポーネント出力" (☞ P.131）
ＨＤＭＩ出力	HDMI 端子を接続したときに設定します。 "ＨＤＭＩ出力" （☞ P.132）
ＨＤＭＩ機器制御	HDMI CEC 規格に対応するテレビと接続して、電源のオン･オフを連動させるときに設定します。 "ＨＤＭＩ機器制御" （☞ P.132）

Bluetooth

Bluetooth 対応のヘッドセットやスマートフォンなどの機器を本機に登録（ペアリング）して、約 10 m 以内の範囲で無線接続できます。
操作方法はこちら
"Bluetooth 対応機器を使う"（☞ P.20）
"登録した Bluetooth 対応機器と接続する"（☞ P.23）

Bluetooth マイク音声

Bluetooth 対応のヘッドセットを接続したときに記録する音声を設定します。

設定	内容
切	本機の内蔵マイクからの音声のみ記録します。
入	Bluetooth 接続したヘッドセットのマイクと本機の内蔵マイクの音声をミックスして記録します。

ご注意：

- ヘッドセットのマイクを "入"にすると音声にエコーがかかったように聞こえる場合があります。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "接続設定"を選び、OK をタッチする

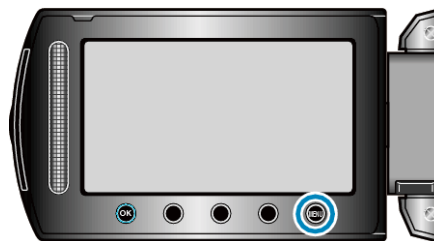
3 "Bluetooth マイク音声"を選び、OK をタッチする

テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時を表示できます。

設定	内容
切	テレビにアイコンや日時を表示しません。
入	テレビにアイコンや日時を表示します。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "接続設定"を選び、OK をタッチする

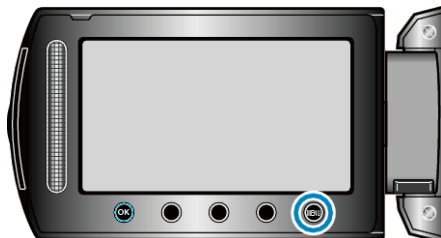
3 "テレビ表示"を選び、OK をタッチする

ビデオ出力

接続するテレビに合わせて画面比(16:9 または 4:3)に設定します。

設定	内容
16:9	ワイドテレビ(16:9)に接続するときに設定します。
4:3	従来型のテレビ(4:3)に接続するときに設定します。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "接続設定"を選び、OK をタッチする

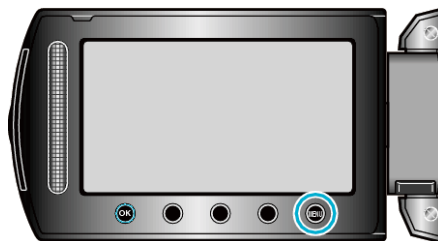
3 "ビデオ出力"を選び、OK をタッチする

コンポーネント出力

テレビの D 端子に接続するときに、D 端子の種類を設定します。

設定	内容
D1	テレビの D 端子が D1 または D2 のとき
D3	テレビの D 端子が D3 または D4 のとき

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "接続設定"を選び、OK をタッチする

3 "コンポーネント出力"を選び、OK をタッチする

ＨＤＭＩ出力

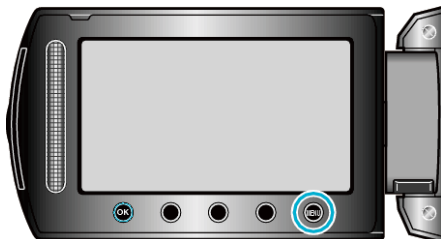
HDMI 端子を接続したときに設定します。

設定	内容
オート１	通常は "オート１"に設定します。
オート２	"オート１"で正常に表示されないとき設定します。
４８０ｐ	"オート２"で正常に表示されないとき設定します。

メモ:

- 1080p 対応テレビと接続する場合、再生モードのときに本機の画面の上端に「1080P」と表示します。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "接続設定"を選び、OK をタッチする

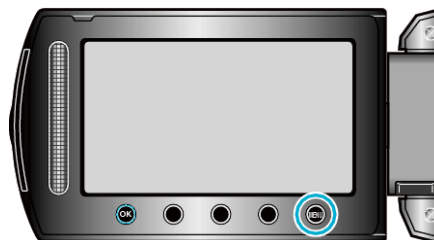
3 "ＨＤＭＩ出力"を選び、OK をタッチする

ＨＤＭＩ機器制御

HDMI CEC 規格に対応するテレビと接続して、電源のオン·オフを連動させるときに設定します。

設定	内容
切	連動しません。
入	連動します。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "接続設定"を選び、OK をタッチする

3 "ＨＤＭＩ機器制御"を選び、OK をタッチする

メディア設定メニュー

記録メディアに関する設定ができます。

設定	内容
動画メディア設定	動画の記録/再生するメディアを設定します。 "動画メディア設定" (☞ P.133)
静止画メディア設定	静止画の記録/再生するメディアを設定します。 "静止画メディア設定" (☞ P.133)
メモリーフォーマット	内蔵メモリーのファイルすべてを消去します。 "メモリーフォーマット" (☞ P.134)
ＳＤフォーマット	SD カードのすべてのファイルを消去します。 "SD フォーマット" (☞ P.134)
メモリーデータ消去	本機を破棄もしくは譲渡するときに実行します。 "メモリーデータ消去" (☞ P.135)

動画メディア設定

動画の記録/再生するメディアを設定します。

設定	内容
内蔵メモリー	動画を本機の内蔵メモリーに保存します。
ＳＤカード	動画を SD カードに保存します。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

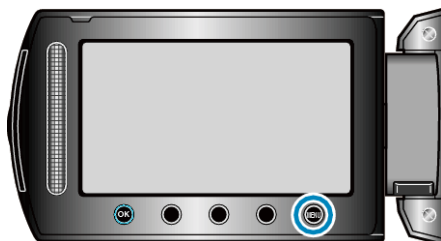
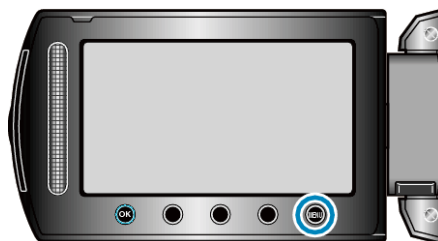
2 "メディア設定"を選び、OK をタッチする

3 "動画メディア設定"を選び、OK をタッチする

静止画メディア設定

静止画の記録/再生するメディアを設定します。

設定	内容
内蔵メモリー	静止画を本機の内蔵メモリーに保存します。
ＳＤカード	静止画を SD カードに保存します。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "メディア設定"を選び、OK をタッチする

3 "静止画メディア設定"を選び、OK をタッチする

メモリーフォーマット

内蔵メモリーのすべてのファイルを消去します。

設定	詳細
ファイル	内蔵メモリーのすべてのファイルを消去します。
ファイル+管理番号	内蔵メモリーのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号とファイル番号を「1」から始めます。

ご注意:

- フォーマットすると、内蔵メモリー内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、内蔵メモリー内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。
- フォーマットに時間がかかることがありますので、十分に充電したバッテリーをお使いになるか、AC アダプターを接続してください。

項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "メディア設定"を選び、OK をタッチする

3 "メモリーフォーマット"を選び、OK をタッチする

SD フォーマット

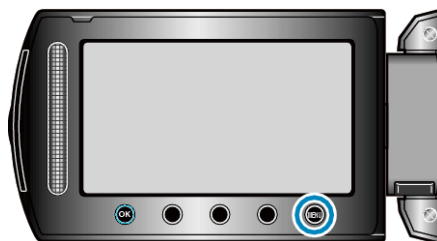
SD カードのすべてのファイルを消去します。

設定	内容
ファイル	SD カードのすべてのファイルを消去します。
ファイル+管理番号	SD カードのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号とファイル番号を「1」から始めます。

ご注意:

- SD カードが入っていないときは選べません。
- フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。
- フォーマットに時間がかかることがありますので、十分に充電したバッテリーをお使いになるか、AC アダプターを接続してください。

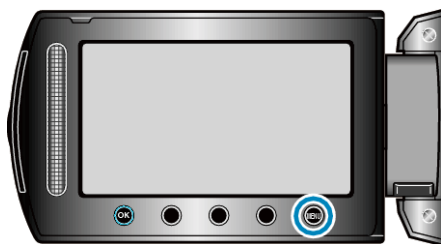
項目を表示するには

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "メディア設定"を選び、OK をタッチする

3 "SDフォーマット"を選び、OK をタッチする

メモリーデータ消去

本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

1 MENU をタッチして、メニューを表示する

2 "メディア設定"を選び、OK をタッチする

3 "メモリーデータ消去"を選び、OK をタッチする

4 "はい"を選び、OK をタッチする

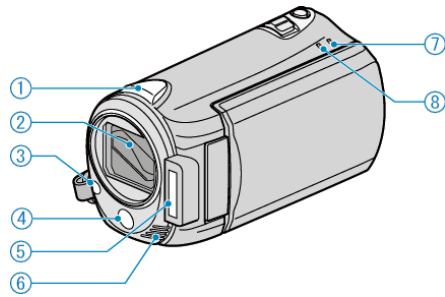
- データの消去が終わったら、OK をタッチしてください。

ご注意：

- データ消去に時間がかかることがありますので、AC アダプターを接続してください。

メモ：

- 繰り返すことで、データの復元をさらに困難にできます。

本体前面

1 Bluetooth アンテナ

"Bluetooth 対応機器を使う"（☞ P.20）

2 レンズ/レンズカバー

- レンズやレンズカバーは、さわらないでください。
- 動画の撮影中に、レンズを指などでふさがないようにしてください。

3 ライト

- 暗い場所で撮影するときは、ライトを点灯しましょう。

"ライト"（☞ P.107）

4 リモコン受光部

- リモコンを使うときに、リモコン受光部を指などでふさがないようにしてください。

"リモコンの使いかた"（☞ P.19）

5 フラッシュ

"フラッシュ"（☞ P.112）

6 ステレオマイク

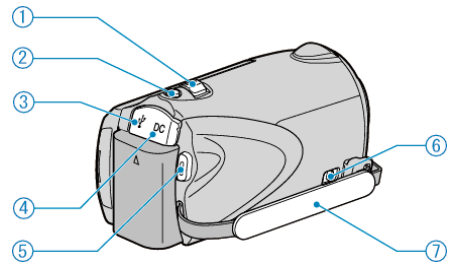
- 動画の撮影中に、指などでふさがないようにしてください。

7 POWER/CHARGE（電源/充電）ランプ

- 点灯：電源「入」
- 点滅：充電中
- 消灯：充電完了

8 ACCESS(アクセス)ランプ

- 点灯/点滅中は、ファイルの記録中や再生中です。
  バッテリーや AC アダプター、SD カードは取りはずさないでください。

本体後面

1 ズーム/音量レバー

- 撮影中：撮影の範囲を調節できます。
- 再生中(一覧表示)：一覧表示する画像の数を切り替えます。
- 動画再生中：音量を調節します。

2 SNAPSHOT（静止画撮影）ボタン

- 静止画を撮影します。

3 USB 端子

- USB ケーブルを使ってパソコンとつなげます。

4 DC 端子

- AC アダプターとつないで充電をします。

5 START/STOP（動画録画）ボタン

- 動画撮影を開始/停止します。

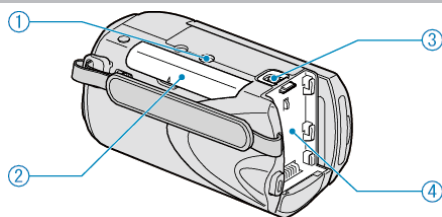
6 グリップベルト取りはずしレバー

- グリップベルトを外してハンドストラップとして使うことができます。

7 グリップベルト

- グリップベルトに手を通して、しっかりと固定します。

"グリップベルトを調節する"（☞ P.15）

本体裏面

1 三脚取り付け穴

"三脚の取り付けかた" (☞ P.18)

2 SD カードスロット

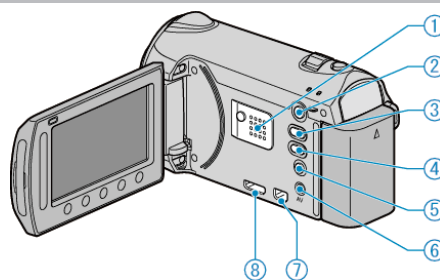
- 別売の SD カードを入れてください。

"SD カードを入れる" (☞ P.15)

3 バッテリー取りはずしレバー

"バッテリーを充電する" (☞ P.14)

4 バッテリー取り付け部

本体内側

1 スピーカー

- 動画の再生中に音が出ます。

2 ▶（再生）ボタン

- 撮影モードと再生モードを切り換えます。

3 🎥 / 📷（動画/静止画）ボタン

- 動画と静止画を切り換えます。

4 UPLOAD/EXPORT（アップロード/iTunes 転送）ボタン

- 撮影：YouTube や iTunes 用の動画を撮ります。
- 再生：YouTube や iTunes 用の動画に変更します。

5 ⏻（電源/情報）ボタン

- 撮影：残量時間（動画のみ）やバッテリー残量を表示します。
- 再生：撮影日などのファイル情報を表示します。
- 長押しすると、液晶モニターを開いたまま、電源を入/切できます。

6 AV 端子

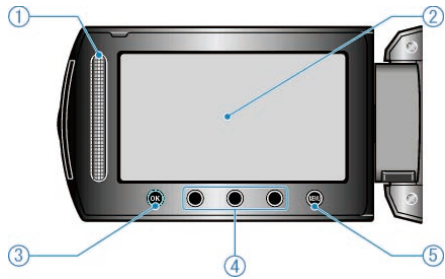
- テレビなどと接続するときに使用します。

7 D 端子

- テレビと接続するときに使用します。

8 HDMI 端子

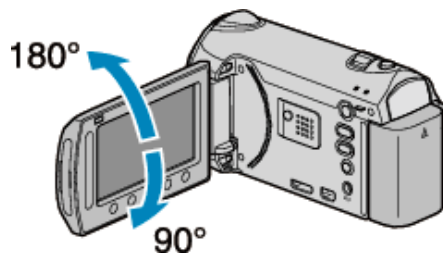
- HDMI テレビと接続するときに使用します。

液晶モニター

1 スライダー
LASER TOUCH OPERATION
(レーザータッチオペレーション)

- メニューや一覧表示で、項目や画像を選択します。

"操作ボタンの使いかた" (☞ P.17)

2 液晶モニター

- 開閉すると、電源を入/切できます。
- 自分を撮るときは、回転させて使用します。

3 OK ボタン

- 選択した項目や画像を決定します。

4 操作ボタン

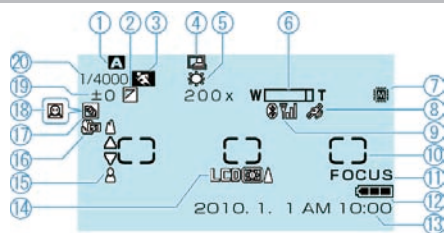
- 操作ボタンの役割が表示されることがあります。

5 MENU（メニュー）ボタン

- 設定メニューを表示します。

ご注意：

- 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
  傷がついたり、割れる場合があります。

撮影共通

1 撮影モード
"動画をオートで撮影する" (☞ P.28)
"マニュアルで撮影する" (☞ P.33)

2 エフェクト
"エフェクトをかけて撮影する" (☞ P.38)

3 シーンセレクト
"シーンを選んで撮影する" (☞ P.34)

4 フレームイン REC
"動きを感知し自動的に撮影する(フレームイン REC)" (☞ P.47)

5 ホワイトバランス
"ホワイトバランスを設定する" (☞ P.37)

6 ズーム倍率
"ズーム倍率" (☞ P.108)

7 メディア
"動画メディア設定" (☞ P.133)
"静止画メディア設定" (☞ P.133)

8 GPS 通信状態
"登録した Bluetooth 対応機器と接続する" (☞ P.23)

9 電波受信状態
"登録した Bluetooth 対応機器と接続する" (☞ P.23)

10 測光エリア "スポット"
"明るさの基準を測るエリアを設定する" (☞ P.38)

11 フォーカスアシスト
"フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ P.35)

12 バッテリー残量
"残量時間/バッテリー残量" (☞ P.48)

13 日付と時刻
"時計を合わせる" (☞ P.16)

14 モニターバックライト
"モニターバックライト" (☞ P.122)

15 フォーカス
"手動でピントを合わせる" (☞ P.35)

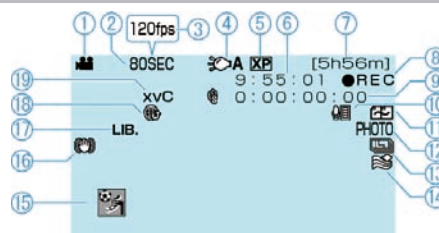
16 テレマクロ
"接写で撮影する" (☞ P.39)

17 逆光補正
"逆光補正を設定する" (☞ P.37)

18 顔優先ＡＥ／ＡＦ
"人物をきれいに撮影する(顔検出 AE/AF)" (☞ P.39)

19 明るさ補正
"明るさを補正する" (☞ P.36)

20 シャッタースピード
"シャッタースピードを設定する" (☞ P.36)

動画撮影

1 動画モード
"🎥 / 📷（動画/静止画）ボタン" （☞ P.137）

2 タイムラプス撮影
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ P.45)

3 高速撮影
"スローモーションを撮影する(高速撮影)" (☞ P.44)

4 ライト
"ライト" (☞ P.107)

5 動画画質
"動画画質" (☞ P.107)

6 シーンカウンタ

7 残量時間表示

8 REC 中（撮影中）
"動画をオートで撮影する" (☞ P.28)

9 タイムラプス撮影カウンタ
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ P.45)

10 Bluetooth マイク音量
"Bluetooth マイク音声" （☞ P.130）

11 シームレス撮影
"シームレス撮影" (☞ P.109)

12 静止画撮影
"動画撮影中に静止画を撮影する" (☞ P.30)

13 連写
"シャッターモード" (☞ P.109)
"連写スピード" (☞ P.124)

14 ウィンドカット
"ウィンドカット" (☞ P.110)

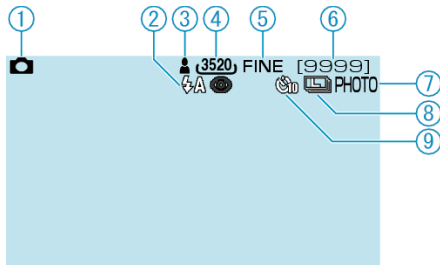
15 イベント撮影
"イベントを登録して撮影する" (☞ P.42)

16 手ぶれ補正
"手ぶれを補正して撮影する" (☞ P.30)

17 EXPORT 撮影
"iTunes 用の動画を撮影する" （☞ P.43）

18 UPLOAD 撮影
"YouTube 用の動画を撮影する" （☞ P.42）

19 x.v.Color
"x.v.Color" （☞ P.110）

静止画撮影

1 静止画モード
" / （動画/静止画）ボタン" （☞ P.137）

2 フラッシュ
"フラッシュ" （☞ P.112）

3 ピント合わせ
"静止画をオートで撮影する" （☞ P.31）

4 静止画サイズ
"静止画サイズ" （☞ P.113）

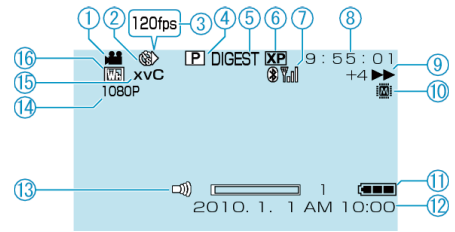
5 静止画画質
"静止画画質" （☞ P.113）

6 残量枚数

7 静止画撮影中

8 連写
"シャッターモード" （☞ P.112）
"連写スピード" （☞ P.124）

9 セルフタイマー
"記念写真を撮影する（セルフタイマー）" （☞ P.40）

動画再生

1 動画モード
" / （動画/静止画）ボタン" （☞ P.137）

2 タイムラプス撮影
"微速度撮影をする（タイムラプス撮影）" （☞ P.45）

3 高速撮影
"スローモーションを撮影する（高速撮影）" （☞ P.44）

4 プレイリスト再生
"プレイリストを再生する" （☞ P.59）

5 ダイジェスト再生
"短時間で動画の内容を確認する" （☞ P.51）

6 動画画質
"動画画質" （☞ P.107）

7 電波受信状態
"登録した Bluetooth 対応機器と接続する" （☞ P.23）

8 シーンカウンタ

9 操作表示
"動画を再生する" （☞ P.50）

10 メディア
"動画メディア設定" （☞ P.133）

11 バッテリー残量
"残量時間/バッテリー残量" （☞ P.48）

12 日付と時刻
"時計を合わせる" （☞ P.16）

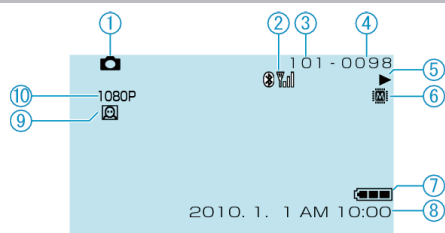
13 スピーカー音量調整

14 1080p 出力
"ＨＤＭＩ出力" （☞ P.132）

15 x.v.Color
"x.v.Color" （☞ P.110）

16 ワイプ／フェーダー
"動画のつなぎ目に効果を付ける" （☞ P.52）

静止画再生

1080P
2010. 1. 1 AM 10:00
101 - 0098

1 静止画モード
"/（動画/静止画）ボタン" （☞ P.137）

2 電波受信状態
"登録した Bluetooth 対応機器と接続する" (☞ P.23)

3 フォルダ番号

4 ファイル番号

5 操作表示
"静止画を再生する" (☞ P.53)

6 メディア
"静止画メディア設定" (☞ P.133)

7 バッテリー残量
"残量時間/バッテリー残量" (☞ P.48)

8 日付と時刻
"時計を合わせる" (☞ P.16)

9 顔検出再生ズーム中
"人物の顔をズームして再生する" (☞ P.54)

10 1080p 出力
"ＨＤＭＩ出力" （☞ P.132）

バッテリー

バッテリー使用時に電源が入らない

バッテリーを充電してください。
"バッテリーを充電する" (☞ P.14)
本体とバッテリーの端子が汚れている場合は、綿棒のようなもので拭取ってください。
ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

充電しても使用時間が短い

繰り返し充電することでバッテリーの性能が劣化します。新しいバッテリーをお買い求めください。
"別売アクセサリー" (☞ P.27)

バッテリーの充電ができない

バッテリーが満充電されていると、ランプは点滅しません。
本体とバッテリーの端子が汚れている場合は、綿棒のようなもので拭取ってください。
純正品以外の AC アダプターを使用すると本機が破損する可能性があります。
純正品の AC アダプターを使用してください。

バッテリー残量が正しく表示されない

AC アダプターを接続すると、バッテリー残量は表示されません。
高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがあります。

撮影

撮影できない

🎥/📷 ボタンを確認してください。
"本体内側" (☞ P.137)
▶(再生)ボタンで撮影モードにしてください。
"本体内側" (☞ P.137)

自動的に撮影が停止した

仕様上、12 時間以上の連続撮影ができませんので、自動的に撮影が停止します。
(撮影の再開には、多少時間がかかる場合があります。)
電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。)

静止画の連写速度が遅い

連写を続けると、連写速度が低下します。
使用する SD カードや撮影条件によって、連写速度が低下します。

自動でピントが合わない

暗いところや明暗差の少ないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスをお使いください。
"手動でピントを合わせる" (☞ P.35)
レンズの表面をクリーニングクロスできれいに拭いてください。
マニュアル撮影メニューでマニュアルフォーカスを解除してください。
"手動でピントを合わせる" (☞ P.35)

ズームができない

静止画の撮影では、デジタルズームは使えません。
微速度撮影中は、ズーム操作ができません。
(また、写真同時撮影、および手ぶれ補正もできません)
デジタルズームをするには、メニューの "ズーム倍率"を "64 倍/デジタル"または "200 倍／デジタル"にしてください。
"ズーム倍率" (☞ P.108)

動きの速いシーンや明るさの変化があるシーンなどで、モザイクノイズが発生する

"動画画質"を "ＵＸＰ"または "ＸＰ"にして撮影してください。
"動画画質" (☞ P.107)

カード

SD カードが入らない

カードの入れる向きを間違えないようにしてください。
"SD カードを入れる" （☞ P.15）

SD カードに保存できない

カードに記録するには、メディアの設定が必要です。
"動画メディア設定" (☞ P.133)
ほかの機器で使っていたカードをはじめて使うときは、メディア設定の "ＳＤフォーマット"でカードをフォーマット（初期化）する必要があります。
"SD フォーマット" （☞ P.134）

再生

音や映像が途切れる

シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。

音が出ない

高速撮影した動画は、音声は記録されていません。
"スローモーションを撮影する（高速撮影）" (☞ P.44)

同じ映像が長く止まって見える

SD カードを交換してください。（SD カードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。）
メディア設定メニューの "ＳＤフォーマット"を実行してください。（データはすべて消えます。）
"SD フォーマット" （☞ P.134）

映像がカクカクした動きに見える

SD カードを交換してください。（SD カードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。）
メディア設定メニューの "ＳＤフォーマット"を実行してください。（データはすべて消えます。）
"SD フォーマット" （☞ P.134）
Everio MediaBrowser で再生のときは、パソコンの性能をご確認ください。
"パソコンの性能（目安）を確かめる" (☞ P.99)

撮影したはずの動画や静止画が 一覧表示されない

グループ表示や日付検索を解除してください。
"目的の映像を探す" (☞ P.55)
メディア設定メニューの "動画メディア設定"や "静止画メディア設定"を変更してください。（別のメディアのファイルは表示されません。）
"動画メディア設定" (☞ P.133)
メニューの "特殊ファイル再生"を選んでください。（管理情報の壊れた動画などを再生できます。）
"管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ P.51)

顔検出再生ズームができない

傾いている顔、横顔、画面に収まっていない顔は、顔検出再生ズームできません。

日付表示が出ない

メニューの "画面表示"を設定してください。
"画面表示" (☞ P.118)
メニューの "テレビ表示"を "入"にしてください。
"テレビ表示" (☞ P.130)

テレビに正常に表示されない

ケーブルを抜き差ししてください。
"HDMI 端子とつないで見る" （☞ P.57）
本機の電源を入れ直してください。
Ｄ端子でつないでいるときは、接続設定メニューの "コンポーネント出力" の設定が接続したテレビと合っているかを確認してください。（お買い上げ時は "Ｄ３"に設定されています）
"コンポーネント出力" (☞ P.131)

テレビに縦長に映る

接続設定メニューの "ビデオ出力"を "４：３"に設定します。
"ビデオ出力" (☞ P.131)
テレビ側で画面を調整してください。

テレビに表示される画面が小さい

接続設定メニューの "ビデオ出力"を "１６：９"に設定します。
"ビデオ出力" (☞ P.131)

タイトル付きの DVD が再生できない

DVD ライター（別売）を本機に接続して再生すると、タイトルが再生されません。

編集/保存

画像を削除できない

保護(プロテクト)されている映像(動画/静止画)は削除できません。プロテクトを解除してから、削除してください。
"映像を保護する" (☞ P.64)

SD カードにコピー/移動できない

SD カードがライトプロテクトされている場合は OFF にしてください。

DVD ライターで DVD が作成できない

USB ケーブルが正しく接続されていません。
"DVD ライターを準備する(CU-VD50 の場合)" (☞ P.85)
"DVD ライターを準備する(CU-VD3 の場合)" (☞ P.86)

バックアップメニューが消えない

USB ケーブルをつないでいる間は、バックアップメニューが表示されます。

バックアップメニューに入ったときメニューから抜けられない

本機と DVD ライターの電源を切るか、AC アダプターを取りはずしてください。

外付型ハードディスクのフォルダを削除できない

パソコンで削除してください。
(パソコンでファイルを入れたり、フォルダの移動·名前の変更を行ったりすると、本機で削除できなくなります)

パソコン

パソコンの HDD に画像を保存できない

USB ケーブルが正しく接続されていません。
"すべての映像をバックアップする" (☞ P.100)
付属ソフト「Everio MediaBrowser」がインストールされていないと、一部の機能が正常に動作しないことがあります。
"付属ソフトをインストールする" (☞ P.99)
バックアップする前に、パソコンのハードディスク(HDD)に十分な空き容量があることを確認してください。

パソコンで DVD に保存できない

ディスクに記録するには、お使いのパソコンに記録型 DVD ドライブが必要です。

YouTube にアップロードできない

YouTube のアカウントが作成されているか確認してください。
(YouTube へのアップロードには、YouTube のアカウントが必要です。)
アップロード撮影では、YouTube の時間制限である 10 分間のみ撮影ができます。
本機ではアップロード用に動画のファイルフォーマットは変換されません。
付属ソフト「Everio MediaBrowser」のヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」「最新情報」「ダウンロード情報」などを確認してください。

iTunes に転送できない

付属ソフト「Everio MediaBrowser」のヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」「最新情報」「ダウンロード情報」などを確認してください。

画面/映像

画面が見えにくい

直射日光下など周囲が明るいと見えにくくなります。

画面に明るい光の帯が現れる

本機の向きを変え、光源を画面に入れないようにしてください。
（明るい光源が画面周辺にあると光の帯が現われることがありますが、故障ではありません。）

被写体が暗い

背景が明るくて被写体が暗いときは、逆光補正を使ってください。
"逆光補正を設定する"（☞ P.37）
メニューの "ライト"または "フラッシュ"を使ってください。
"ライト"（☞ P.107）
"フラッシュ"（☞ P.112）
シーンセレクトの "ナイトアイ"を使ってください。
"シーンを選んで撮影する"（☞ P.34）
メニューの "感度アップ"を使ってください。
"感度アップ"（☞ P.108）
マニュアル設定メニューの "明るさ補正"を「＋」側に設定してください。
"明るさを補正する"（☞ P.36）

被写体が明るい

逆光補正を解除してください。
"逆光補正を設定する"（☞ P.37）
マニュアル設定メニューの "明るさ補正"を「－」側に設定してください。
"明るさを補正する"（☞ P.36）

被写体の色が不自然（赤っぽい、青っぽいなど）

自然な色合いになるまで、しばらく待ってください。（ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります）
マニュアル設定メニューの "ホワイトバランス"を "マニュアル"に設定してください。光源に合わせて "はれ"／ "くもり"／ "ハロゲン"のいずれかを選んでください。"ワンタッチ"を選んで調整してください。
"ホワイトバランスを設定する"（☞ P.37）

色合いが違って見える

マニュアル設定メニューの "ホワイトバランス"を "マニュアル"に設定してください。光源に合わせて "はれ"／ "くもり"／ "ハロゲン"のいずれかを選んでください。"ワンタッチ"を選んで調整してください。
"ホワイトバランスを設定する"（☞ P.37）
"ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ"を "入"にして撮影したときは、テレビ側の x.v.Color 設定を「入」にしてください。
"x.v.Color"（☞ P.110）

その他

スライダーや操作ボタンがきかない

画面周囲のボタンやスライダーは、指でタッチしてください。
爪や手袋などでは操作できません。
画面内の表示に触れても動作しません。

リモコンがきかない

リモコンの電池を交換してください。
"電池を入れ替えるとき"（☞ P.19）
本体設定メニューの "リモコン"を "入"にしてください。
"リモコン"（☞ P.127）
野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。

動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い

動画や静止画をパソコンなどに保存し、本機から削除することをおすすめします。
（撮影したファイルが本機に多数あると、本機の反応が遅くなります。）

画質が粗い

デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。
高速撮影時は、画像が粗くなります。
"スローモーションを撮影する（高速撮影）"（☞ P.44）

本機が熱くなる

故障ではありません。（長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。）

免責事項

・本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
・商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
・万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
・品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

エラー表示

時計を合わせてください
AC アダプターを取り付けて、24 時間以上充電してから、時計を設定してください。（設定しても表示が消えないときは、時計用電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。）
"時計を合わせる" (☞ P.16)

通信エラー
USB ケーブルを接続し直してください。
本機を接続している機器の電源と、本機の電源を入れ直してください。
バッテリーをもう一度付け直してください。

フォーマットエラー
操作手順を確認し、もう一度繰り返してください。
"メモリーフォーマット" (☞ P.134)
本機の電源を入れ直してください。

データ消去エラー
操作手順を確認し、もう一度繰り返してください。
"メモリーデータ消去" (☞ P.135)
本機の電源を入れ直してください。

内蔵メモリーエラー
本機の電源を入れ直してください。
上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、メディア設定メニューの "メモリーフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。)
"メモリーフォーマット" (☞ P.134)

カードエラー
本機の電源を入れ直してください。
AC アダプターとバッテリーを取りはずし、SD カードを入れ直してください。
SD カードの端子の汚れを取り除いてください。
上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、メディア設定メニューの "ＳＤフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。)
"SD フォーマット" (☞ P.134)

フォーマットされていません
"ＯＫ"を選び、「フォーマットしますか？」の画面で "はい"を選んでください。

記録できませんでした
本機の電源を入れ直してください。

動画管理ファイルが壊れているため修復します
"ＯＫ"を選んで修復してください。（修復に失敗した動画は一覧表示されませんが、メニューの "特殊ファイル再生"で再生できることがあります。）
"管理情報が壊れた動画を再生する" (☞ P.51)

未対応のシーン(ファイル)です
本機で記録したファイルをお使いください。
(他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。)

プロテクトがかかっています
メニューの "編集"の "プロテクト／解除"で解除してください。
"映像を保護する" (☞ P.64)

カードがライトプロテクトされています
SD カードのライトプロテクトスイッチを解除してください。

空き容量がありません
ファイルを削除するか、パソコンなどに移してください。
新しい SD カードに交換してください。
内蔵メモリーまたは SD カードに十分な空き容量がないと、シームレス結合ができません。シームレス結合をする前に空き容量を確認してください。

記録できるフォルダ・ファイル数の上限に達しました
① パソコンなどにファイルまたはフォルダを移してください。（バックアップします。）
② メディア設定メニューの "メモリーフォーマット"または "ＳＤフォーマット"で、 "ファイル＋管理番号"を選んでください。（内蔵メモリーまたは SD カード内のデータは、すべて消えます。）

フォルダ数が制限を超えています
① パソコンなどにファイルまたはフォルダを移してください。（バックアップします。）
② メディア設定メニューの "メモリーフォーマット"または "ＳＤフォーマット"で、 "ファイル＋管理番号"を選んでください。（内蔵メモリーまたは SD カード内のデータは、すべて消えます。）

ファイル数が制限を超えています
① パソコンなどにファイルまたはフォルダを移してください。（バックアップします。）
② メディア設定メニューの "メモリーフォーマット"または "ＳＤフォーマット"で、 "ファイル＋管理番号"を選んでください。（内蔵メモリーまたは SD カード内のデータは、すべて消えます。）

プレイリスト数が制限を超えています
プレイリストを 99 以下にしてください。
(プレイリストは 99 まで作成できます。)

ファイルがありません
メディア設定メニューの "動画メディア設定"または "静止画メディア設定" を変更し、もう一方のメディアに記録されていないか確かめてください。
"動画メディア設定" (☞ P.133)

イベント登録されたシーンがありません
イベントを設定してください。
"動画のイベントを変更する" (☞ P.66)

プレイリストに登録されているシーンが存在しません
プレイリストを削除し、作り直してください。
"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (☞ P.74)

電源が入っていないか、または非対応の USB 機器です
接続した USB 機器の電源を入れてください。
DVD ライターに AC アダプターを接続してください。

ディスクを入れてください／ディスクを入れ替えてください
DVD ライターのトレーを開け、DVD を確認して置き直し、トレーを閉めてください。
DVD ライターのディスクを入れ替えてください。

Bluetooth 機器と通信できません
Bluetooth 対応機器とビデオカメラの間には障害物が無いようにしてください。
"より良い通信をするには" (☞ P.20)
登録機器をもう一度確認して、登録をやり直してください。
"Bluetooth 対応機器を登録する" (☞ P.21)
接続相手機器の取扱説明書をご覧ください。

本機を末永くお使い頂くためにお手入れをお勧めします。

ご注意:

- お手入れの前に、バッテリーや AC アダプター、電源プラグをはずしてください。

本体

- 乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ります。
- 汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取ります。

ご注意:

- 損傷や故障の原因となりますので、ベンジンやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従ってください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

レンズ・液晶画面

- 市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭いてください。
  汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因となります。

カメラ本体

項目	内容
電源	AC アダプター使用時:DC 5.2 V バッテリー使用時:DC 3.6 V
消費電力	3.2 W （"ライト"が "切"、 "モニターバックライト" が "標準"の場合）
外形寸法(mm)	55×62×110 (幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず)
質量	約 260 g(本体のみ)、 約 300 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0℃～ 40℃ 許容保存温度:－20℃～50℃ 許容相対湿度:35%～ 80%
映像素子	1/2.3 型 1062 万画素(CMOS)
撮像エリア(動画)	565 万画素(光学ズーム)、 207 万～565 万画素(ダイナミックズーム、手ぶれ補正 OFF) 207 万～477 万画素(ダイナミックズーム、手ぶれ補正アクティブモード)
撮像エリア(静止画)	929 万画素(4:3)、 698 万画素(16:9)
レンズ	F2.8 ～ F4.5、f=6.7 mm ～ 67.0 mm （35 mm カメラ換算　動画:48.3 mm ～ 483 mm、静止画: 39.9 mm ～ 399 mm）
フィルター径	37 mm（ネジピッチ 0.75 mm）
最低照度	10 ルクス(感度アップ:ＡＧＣ) 4 ルクス(感度アップ:オート) 1 ルクス(シーンセレクト:ナイトアイモード)
フラッシュ	推奨撮影距離:2 m 以内
ズーム(動画撮影時)	光学ズーム:等倍～ 10 倍 ダイナミックズーム:～ 16 倍(手ぶれ補正 OFF)、～ 15 倍(手ぶれ補正アクティブモード) デジタルズーム:～ 200 倍
ズーム(静止画撮影時)	光学ズーム:等倍～ 10 倍
連写スピード (動画撮影中の静止画同時撮影時)	高速:約 30 枚/秒 中速:約 10 枚/秒 低速:約 1 枚/秒(最大値)
連写スピード (静止画撮影時)	高速:約 15 枚/秒 中速:約 7 枚/秒 低速:約 1.4 枚/秒(最大値)
液晶画面	2.7 型ワイド、12.3 万画素、ポリシリコンカラー液晶
記録メディア	内蔵メモリー(64 GB)、 SD/SDHC カード(市販) "本機で使える SD カードの種類" (☞ P.16)
時計用電池	二次電池

端子

項目	内容
HDMI 出力端子	HDMI™ ミニ端子（V1.3、x.v.Color™ 対応）
コンポーネント出力端子	Y, Pb, Pr コンポーネント出力 Y: 1.0 V (p-p), 75 Ω Pb/Pr: 0.7 V (p-p), 75 Ω
AV 出力端子	映像出力: 1.0 V (p-p), 75 Ω 音声出力: 300 mV (rms), 1 K Ω
USB 端子	ミニ USB AB タイプ, USB 2.0 対応

動画

項目	内容
録画/再生方式	AVCHD 規格準拠 映像:MPEG-4 AVC/H.264 音声:Dolby Digital 2ch
拡張子	.MTS
信号方式	NTSC 日米標準信号方式
画質(動画)	UXP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 24 Mbps XP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 17 Mbps SP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 12 Mbps EP 1920 ピクセル×1080 ピクセル 平均 約 4.8 Mbps
音質(音声)	48 kHz、256 kbps

静止画

項目	内容
記録方式	JPEG 準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	"静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)" (☞ P.49)
画質	ファイン / スタンダード

AC アダプター（AP-V30)

項目	内容
電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 5.2 V、 1.8 A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は 10℃～35℃）
外形寸法（mm）	78×34×46（幅×高さ×奥行き：コードと AC プラグを含まず）
質量	約 107 g

バッテリー（BN-VG114）

項目	内容
電圧	3.6 V
容量	1400 mAh
外形寸法（mm）	31 × 21.5 × 43（幅×高さ×奥行き）
質量	約 40 g

ワイヤレスリモコン（RM-V760U）

項目	内容
電源	DC 3 V（ボタン電池 CR2025）
電池寿命	約 1 年（使用頻度により変わります）
動作距離	約 5 m（正面軸上）
許容動作温度	0℃～40℃
外形寸法（mm）	32.5×15.6×68（幅×高さ×奥行き）
質量	約 16 g

"別売アクセサリー" (☞ P.27)

メモ：

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。